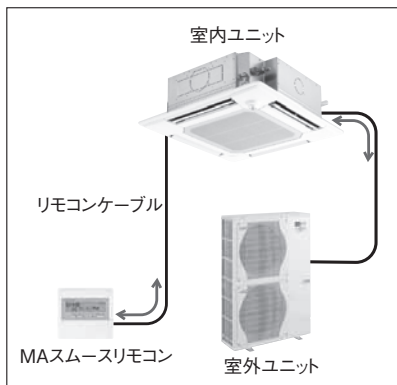


MA スムースリモコン

● PAR-26MA1

使用目的 / 用途



- 本品はスリムエアコン A 制御機種共通のワイヤードリモコンです。
- スリムエアコン A 制御〈CT シリーズ〉の場合、スムーズメンテナンス機能でメンテナンス情報を表示することができます。

注意

- ・ MA スムースリモコンはスケジュールタイマー機能は搭載していません。

対象ユニット

- PAR-26MA1 : A 制御機種

仕様

形名	PAR-26MA1
外形寸法	H120 × W130 × D19mm
質量	0.2kg
電源	DC12V 室内ユニットより伝送線を介して受電
使用環境条件	温度：0～40℃、湿度 30～90% RH（結露なきこと）
材質	PS
外観色	ピュアホワイト（マンセルNo 6.4Y8.9/0.4）
据付方法	JIS C8340 の 2 個用のスイッチボックス（現地手配）へ取付け、または壁に直付け。 MA リモコン線は、無極性 2 線で MA リモコン専用端子に接続。 別売品 リモコンケーブル：PAC-YT81HC/10m ：PAC-YT82HC/20m

機能表

○：グループ別操作 ×：対応不可

項目	設定	表示	内容
運転 / 停止	○	○	運転 / 停止の切換が可能
運転モード切換	○	○	冷房 / ドライ / 自動 / 送風 / 暖房の切換が可能
室温設定	○	○	下記の範囲で室温設定ができます。 空調機により温度範囲が異なります。（下記は標準機種の場合です） 冷房・ドライ：19～30℃ / 暖房：17～28℃ / 自動：19～28℃
風速設定 ※	○	○	風速の切換ができます。 ※ユニットにより選択可能な風量は異なります。
風向設定 ※	○	○	風向の切換ができます。 ※ユニットにより選択可能な風向は異なります。
ルーバー設定 ※	○	○	ルーバーの運転 / 停止切換が可能 ※機能に対応しているユニットのみ可能です。
手元操作への禁止 / 許可	×	○	上位コントローラの設定により、運転 / 停止、運転モード、設定温度、フィルターサインリセット操作が禁止されます。 ※禁止中は [集中管理中] が点灯します。
運転モードの切換制限	×	○	上位コントローラからの設定により、下記モードへの操作が禁止されます。 冷房禁止時：冷房・ドライ・自動 / 暖房禁止時：暖房・自動 冷暖禁止時：冷房・ドライ・暖房・自動
室温表示	—	○	空調機の運転時のみ、室内ユニットの吸込み温度を表示します。
異常表示	—	○	現在発生している異常内容を、アドレスとともに表示します。また、異常発生時に連絡先の電話番号を表示させることも可能です。 ※異常内容によりアドレス表示しない場合もあります。
タイマー運転	○	○	簡易タイマー / 消し忘れタイマーの何れかを使用可能です。 ・簡易タイマー：ON/OFF を 1 回行うタイマー （1 時間単位で 72 時間まで、ON または OFF のみの設定も可能） ・消し忘れタイマー：運転後に一定時間経過すると休止するタイマー （運転時間を 30 分単位で 24 時間まで設定可能）

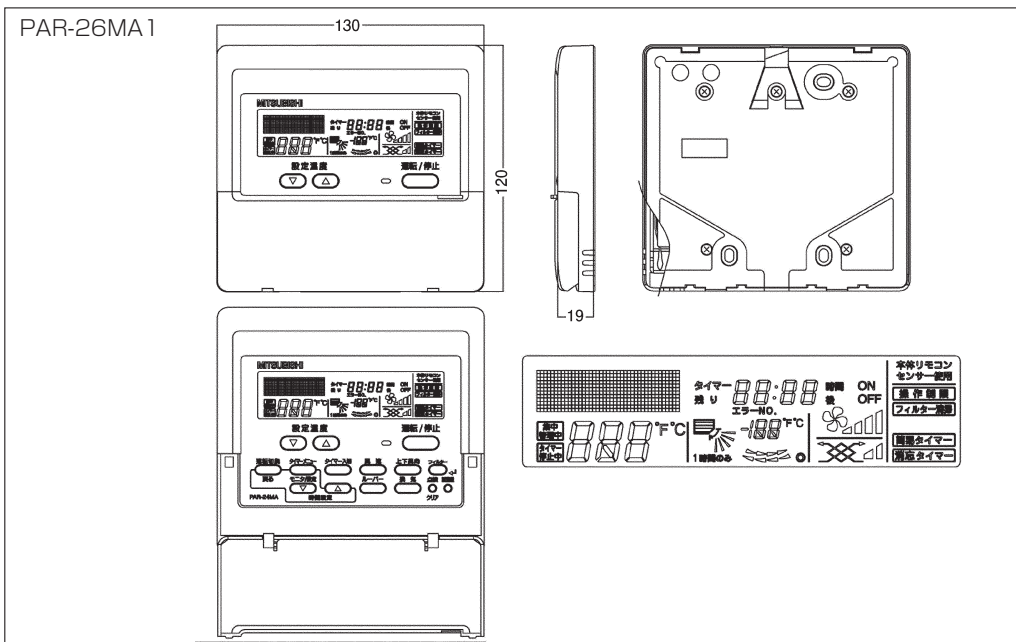
MA スムースリモコン

● PAR-26MA1


機能表

項目	設定	表示	内容
換気機器操作	○	○	フリープランユニット管理時 ・フリープラン用ロスナイの連動設定及び連動運転設定が可能 ・換気連動機器の停止 / 弱 / 強の切換可能 ミスタースリムユニット管理時 (A 制御) ・マイコンタイプロスナイの連動運転設定が可能 ・換気連動機器の弱 / 強の切換可能
言語切換機能	○	○	表示する言語 (ドット表示部) を切換えることができます。
スムーズメンテナンス機能	○	○	メンテナンス安定運転への切換ができます。 メンテナンス情報を表示することができます。*メンテナンス機能対応のユニットのみ可能です。
異常時の連絡先表示機能	○	○	異常発生時に連絡する電話番号を登録し、表示することができます。 *異常発生時には登録されている電話番号を表示します。
温度設定範囲制限機能	○	○	初期設定により、室温設定の温度範囲を制限することができます。
操作制限機能	○	○	リモコンスイッチの操作ロックの設定 / 解除ができます。 ・全スイッチロック ・運転 / 停止スイッチ以外スイッチロック
外部入力	×	×	外部入力はできません。
外部出力	×	×	外部出力はできません。
自動昇降パネル操作	○	○	自動昇降パネルの上昇 / 下降の操作ができます。*自動昇降対応ユニットのみ可能です。
ベーン角度設定	○	○	吹き出し口の角度の固定操作ができます。*ベーン角度固定対応ユニットのみ可能です。

外形図 (単位: mm)




MITSUBISHI

三菱電機  空調管理システム
三菱電機スリムエアコン用共通

MA スムースリモコン PAR-26MA1

販売店・工事店さま用

据付工事説明書

この説明書は三菱電機  空調管理システム、直膨式マルチエアコン室内ユニット(Cタイプ以降)用と三菱電機スリムパッケージエアコン用共通のMAリモコンの据付工事についてのみ記載しております。よくお読みのうえ、正しく据付けてください。なお空調機本体への配線、および空調機本体の据付工事に関しては、空調機本体の据付説明書をご覧ください。本説明書につきましては、据付工事完了後にお客様にお渡しください。

1 安全のために必ず守ること

- 据付工事はこの「安全のために必ず守ること」をお読みのうえ、確実にこなして下さい。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの

- お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡し下さい。
- お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡し下さい。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。	据付工事は、この据付工事説明書に従い確実に行なう。 据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。
据付けは、十分に耐える所に確実に進行。 強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。	電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電機移設に関する技術基準」、「内線規定」、及び本説明書に従い施工する。 電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。
配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。	お客様自身で移設はしない。 据付工事に不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご依頼下さい。
改造、修理は絶対しない。 改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。 修理はお買上げの販売店にご相談ください。	

⚠注意

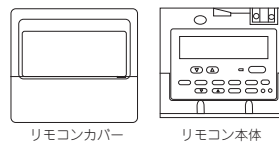
可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。 万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。	浴室など大量の湯気が発生する所には据付けない。 水のかかる場所、壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になります。
特殊環境には使用しない。 油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。	酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するところへは据付けない。 感電、故障の原因になります。
病院、通信事業所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。 インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。	
配線は張力がかからないように配線工を行なう。 断線したり、発熱、火災の原因になります。	配線は電流容量にあった規格品の電線を使用すること。 漏電や発熱、火災の原因になることがあります。
リモコンケーブル引き込み口を、パテで確実にシールする。 露、水、ゴキブリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因となることがあります。	濡れた手でボタンを操作しない。 感電、故障の原因となることがあります。
本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。 変形、故障の原因となることがあります。	本機を水洗いしない。 感電、故障の原因になることがあります。
AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。リモコンへの印加電圧は最大で12Vです。破壊、発火、火災の原因となります。	ボタンを先のものがたつ物で押さない。 火災、感電の原因となります。

2 部品確認

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

1. リモコン（カバー、本体）……………1
2. 十字穴付きナベネジ M4×30 ……………2
3. 木ネジ M4.1×16（壁に直接据付ける時使用）……………2

※1 リモコンケーブルは別売です。現地調達するか PAC-YT81HC(10m)、PAC-YT82HC(20m) をお求めください。



リモコンカバー

リモコン本体

3 据付方法

1. リモコン（スイッチボックス）の据付位置を決めてください。

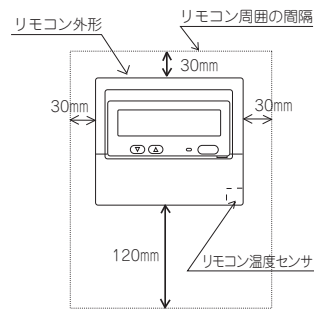
ただし、下記の事項を必ず守ってください。

- 温度センサはリモコンと室内ユニットの両方についていますが、リモコンの温度センサを使用する場合、主リモコンに設定したリモコンにて室温を検知します。主リモコンは部屋の平均的な温度を検知できる場所で、直射日光やエアコンの吹きだし空気が直接当たらないなど熱源の影響を与えない所に据付けてください。

注意 室温と壁温の差が大きいところ（時）には、設置壁面温度の影響を受けた設置壁面表面付近温度を測定するため室温と差が出る可能性があります。以下のような設置状況の場合は室内ユニットの温度センサ使用を推奨いたします。

- ・室内の気流分布が悪く、設置壁面まで空気が到達しにくい場合
- ・設置壁面の温度と室温の差が大きい場合
- ・設置壁面の背面が外気に接している場合

また、急激な温度変化がある場合、温度検知の追従性は悪くなります。



設置壁面の影響を受けやすい場所に、かつリモコンの温度センサを使用する場合、別売のリモコン用スペーサ(形名:PAC-YT83RS)を使用してください。

(リモコンの主/従設定は⑥機能選択 (1) リモコン [4]-3. (1)を、温度センサの設定についてはフリープランシステム室内ユニットの据付説明書、スリムエアコンでは⑥機能選択 (2) ユニット機能選択をご覧ください)

- スイッチボックス、壁どちらに据付ける場合でも右図に示すスペースを確保してください。

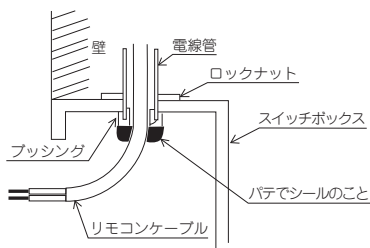
お願い リモコンの温度センサの付近に配線がないことを確認してください。
配線などある場合、リモコンにて正確な室温を検知できません。

- 下記の部品は現地に調達してください。
 - ・2個用スイッチボックス (JIS C8340)
 - ・薄鋼電線管 (JIS C8305)
 - ・ロックナット、ブッシング (JIS C8330)
 - ・モール (JIS C8425)

2. 露、水滴、ゴキブリ、虫などの侵入防止のためリモコンケーブル引込口をパテで確実にシールしてください。

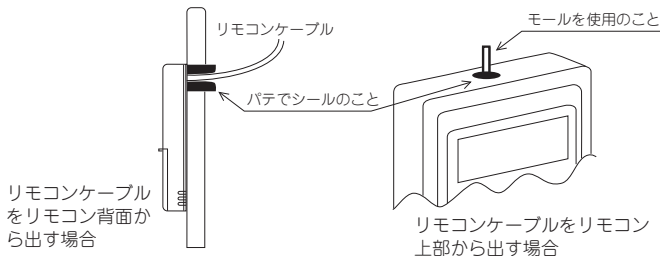
スイッチボックスを使用する場合

- ・スイッチボックスに据付けた場合はスイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールしてください。



壁に直接据付ける場合

- ・壁に穴を開けリモコンケーブルを通す場合（リモコンケーブルをリモコン背面から出す場合）その穴をパテでシールしてください。
- ・上カバーの切り取った部分よりリモコンケーブルを通す場合は上カバーの切り取った部分を同様にシールしてください。
- ・リモコンケーブルを壁面で引回す場合はモールを使用して下さい。



3. リモコン本体のカバーを外します。

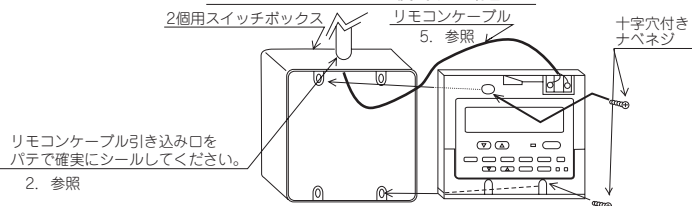
- ・マイナスドライバーを爪部にはめ込み矢印で示す方向に動かします。



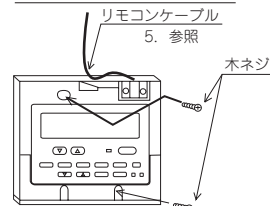
注意 ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。
爪がこわれてしまうことがあります。

4. 下ケースをスイッチボックスまたは壁に据付けます。

スイッチボックスを使用する場合



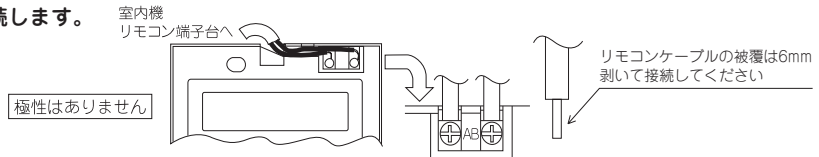
壁に直接据付ける場合



注意 ネジを締めすぎないでください。下ケースの変形、割れの原因になります。

- お願い** 据付け面は平らな所をお選びください。
- ・スイッチボックスまたは壁への据付けは必ず2ヶ所以上を固定してください。
 - ・再度、壁へ取付けの際は、モリーアンカーなどを使用し、確実に固定してください。

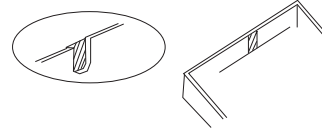
5. リモコンケーブルを本体の端子台に接続します。



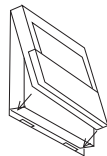
- ⚠ **注意** リモコンの端子台への接続に圧着端子は使用しないでください。基板と接触し故障の原因やカバーと接触し、カバー破損の原因になります。
- ⚠ **注意** リモコンケーブルの切屑などがリモコン内部に入らないようにしてください。感電、故障の原因となることがあります。

6. 壁などに直接リモコンを据付ける場合の配線穴（露出配線の場合）

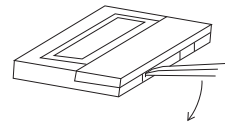
- ・カバーの内側薄肉部（斜線部）をナイフ・ニッパーなどで切り取ってください。
- ・端子台に接続したリモコンコードをこの部分から出します。



7. 本体にカバーをはめ込みます。



カバーを外す場合は右図のようにマイナスドライバーを爪部にはめ込み矢印で示す方向に動かします



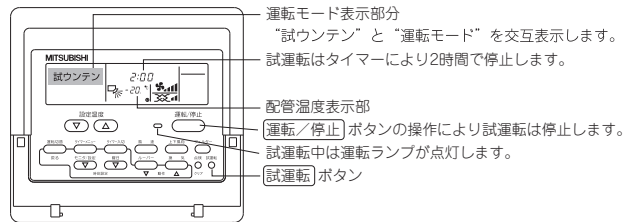
上部爪（2ヶ所）を先に掛けて、上図のように本体にはめ込みます。

- ⚠ **注意** “パチッ”と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にはまっていない場合、落下の恐れがあります。
- ⚠ **注意** ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。爪がこわれてしまうことがあります。

⓪ **お願い** 操作部には保護シートが貼ってあります。ご使用の際は、保護シートをはがしてください。

4 試運転

1. 試運転を行なう前に必ず室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目をご覧ください。
2. [試運転] ボタンを3秒以内に2回押すと、試運転が行なえます。
3. [運転/停止] ボタンの操作により試運転は停止します。
4. 試運転によって異常が発生した場合については室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目をご覧ください。



5 換気設定

フリープラン機種でロスナイとの連動運転を行う設定が必要な場合のみ設定してください。

(スリムエアコンでは、設定できません。)

※上位コントローラが接続される場合は、上位コントローラより設定してください。

⓪ **お願い** ロスナイと連動設定させる場合、必ずグループ内全ての室内ユニットアドレスとロスナイのアドレスを連動設定してください。

リモコンが接続されている室内ユニットのロスナイ登録、登録した内容の検索、登録抹消設定を行う場合この操作を行います。ここでは、室内ユニットアドレス05、ロスナイアドレス30の場合を例に説明します。

【操作手順】

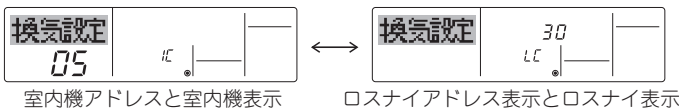
- ①リモコンの[運転/停止]ボタンで空調機を停止の状態にします。このとき、以下の停止表示でなければ、②の操作ができません。



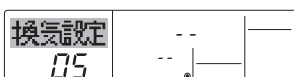
- ②[フィルター]と[ルーバー]ボタンを同時に2秒押ししますと下図の表示になり、現在リモコンが接続されている室内機が登録しているロスナイの検索を行います。



- ③登録検索結果
 - ・室内機のアドレスと登録設定されたロスナイのアドレスを交互表示します。



- ・ロスナイが登録設定されていない場合



- ④ここで、何も設定する必要がなければ、[フィルター]と[ルーバー]ボタンを同時に2秒押しし、終了します。新たにロスナイを登録する必要がある場合は、1. [登録操作]へ
ロスナイの検索をしたい場合は2. [検索操作]へ
いまの登録されているロスナイを抹消する場合は、3. [抹消操作]へ

1. 登録操作

- ⑤ ロスナイと登録設定したいリモコンが接続されている室内機のアドレスを設定温度 \square 、 \square を操作し、設定します。(01~50)
- ⑥ 登録設定したいロスナイのアドレスを時刻設定 (または時間設定) \square 、 \square ボタンを操作し設定します。(01~50)



室内機アドレス、ロスナイアドレス

- ⑦ 試運転ボタンを押し、設定した室内機アドレスとロスナイアドレスの登録を行います。
登録の完了表示
室内機のアドレスと「IC」、登録設定されたロスナイのアドレスと「LC」を交互表示します。



登録エラー表示
登録がうまく行かなかったとき室内機のアドレスと登録設定されたロスナイのアドレスを交互表示



登録設定した室内機またはロスナイが存在しないので登録ができません。
登録設定した室内機に別のロスナイが登録済みなので登録ができません。

2. 検索操作

- ⑧ ロスナイの検索をしたいリモコンが接続されている室内機のアドレスを設定温度 \square 、 \square ボタンを操作し、設定します。(01~50まで)



室内機アドレス

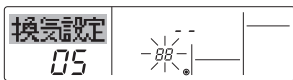
- ⑨ タイマーメニューボタンを押して設定した室内機アドレスに登録されたロスナイアドレスの検索を行います。
検索の完了表示 (ロスナイ接続有りのとき)
室内機のアドレスと「IC」登録設定されたロスナイのアドレスと「LC」を交互表示します。



検索の完了表示 (ロスナイ接続なしのとき)



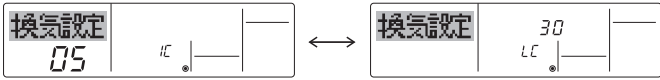
指定した室内機のアドレスが存在しません。



3. 抹消操作

リモコンが接続されている室内機とロスナイの登録設定を抹消する場合に使用します。

- ⑩ 抹消させたいロスナイの検索 (2. 検索操作参照) を行い、室内機とロスナイの検索結果表示状態にします。



- ⑪ タイマー入切ボタンを2度押し、設定した室内機アドレスに登録されたロスナイアドレスの登録の削除を行います。
抹消の完了表示
室内機のアドレスと「--」、登録設定されたロスナイのアドレスと「--」を交互表示します。



抹消エラー表示
抹消がうまく行かなかったとき



6 機能選択

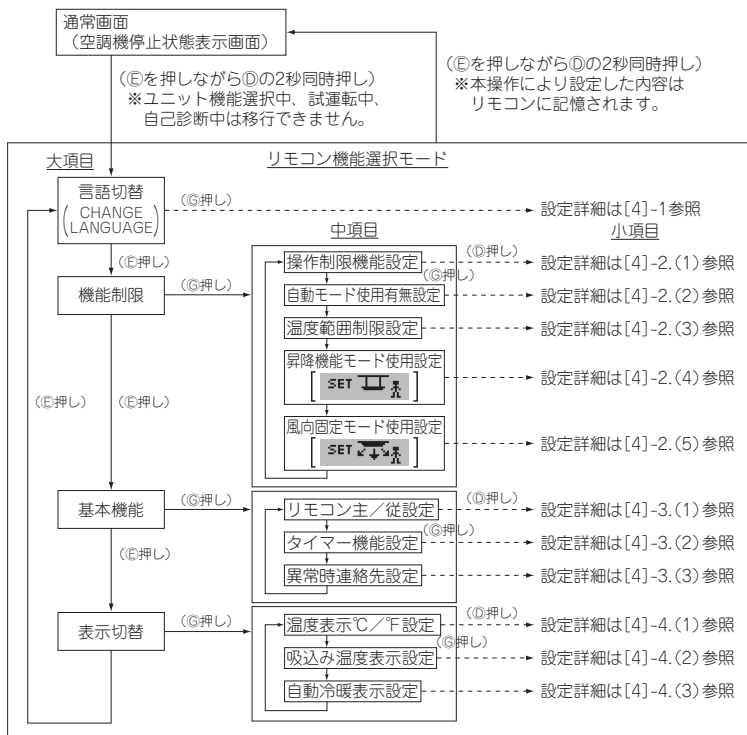
(1) リモコン機能選択

リモコン機能選択モードでは下記のリモコンの機能を設定変更できます。必要に応じ、設定変更をしてください。

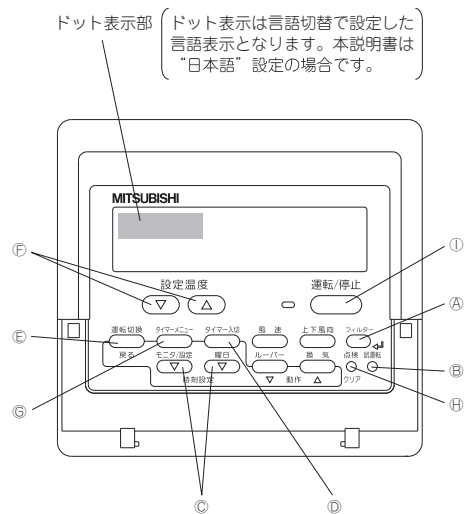
大項目	中項目	小項目 (設定内容)
1. 言語切替 (CHANGE LANGUAGE)	表示する言語の設定を行います。	・多言語表示ができます。
2. 機能制限	(1) 操作制限機能設定 (操作ロック)	・操作制限 (操作ロック) の範囲を設定します。
	(2) 自動モード使用設定	・運転モードの「自動」使用有無を設定にします。
	(3) 温度範囲制限設定	・温度調節範囲 (上限・下限値) を設定します。
	(4) 昇降機能モード使用設定	・昇降機能モードの使用有無を設定にします。
	(5) 風向固定モード使用設定	・風向固定モードの使用有無を設定にします。
3. 基本機能	(1) リモコン主/従設定	・主リモコン、従リモコンを切替えます。 ※1グループ2台接続時どちらか一方を『従』設定にします。
	(2) タイマー機能設定	・使用するタイマーの種類を設定にします。
	(3) 異常時の連絡先設定	・異常発生時に連絡先の電話番号を表示させることができます。 ・電話番号の設定をします。
4. 表示切替	(1) 温度表示℃/°F設定	・表示する温度単位 (°C/°F) を設定にします。
	(2) 吸込み温度表示設定	・室内 (吸込み) 温度表示の有無を設定にします。
	(3) 自動冷暖表示設定	・自動モード運転時の「冷房」「暖房」表示有無を設定にします。

[機能選択の流れ]

- [1] 空調機を停止状態にして、リモコン機能選択モードに移行する → [2] 大項目を選択する → [3] 中項目を選択する → [4] 小項目 (内容を設定する) → [5] 設定完了 → [6] 通常画面に移行する (終了)



お知らせ
リモコン機能選択から通常画面に移行すると、タイマー運転は停止となります。



[設定詳細]

[4]-1. 言語切替設定

本設定により、ドット表示部に表示する言語を設定します。
・タイマーメニューボタンを押して下記内容を変更します。
①日本語 (JP)、②英語 (GB)、③ドイツ語 (D)、④スペイン語 (E)、
⑤ロシア語 (RU)、⑥イタリア語 (I)、⑦中国語 (CH)、⑧フランス語 (F)

[4]-2. 機能制限設定

(1) 操作制限機能設定 (操作ロック)

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を変更します。
①no1 : 運転/停止ボタン以外操作ロック設定となります。
②no2 : 全ボタン操作ロック設定となります。
③OFF (初期設定値) : 操作ロック設定なしとなります。
※通常画面にて操作ロックを実行するには、上記設定後に通常画面にて実行操作 (フィルターボタンと運転/停止ボタン同時2秒押し) が必要です。

(2) 自動モード使用設定

運転モード自動有リユニットに接続されている場合、下記内容の設定を行うことができます。

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を変更します。
①ON (初期設定値) : 運転モード選択操作時に自動モードを表示します。
②OFF : 運転モード選択操作時に自動モードを表示しません。

(3) 温度範囲制限設定

設定内容変更後は、変更した範囲内で温度変更が可能となります。

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を変更します。
①冷房モード : 冷房・ドライモードでの設定温度範囲を変更します。
②暖房モード : 暖房モードでの設定温度範囲を変更できます。
③自動モード : 自動モードでの設定温度範囲を変更できます。
④OFF (初期設定値) : 温度範囲制限は実行されません。
※OFF以外が設定された場合、冷房、暖房、自動モードの温度制限設定が同時に実行されます。ただし、設定温度範囲が変更されていなければ制限は実行されません。
・設定温度ボタン、または設定温度△ボタンを押す毎に設定値がアップ、ダウンします。
・風速ボタンを押して上限値設定、下限値設定を選択を切替えます。選択された設定内容は点滅表示しており、この温度値を設定します。
・設定範囲
冷房・ドライモード : 下限値 : 19°C~30°C 上限値 : 30°C~19°C
暖房モード : 下限値 : 17°C~28°C 上限値 : 28°C~17°C
自動モード : 上限値 : 19°C~28°C 下限値 : 28°C~19°C
※設定範囲は接続されるユニット (スリム機種、フリープラン機種、中温機種等) により異なります。

(4) 昇降機能モード使用設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を変更します。
①ON : 昇降機能モードへの移行操作が有効となります。
②OFF : 昇降機能モードへの移行操作が常時無効となります。
※移行操作 : 停止表示中でのフィルターボタンと換気ボタンの同時2秒押し。

5

- ・昇降機能モードでの設定詳細については、ユニットの説明書を参照ください。
昇降機能モードでは室内機グリル(パネル)の昇降を行うことができます。
- (5) 風向固定モード使用設定
 - ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
 - ①ON : 風向固定モードへの移行操作が有効となります。
 - ②OFF : 風向固定モードへの移行操作が常時無効となります。
 - ※移行操作 : 停止表示中でのフィルターボタンと風速ボタンの同時2秒押し。
 - ・風向固定モードでの設定詳細については、ユニットの説明書を参照ください。
風向固定モードでは吹出口毎にベーン的位置を固定することができます。

[4] -3. 基本機能設定

(1) リモコン主/従設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
 - ①主 : 主設定となります。
 - ②従 : 従設定となります。

(2) タイマー機能設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます(いずれか一つを選択)。
 - ①タイマーオン/オフ : 消し忘れタイマー使用可能となります。
 - ②タイマーオン(初期設定値_MASスムース時) : 簡易タイマー使用可能となります。
 - ③タイマー無効 : タイマー未使用設定となります。

(3) 異常時連絡先設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
 - ①CALL-OFF : 異常中に設定した電話番号は表示されません。

- ②CALL-0120 ***-**** : 異常中に設定した電話番号を表示します。
CALL- : 左記表示時、電話番号を設定します。
- ・電話番号設定方法
 - ①設定時に下記設定操作により電話番号を設定します。
点滅しているカーソル () を移動して、数字を設定してします。
設定温度△(▽) ボタンを押してカーソルを右(左)に移動させます。
時刻設定△ボタンまたは時刻設定▽ボタンを押して、番号を設定します。

[4] -4. 表示切替設定

(1) 温度表示℃/°F設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
 - ①℃ : 温度表示単位をセ氏表示にします。
 - ②°F : 温度表示単位を華氏表示にします。

(2) 吸込み温度表示設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
 - ①ON : 吸込温度を表示します。
 - ②OFF : 吸込温度は表示されません。

(3) 自動冷暖表示設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
 - ①ON : 自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」表示のどちらかが表示されます。
 - ②OFF : 自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

(2) ユニット機能選択 [スリムエアコンで変更が必要な場合のみ設定してください。] (フリープランでは、設定できません。)

リモコンより必要に応じて各ユニットの機能を設定します。各ユニットの機能選択はリモコンからのみ設定可能です。

表1より機能選択が必要な項目を選択してください。

表1. 機能選択内容 (各ユニットの出荷設定内容、モードについての詳細はユニットの据付工事説明書をご覧ください。)

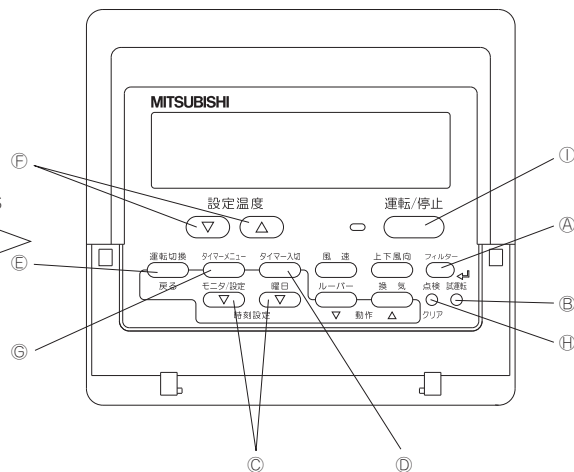
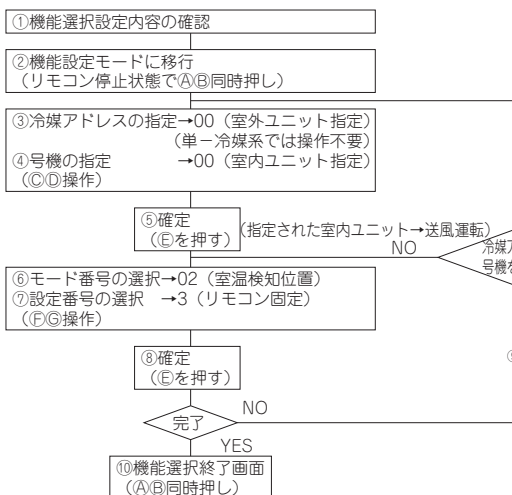
モード	設定内容	モード番号	設定番号	チェック欄	対象号機
停電自動復帰	無し	01	1		00号機
	有り(電源回復後、約4分待機が必要です。)	01	2		
	同時運転室内ユニット平均	02	1		
室温検知位置	リモコン接続室内ユニット固定	02	2		全室内ユニットに対し 設定を行なう項目です。
	リモコン内蔵センサ	02	3		
	接続無し	03	1		
ロスナイ接続	接続有り(室内ユニット外気取入無し)	03	2		
	接続有り(室内ユニット外気取入有り)	03	3		
	省エネサイクル自動有効	05	1		
自動運転モード	省エネサイクル自動有効	05	2		
	省エネサイクル自動無効	05	2		
フィルターサイン	100時間	07	1		01~04号機 又はAL
	2500時間	07	2		
	フィルターサイン表示無し	07	3		
風量	静音	08	1		各室内ユニットに対し 設定を行なう項目です。
	標準	08	2		
	高天井	08	3		
吹出し口数	4方向	09	1		
	3方向	09	2		
オプション組込み	無し	10	1		
	有り	10	2		
上下ベーン設定	ベーン無し	11	1		
	ベーン有り第1設定	11	2		
	ベーン有り第2設定	11	3		
省エネ暖気流	無効	12	1		
	有効	12	2		
加湿器組込み	無し	13	1		
	有り	13	2		

お願い 工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を表1のチェック欄に○印などで記入して確認ください。

[機能選択の流れ]

まずは機能選択の流れをつかんでください。ここでは表1の“室温検知位置”の設定を例に説明します。

(実際の操作については[操作手順]①~⑩をご覧ください)

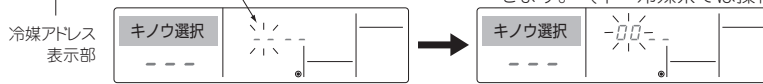


【操作手順】変更が必要な場合のみ設定してください。

- ①機能選択の各モードの設定内容を確認してください。機能選択にて各モードの設定内容を変更した場合、そのモードの機能が変わります。
 ②～⑦に従い現在の全設定内容を確認し、表1のチェック欄に記入の上、設定を変更してください。なお、工場出荷時の設定については室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。

- ②リモコンを停止にします。
 ④フィルターと⑩試運転ボタンを同時に2秒以上押します。
 キノウ選択が点滅し、しばらくするとリモコンの表示が下図の表示になります。

- ③室外ユニットの冷媒アドレスNo.を合わせます。
 ⑤▽△(時刻設定または時間設定)ボタンを押すと冷媒アドレスNo.が00～15の間で前後するので機能選択したい冷媒アドレスに合わせます。(単一冷媒系では操作不要です。)



※機能選択および室温表示部に「88」を2秒間点滅後、停止状態となる場合は、通信異常が考えられます。伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。

お願い 途中で操作を間違えた場合は、一度⑩にて機能選択を終了し、再度②より操作を行なってください。

- ④室内ユニットの号機を合わせます。
 ⑥タイマー入切ボタンを押し、号機表示部「--」を点滅させます。
 ⑦▽△(時刻設定または時間設定)ボタンを押すと号機が00→01→02→03→04→ALと変化するので機能選択したい室内ユニットの号機に合わせます。



※モード1～3を設定する場合は、「00」に合わせてください。
 ※モード7～11を設定する場合は、
 ・各室内ユニットごとに行なう場合は、「01～04」に合わせてください。
 ・全室内ユニット一括に行なう場合は、「AL」に合わせてください。

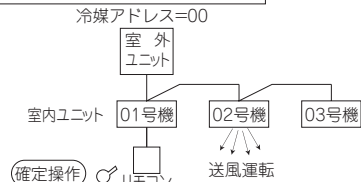
- ⑤冷媒アドレス、号機の確定
 ⑧運転切換ボタンを押し、冷媒アドレス、号機を確定します。
 しばらくするとモード番号表示部「--」が点滅します。



※室温表示部に「88」が点滅表示する場合、選択した冷媒アドレスがシステム内にありません。
 また、号機表示部が「F」となり、冷媒アドレス表示部とともに点滅表示となる場合は、選択した号機が存在しません。②、③にて冷媒アドレス、号機を正しく設定してください。

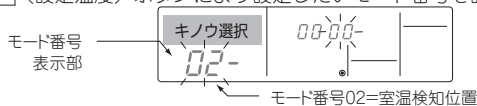
- ⑨運転切換ボタンにて確定操作をすることにより、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのを知りたい場合はこれにより確認してください。なお、号機が00、ALの場合は選択した冷媒アドレスの全室内ユニットが送風運転します。

例) 冷媒アドレス00、号機=02確定時の場合

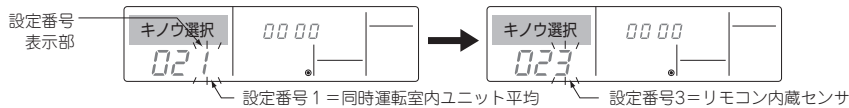


※異冷媒系統でグルーピング時、指定した冷媒アドレス以外の室内ユニットが送風運転する場合、ここで設定した冷媒アドレスの重複が考えられます。再度、室外ユニットのディスプレイスイッチにて冷媒アドレスの確認をしてください。

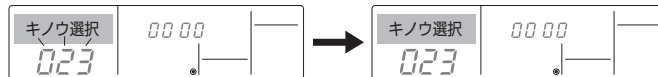
- ⑥モード番号の選択
 ⑩▽△(設定温度)ボタンにより設定したいモード番号を設定します。(設定可能なモード番号のみ選択できます。)



- ⑦選択したモードの設定内容を選択します。
 ⑪タイマーメニューボタンを押すと、現在設定されている設定番号が点滅します。これにより現在の設定内容を確認してください。
 ⑫▽△(設定温度)により設定番号を選択します。



- ⑬③～⑦の設定内容を確定させる。
 ⑭運転切換ボタンを押すと、モード番号と設定番号が点滅し登録を開始します。モード番号、設定番号の点滅が点灯に変わり、設定が完了します。



※モード番号および設定番号が「--」となり室温表示部に「88」が点滅表示となる場合は、通信異常が考えられます。伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。

- ⑯更に、他の機能選択を行う場合は、③～⑧の作業を繰り返して行ってください。

- ⑩機能選択を終了します。
 ⑬フィルターと⑩試運転ボタンを同時に2秒以上押します。
 しばらくすると機能選択画面が解除され、空調機停止画面へ復帰します。



※機能選択終了後、30秒間はリモコンより操作しないでください。

お願い 工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を表1のチェック欄に○印などで記入して確認ください。

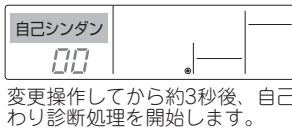
7 自己診断

リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。

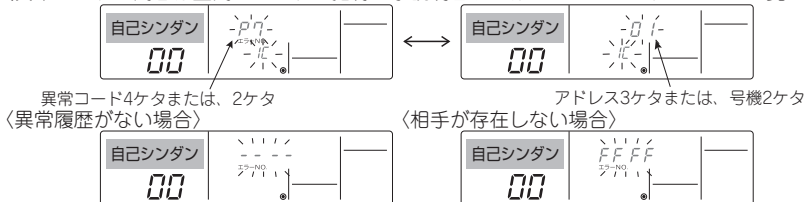
- ①自己診断モードに切替えます。
- ②点検ボタンを3秒以内に2回押すと、下図の表示になります。



- ②自己診断したいアドレスまたは、冷媒アドレスNo.を合わせます。
- ③ Δ (設定温度) ボタンを押すと01~50または、00~15の間で前後するので自己診断したい自己診断対象アドレスNo.または、冷媒アドレスNo.に合わせます。



- ③診断結果表示 (異常履歴がある場合)
(異常コードの内容は室内ユニットの据付工事説明書またはサービスハンドブックをご覧ください)

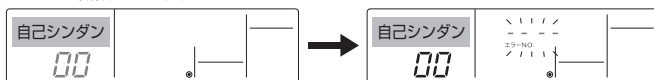


- ④異常履歴リセット操作

③の診断結果表示画面にて異常履歴を表示させます。



- ⑤アイマー入切ボタンを連続で3秒以内に2度押しすると自己診断対象アドレスまたは、冷媒アドレスが点滅します。



- ⑥自己診断の解除

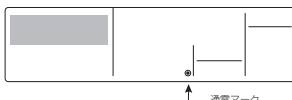
自己診断の解除には次の2通りの方法があります。

- ①点検ボタンを3秒以内に2度押し → 自己診断を解除し、自己診断前の状態になります。
- ②運転/停止ボタンを押す → 自己診断を解除し、室内ユニットが停止となります。
(操作禁止状態時、この操作は無効です。)

8 リモコン診断

リモコンからの操作がきかない場合、本機能により、リモコン診断を行なってください。

- ①まずは通電マークを確認してください。
- リモコンに正常な電圧 (DC12V) が印加されていない場合、通電マークは消灯しています。
- 通電マークが消えている場合は、リモコン配線、室内ユニットを点検してください。



- ②リモコン診断モードに移行

①点検ボタンを5秒以上押し続けると、下図の表示になります。

③フィルターボタンを押すと、リモコンの診断を開始します。

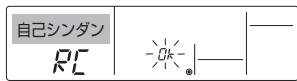


- ③リモコン診断結果

リモコン正常時

リモコン不良時

(異常表示1) 「NG」が点滅→リモコン送受信回路不良



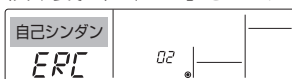
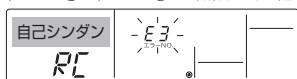
リモコンに問題はありませんので他の原因を調査してください。

リモコンの交換が必要です。

リモコン診断したリモコン以外に問題が考えられる場合

(異常表示2) 「E3」「6833」「6832」が点滅→送信不可

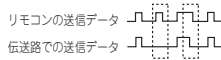
(異常表示3) 「ERC」とデータエラー数を表示→データエラーの発生



伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラを調査してください。

データエラー発生数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を意味します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。

④データエラー発生数が02の場合



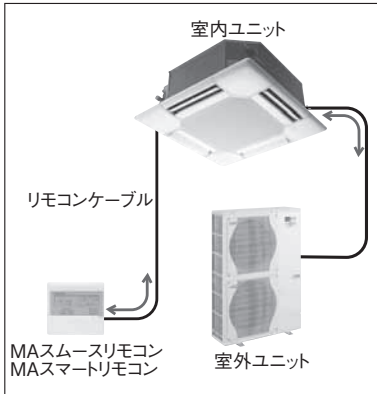
- ④リモコン診断の解除

①点検ボタンを5秒以上押し続けると、リモコン診断を解除し、「PLEASE WAIT」、運転ランプが点滅し、約30秒後、リモコン診断前の状態に戻ります。

リモコンケーブル

● PAC-YT81HC(10m) ● PAC-YT82HC(20m)

使用目的 / 用途



●“リモコンケーブル”は、室内ユニットとリモコン（MAスムーズリモコン、MAスマートリモコン）を配線する2芯ケーブルです。

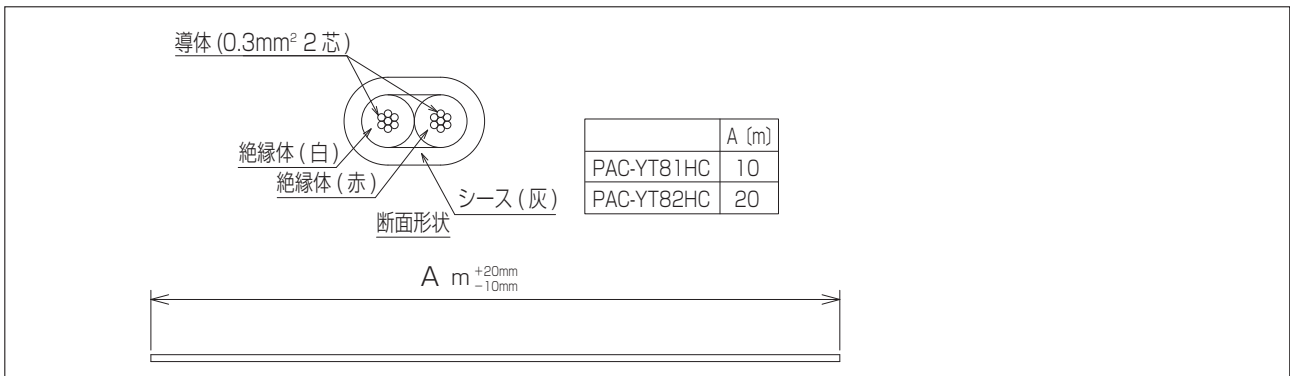
対象ユニット

● A/K 制御機種

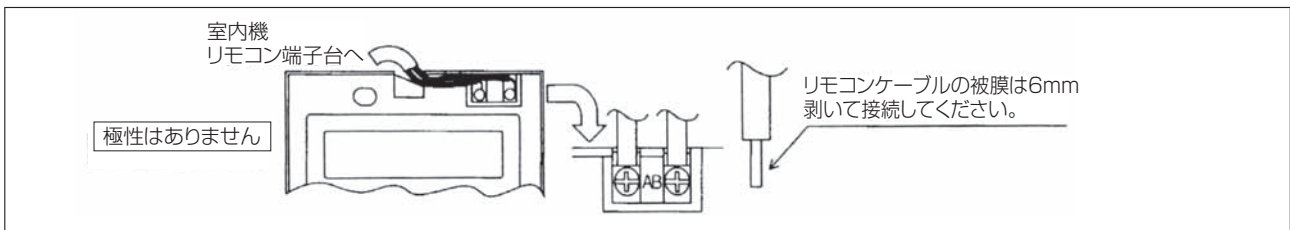
仕様

形名	PAC-YT81HC	PAC-YT82HC
線長	10 m	20 m
線種	ビニルシースケーブル	

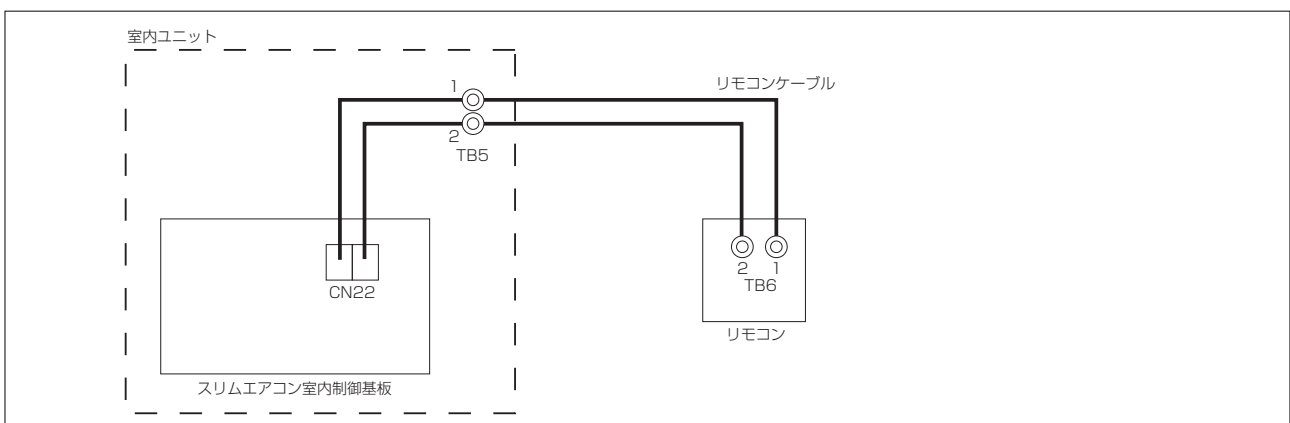
外形図



取付方法



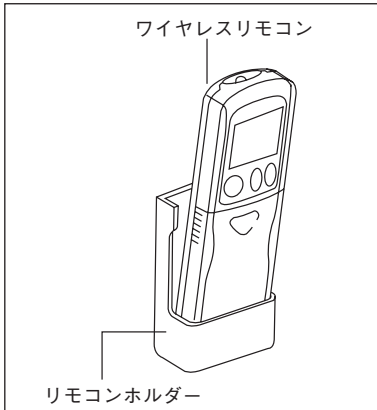
電気配線図



ワイヤレスリモコン (操作部)

● PAR-SC1SA

使用目的 / 用途



- “ワイヤレスリモコン” は、A/K 制御機種共通です。
- 本品は受光部が必要です。但し、PK-RP・KA7 形は受光部が室内ユニットに内蔵されています。
- 本品には、リモコンホルダーが付属しております。紛失等を防ぐ為にご使用ください。

注意

- ・ 中温用パッケージエアコンには本品は使用できません。
- ・ PKH-RP40 ~ 80KAL7 には本品は使用できません。

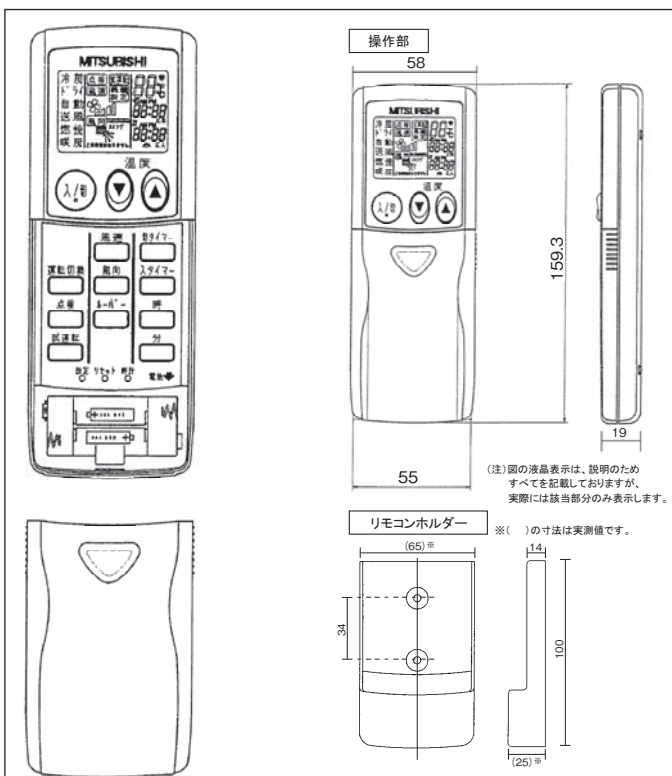
対象ユニット

- A/K 制御機種

仕様

形名	PAR-SC1SA	タイマー機能	10分単位で開始：終了時刻を各々設定：表示 / 1日
運転 / 停止	運転・運転内容を液晶表示	電源	DC3V (単4アルカリ電池 2本使用 (付属))
運転モード	冷房 / ドライ / 送風 / 自動 / 暖房 切換・表示	使用環境条件	温度：0 ~ 40℃、湿度：30 ~ 90% RH (結露なきこと)
室温調節	冷房 / ドライ : 19 ~ 30℃ / 1℃単位で設定 / 表示 暖房 : 17 ~ 28℃ / 1℃単位で設定 / 表示 自動 : 19 ~ 28℃ / 1℃単位で設定 / 表示	外形寸法	159.3(H) × 58(W) × 19(D)
		外装	ホワイト (ABS樹脂)
風速調節	静粛 / 弱 / 中 / 強 4ノッチ切換・表示	据付方法	付属リモコンホルダーを壁面に直付け
風向調節	上下：ベーンの吹出角度固定4段階・スイング計5段階切換・表示 左右：“この機能はありません”表示	付属品	単4アルカリ乾電池2本、リモコンホルダー、 取付用ネジ (4.1 × 16) 2本
時刻表示	時 / 分表示 (現在時刻・開始時刻・終了時刻)		

外形図 (単位：mm)



RG79V258H04

MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン用

ワイヤレスリモコン PAR-SC1SA

据付工事説明書

この説明書は三菱電機パッケージエアコン用ワイヤレスリモコンの据付工事について記載しております。よくお読みのうえ、正しく据付けてください。

1 安全のために必ず守ること

- ・据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

△警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性があるもの
△注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付くもの

- ・お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

△警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
お客様自身で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。
- 据付けは、重量に十分に耐える所に確実にこなう。
強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。
- 改造、修理は絶対しない。
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。
修理はお買上げの販売店にご相談ください。

- お客様自身で移設はしない。
据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。
- 据付工事は、この据付工事説明書に従い確実にこなう。
据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本説明書に従い施工する。
電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

△注意

- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。
- 特殊環境には、使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用すると性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。
- 病院、通信事務所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。
インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤作動や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。
- 本機を水洗いしない。
感電、故障の原因になることがあります。
- 本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。
変形、故障の原因になることがあります。

- 浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。
壁が結露するような場所は避けてください。
感電、故障の原因になることがあります。
- 酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するところへ据付けない。
感電、故障の原因になることがあります。
- 基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。
火災、故障の原因になることがあります。
- 濡れた手でボタンを操作しない。
感電、故障の原因になることがあります。
- ボタンを先のとがった物で押さない。
感電、故障の原因になることがあります。

2 部品確認

箱の中には、次の部品が入っていますのでご確認ください。

ワイヤレスリモコン 操作部	リモコンホルダー	単4 乾電池	タッピンネジ 4.1×16	取扱説明書	据付工事説明書 (本紙)
1個	1個	2個	2個	1冊	1枚

3 据付方法

1. 上ブタを引き抜き、付属の単4乾電池2個を入れて上ブタを取付けてください。
2. 付属のタッピンネジを使用してリモコンホルダーを壁面に固定した後、ワイヤレスリモコンをリモコンホルダーにはめ込みます。ワイヤレスリモコンは下記の場所に取付けてください。

- 直射日光の当たらない場所
- 近くに熱源のない場所
- ユニットからの冷風（または温風）が当たらない場所
- ワイヤレスリモコンの操作が容易で、表示部がよく見える場所
- 幼児の手が届かない場所

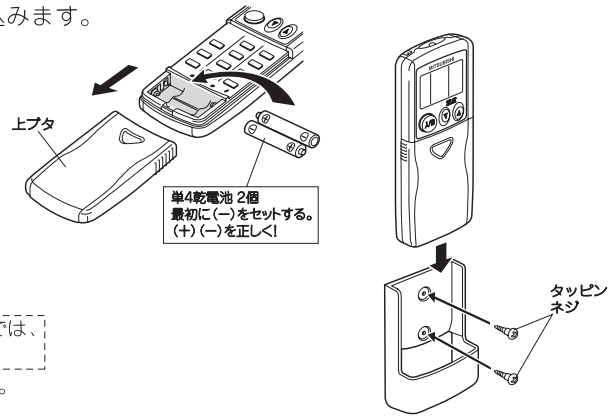
【お願い】

※室内に蛍光灯が取り付けられている場所には蛍光灯を点灯させ、室内ユニットが信号を受信することを確認した位置へ取付けてください。室内ユニットが信号を受信すると“ピッ”と音がします。

電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）を付けた室内では、信号を受け付けない場合があります。

※受光距離は、直線で約7m程度です。受光範囲は左右約45°程度です。

※テレビ、ラジオより1m以上離れた場所に取付けてください。（画像の乱れや、雑音が生じることがあります。）



4 ペアナンバー設定方法

- ペアナンバー設定とは、ワイヤレスリモコンで操作するユニットを指定するための設定です。**特に指定を必要としない場合は、本設定は不要です。**

（工場出荷時は室内ユニット側（受光部側）及びワイヤレスリモコン側のペアナンバーは“0”となっています）

- 指定が必要な場合は、室内ユニット側（受光部側）の設定とワイヤレスリモコン側の設定操作を行い、右表のように合わせます。

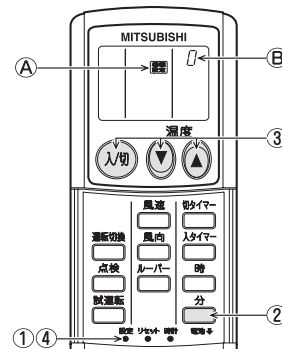
室内ユニット側設定 ※1		ワイヤレスリモコン側ペアナンバー設定	
・スリムエアコン ・マルチエアコン 受光アダプター（MAタイプ）以外を使用時	・マルチエアコン 受光アダプター（MAタイプ）を使用時	室内制御基板のジャンパー線（J41、J42）設定	受光アダプター（MAタイプ）のペアナンバースイッチ設定※2
0	切断せず	1	J41のみ切断
1	J41のみ切断	2	J42のみ切断
2	J41 & J42切断	3	
3		4	
4		5	
5		6	
6		7	
7		8	
8		9	
9			

※1 マルチエアコンの場合は、組合わせ受光アダプターにより設定方法が異なります。
※2 詳細は受光アダプターの取付説明書を参照してください。

【ペアナンバー】設定

（工場出荷時は“（無し）[No. 0]”）

- ① ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
 (A) 設定が点滅します。
- ② 分 ボタンを2回連続押してください。
 (B) ペアナンバーが点滅します。
- ③ 上/下 ボタンを押して、ペアナンバーを設定してください。
 ※操作を間違えた場合は、(C) 入/切 ボタンを押して、②の操作からやり直してください。
- ④ ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
 (B) ペアナンバーが3秒間点灯してから消えます。

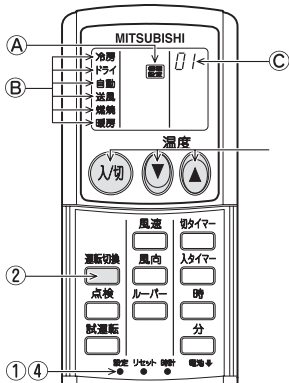


● 設定例（スリムエアコンの場合）

単 独	<p>(1) 同一設定 ●各ユニットは同一のワイヤレスリモコンで操作できます。</p> <p>(2) 個別設定 ●各ユニットは各々固有のワイヤレスリモコン以外では操作できません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 室内制御基板とワイヤレスリモコンのペアナンバーは全て同一に設定します。 ● 各ユニットはワイヤレスリモコンの受光範囲内に据付けられるか、あるいはワイヤレスリモコンの操作者が移動して、ワイヤレスリモコンを操作してください。 ● 室内制御基板とワイヤレスリモコンはユニットごと異なるペアナンバーに設定します。
同時 ツイン・ トリプル・ フォー		<ul style="list-style-type: none"> ● どの室内ユニットが受信しても運転します。

5 表示設定方法

5-1 操作対象となる室内ユニットの機能を取扱説明書や技術資料等で確認し、下記 1) ~ 5) に従ってワイヤレスリモコンの表示設定を行ってください。



1) 【運転モード表示】設定

(工場出荷時は“冷房/ドライ/自動/送風/暖房” [C設定番号01])

- ① ボールペンなど先の細いもので (設定) ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 が点滅します。
- ② 運転切換 ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 と (B) が点滅します。
- ③ 上下、左右 ボタンを押して、No. を設定してください。

運転モード表示	C設定番号	運転モード表示	C設定番号
冷房/ドライ/自動/送風/ /暖房	01	冷房/ / /送風/ / /	05
冷房/ドライ/ /送風/ / /	02	冷房/ /自動/送風/ /暖房	06
冷房/ドライ/自動/ / /暖房	03	冷房/ / /送風/ /暖房	07
	04	冷房/ドライ/ /送風/ /暖房	08

※操作を間違えた場合は、(人切) ボタンを押し、② の操作からやり直してください。

- ④ ボールペンなど先の細いもので (設定) ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 と (B) が3秒間点灯してから消えます。

2) 【風速表示】設定(風速切り替え)

(工場出荷時は“4速” [C設定番号01])

- ① ボールペンなど先の細いもので (設定) ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 が点滅します。
- ② 風速 ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 と (B) “風速” が点滅します。
- ③ 上下、左右 ボタンを押して、No. を設定してください。

風速表示	C設定番号
4速	01
3速	02
2速	03
1速(風速切り替えなし)	04

※操作を間違えた場合は、(人切) ボタンを押し、② の操作からやり直してください。

- ④ ボールペンなど先の細いもので (設定) ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 と (B) “風速” が3秒間点灯してから消えます。

3) 【風速表示】設定(風速自動モード)

(工場出荷時は“(なし)” [C設定番号01])

- ① ボールペンなど先の細いもので (設定) ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 が点滅します。
- ② 切タイマー ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 と (B) “風速” が点滅します。
- ③ 上下、左右 ボタンを押して、No. を設定してください。

風速自動表示	C設定番号
なし	01
風速自動モードあり(*)	02

※操作を間違えた場合は、(人切) ボタンを押し、② の操作からやり直してください。

- ④ ボールペンなど先の細いもので (設定) ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 と (B) “風速” が3秒間点灯してから消えます。

*注: 機種によっては“風速自動”設定がない場合があります。

4) 【風向表示】設定

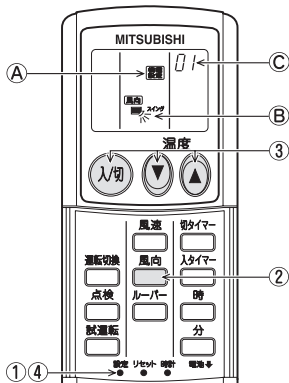
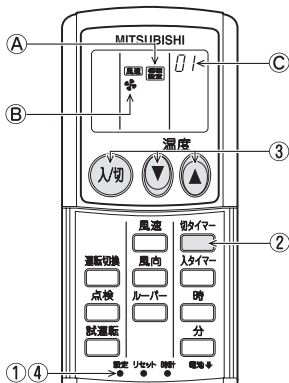
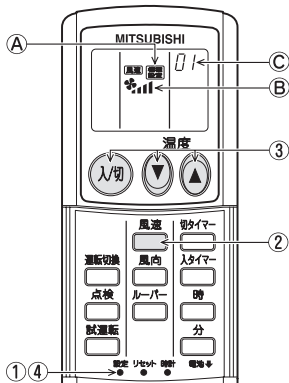
(工場出荷時は“(風向とスイング)” [C設定番号01])

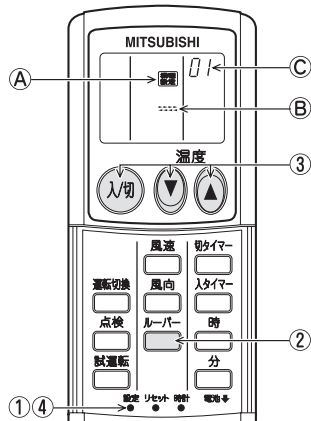
- ① ボールペンなど先の細いもので (設定) ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 が点滅します。
- ② 風向 ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 と (B) “風向” が点滅します。
- ③ 上下、左右 ボタンを押して、No. を設定してください。

風向表示	C設定番号
風向とスイング	01
風向のみ	02
なし	03

※操作を間違えた場合は、(人切) ボタンを押し、② の操作からやり直してください。

- ④ ボールペンなど先の細いもので (設定) ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 と (B) “風向” が3秒間点灯してから消えます。





5) 【ルーバー表示】設定

(工場出荷時は“(なし) [C設定番号 01]”)

- ① ボールペンなど先の細いもので (設定) ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 が点滅します。
- ② ルーバー ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 と (B) “>>>>” が点滅します。
- ③ (C) 設定番号 ボタンを押して、No. を設定してください。

ルーバー表示	C設定番号
なし	01
ルーバーあり	02

※操作を間違えた場合は、(入切) ボタンを押し、② の操作からやり直してください。

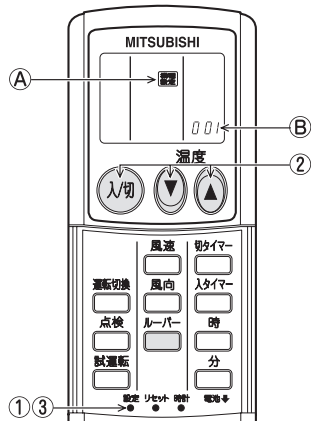
- ④ ボールペンなど先の細いもので (設定) ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 と (B) “>>>>” が3秒間点灯してから消えます。

5-2 操作対象となる室内ユニットの機能が確認できない場合は、下記に従ってワイヤレスリモコンの機種 No. の設定を行なってください。
 上記 5-1 で表示設定を行っている場合、本機種 No. の設定は不要です。

【機種No.】設定

(工場出荷時は機種 No. “001”)

- ① ボールペンなど先の細いもので (設定) ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 が点滅し、(B) 機種設定 No. 001 が点灯します。
- ② (C) 設定番号 ボタンを押して、No. を設定してください。



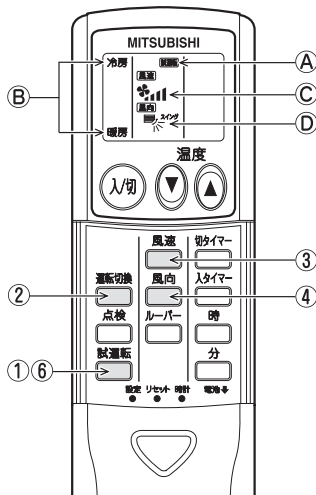
室内ユニット形名		機種No.	
スリムエアコン (頭文字の“M” 付き機種にも使用可能)	マルチエアコン	冷暖 冷/ド/自/送/暖 (冷/ド/送/暖)	冷房専用 冷/ド/送
PL-AA PL-BA PL-JA PC-GA PC-KA PK-GA PK-FA PM-FA	PLFY-AM PLFY-JM PLFY-BM PMFY-BM PMFY-FM PCFY-GM PCFY-KM PKFY-GM PLZ-BM PCZ-KM	001 (225) 工場 出荷時	033
PL-LA PK-KA (PKH-KALには使用できません)	PLFY-LM (22~112) PKFY-HM PLFY-CM PLFY-DM	002 (226)	034
	PLFY-LM (140) PKFY-AM PKFY-BM	009 (233)	041
PL-PA PC-CA PM-EA	PMFY-EM	011 (235) 015 (239)	043 047
PD-FA (40~80)	PDFY-M (22~80) PDZ-FM (56~80)	017 (241)	049
PD-FA (112~160) PC-HA PC-BA PE-CA PF-BA	PDFY-M (90~140) PCFY-HM PEFY-AM PFFY-LEM PFFY-LRM PEFY-M (45~160) PLFY-CLMD PDZ-FM (90~140)	019 (243)	051
PE-BA PF-BA	PEFY-M (224~280) PFFY-RM	020 (244)	052
PS-KA (末尾7~)		022 (246)	054
PS-GA PS-KA (末尾~6)	PSFY-GM	023 (247)	055
	PFFY-DM 注4 PEFY-M-F PFFY-RM-F GE-M	180 (212)	148
PE-DA	PEFY-ML PEFY-SM	018 (242)	050

- 注1. 機能選択でリモコン操作に関する設定を変更した場合は、5-1に従い、表示設定を行ってください。
 (例: 上下ベーン有無設定 (機能選択モード11) の変更、スイング有無設定 (同モード23) の変更など)
- 注2. 室内ユニットタイプが同じでも、能力や年式により機能が異なる場合があります。その場合は、技術資料等にて室内ユニットが持つ機能を確認し、機種No.一覧表に従って機種No.を設定してください。
- 注3. 冷暖機種で運転モード“自動モード”機能がない場合は、表の()の機種No.を設定してください。
- 注4. 本機種にはドライモードの機能がありません。
 右記機種No.設定時の運転モードは下記となります。
 冷暖: 冷/自/送/暖 (冷/送/暖)
 冷房専用: 冷/送

※操作を間違えた場合は、(入切) ボタンを押し、② の操作をやり直してください。

- ③ ボールペンなど先の細いもので (設定) ボタンを押してください。
 (A) 機種設定 と (B) 機種設定 No. が3秒間点灯してから消えます。

7 試運転方法



- ① **試運転** ボタンを2回連続で押してください。
 (A) **試運転** および運転内容が点灯し、試運転が開始されます。
- ② **運転切換** ボタンを押してください。
 (B) 運転モードが切替わります 冷房⇄暖房。
 冷房：冷風の吹出しを確認してください。
 暖房：温風の吹出しを確認してください。
- ③ **風速** ボタンを押してください。
 (C) 風速が切替わります。
 風速が変化することを確認してください。
- ④ **風向** ボタンを押してください。
 (D) 上下風向表示が切替わります。
 上下ペーンの動作を確認してください。
- ⑤ 室外ユニットのファンの運転を確認してください。
 室外ユニットは、ファンの回転数をコントロールし能力制御をしています。
 そのため外気の状態によっては、ファンは低速で回り、能力不足にならない限り
 その回転数を保持します。従って、そのときの外風によりファンが停止又は
 逆回転となることがありますが、異常ではありません。
- ⑥ **試運転** ボタンを2回連続で押してください。
 (A) **試運転** および運転内容が消灯し、試運転が終了します。

- 試運転は、2時間の [切] タイマーが作動し、2時間後に自動的に停止します。
- 同時ツイン・トリプル・フォーの場合は、全ての室内ユニットが確実に運転することを確認してください。誤配線等でも異常表示しない場合があります。

8 ユニットの機能選択

本設定はスリムエアコンの場合の設定方法です。マルチエアコンの場合は、室内及び室外制御基板上的のディップスイッチで設定を行います。ディップスイッチの設定方法はマルチエアコンの技術資料等を参照してください。

リモコンより必要に応じて各機能を設定します。各ユニットの機能選択はリモコンからのみ設定可能です。

表1より機能選択が必要な項目を選択してください。

なお、ワイヤレスリモコン操作部からはワイヤレス機種が接続された冷媒系統のみ設定可能です。ワイヤレスリモコン操作部では冷媒アドレス指定はできません。

表1 機能選択内容 (各室内ユニットの出荷時設定内容、モードについての詳細は室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。)

【ご注意】

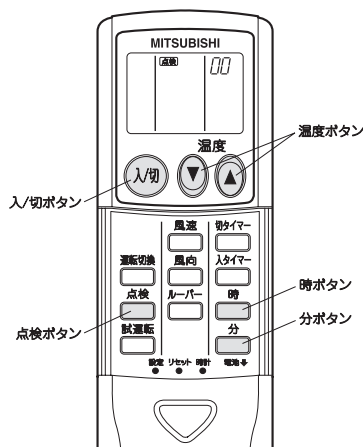
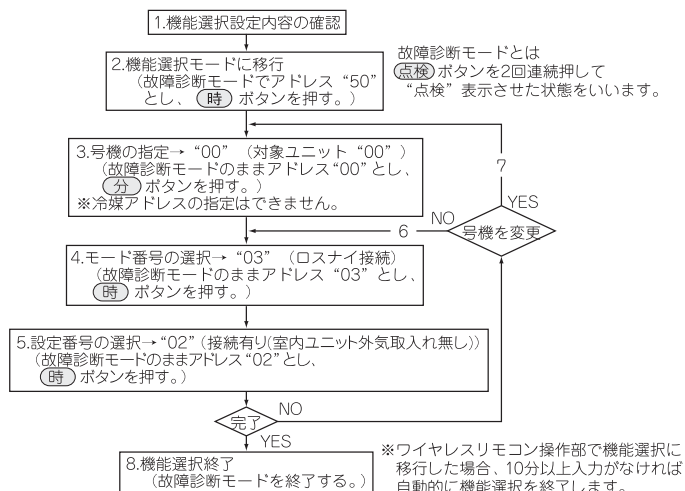
下記は代表的な項目です。機種別に各モード内容が異なる場合がありますので、詳細は室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。

設定項目	設定内容	モード番号	設定番号	チェック欄	対象号機	
停電自動復帰	無し	01	1		00号機を選択	
	有り		2			
室温検知位置	同時運転室内ユニット平均	02	1			
	リモコン接続室内ユニット固定		2			
	リモコン内蔵センサ (※ワイヤードリモコン使用時のみ)		3			
ロスナイ接続	接続無し	03	1			
	接続有り (室内ユニット外気取入れ無し)		2			
	接続有り (室内ユニット外気取入れ有り)		3			
フィルターサイン	100時間	07	1			01~04号機又は 07号機を選択 (07号機は01~04号機 一括で設定したい場合)
	300回または3000時間		2			
	自動清掃		3			
風量	静音	08	1			
	標準		2			
	高天井		3			
吹出し口数	4方向	09	1			
	3方向		2			
	2方向		3			
オプション組込み (高性能フィルター等)	無し	10	1			
	有り		2			
上下ペーン設定	ペーン無し	11	1			
	ペーン有り 第1設定		2			
	ペーン有り 第2設定		3			
加湿器組込み	無し	13	1			
	有り		2			

お願い 工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を表中のチェック欄に○印等で記入してください。

[機能選択の流れ]

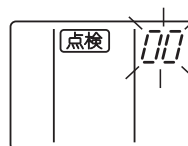
まずは機能選択の流れをつかんでください。ここでは【表1】の“ロスナイ接続”を“接続有り(室内ユニット外気取入れ無し)”の設定を例に説明します。実際の操作については下記操作手順をご覧ください。



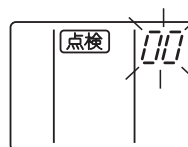
[操作手順]

1. 機能選択の設定内容を確認してください。
機能選択にて設定内容を変更した場合、そのモードの設定内容が変わります。2~8に従い現在の設定内容を確認し、【表1】のチェック欄に記入の上、設定を変更してください。

2. **点検** ボタンを2回連続押します。
→ **点検** が点灯表示し“00”が点滅表示します。
⏻ ボタンを1回押して“50”に合わせます。
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **時** ボタンを押します。

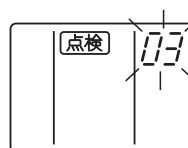


3. 室内ユニットの号機を合わせます。
⏻、⏪ ボタンを押して室内ユニットの号機に合わせます。
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **分** ボタンを押します。
(**分** ボタンにて号機を入力することにより、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのかわからない場合はこれにより確認してください。なお、号機が“00”“07(室内ユニットの据付工事説明書のAL号機と同じ意味付となります)”の場合は同一冷媒内の全室内ユニットが送風運転します。)
※設定できない号機を入力した場合は、ブザー音“ピーピーピー(0.4秒+0.4秒+0.4秒)”が出力(ブザー音のみ出力)されます。この場合は、再度号機を入力し直してください。
※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、ブザー音“ピピッ”出力)は、再度号機を入力し直してください。



00号機

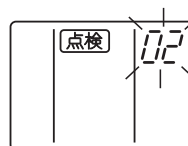
4. モード番号の選択
⏻、⏪ ボタンを押して設定したいモード番号に合わせます。
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **時** ボタンを押します。
→このとき、ブザー断続音と運転ランプ点滅により、選択したモード番号に対する現在設定値を出力します。
出力は現在設定値=1→ピー(1秒)×1回
2→ピー(1秒)×2回
3→ピー(1秒)×3回



モード番号 03 ロスナイ接続

※設定できないモードを入力した場合は、ブザー音“ピーピーピー(0.4秒+0.4秒+0.4秒)”が出力(ブザー音のみ出力)されます。この場合は、再度モード番号を入力し直してください。
※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、またはブザー音“ピピッ”出力)は、再度モード番号を入力し直してください。

5. 選択したモードの設定番号を入力します。
⏻、⏪ ボタンを押して設定番号を選択します。
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **時** ボタンを押します。
→このとき、ブザー断続音と運転ランプ点滅により、選択したモード番号に対する設定番号を出力します。
設定番号=1→ピーピー(0.4秒+0.4秒)×1回
2→ピーピー(0.4秒+0.4秒)×2回
3→ピーピー(0.4秒+0.4秒)×3回



設定番号 02 接続有り
(室内ユニット外気取入れ無し)

※設定できない番号を入力した場合は、元々設定されていた番号に設定されます。
※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、またはブザー音“ピピッ”出力)は、再度設定番号を入力し直してください。

6. 室内ユニットの号機を変更せずに、更に他のモードを設定する場合は4., 5. を繰り返してください。

7. 室内ユニットの号機を変更して、機能選択を行う場合は3. ~5. を繰り返してください。

8. 機能選択を終了します。

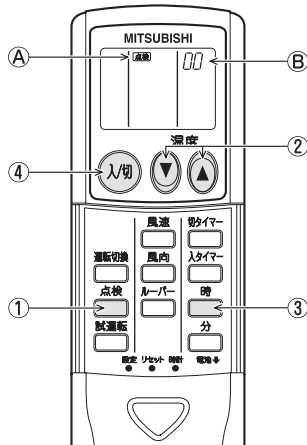
入/切 ボタンを押します。

機能選択終了後、30秒間はワイヤレスリモコンより操作しないでください。

【お願い】

工事完了後、機能選択により室内ユニット機能を変更した場合は、必ずすべての設定内容を表のチェック欄に○印等で記入してください。

9 自己診断

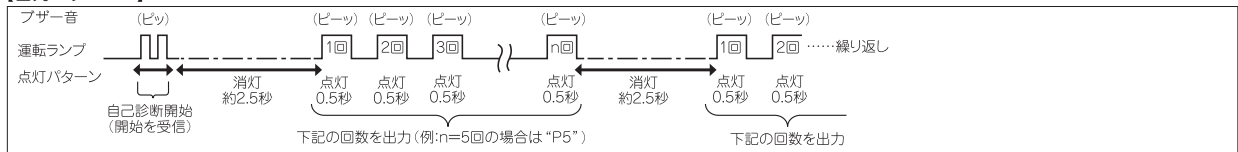


- ① **点検** ボタンを2回連続で押してください。
 ① [点検]が点灯し、② 冷媒アドレス(M-NETアドレス)が点滅します。
 ※アドレス表示は、スリムエアコンの場合は冷媒アドレス、マルチエアコンの場合はM-NETアドレスとなります。
- ② **上/下** ボタンを押して、自己診断を行う室内ユニットの冷媒アドレス(M-NETアドレス)に②の表示を合わせてください。
 ※冷媒アドレスの設定は室外ユニットのスイッチ(SW1)にて行います。
 詳細は室外ユニットの据付工事説明書をご覧ください。
- ③ **時** ボタンを押してください。
 異常がある場合、室内ユニットからブザーの断続音、運転ランプの点滅により、点検コードを出力します。
- ④ **入/切** ボタンを押してください。
 ① [点検]と② 冷媒アドレス(M-NETアドレス)が消灯し、自己診断モードが終了します。

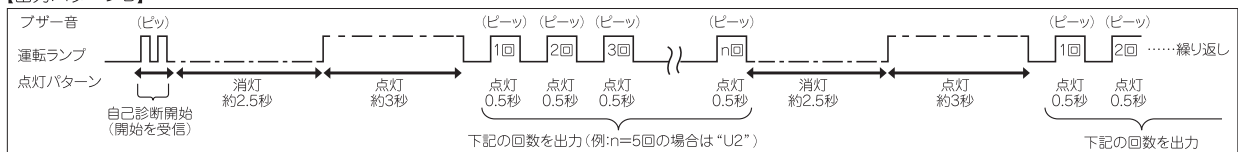
●点検コードの出力内容は下記をご覧ください。

スリムエアコンまたはマルチエアコンで受光アダプタ (MAタイプ) 以外を使用時の場合

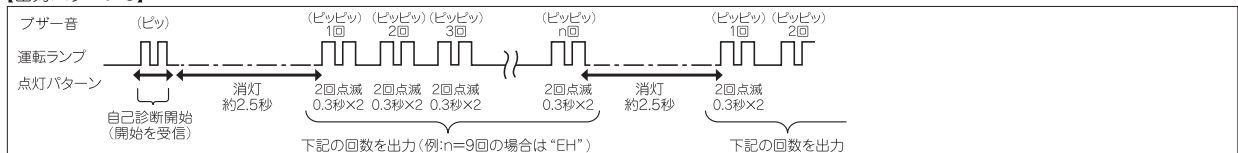
【出力パターンA】



【出力パターンB】



【出力パターンC】



●スリムエアコンの出力内容

【出力パターンA】 室内ユニットが検出する異常

ブザー音 回数 運転ランプ回数	点検コード	不具合内容	備考
1回	P1	吸込センサー異常	
2回	P2, P9	配管 (液管または二相管) センサー異常	
3回	E6, E7	室内ユニット-室内ユニット間の通信異常	
4回	P4	ドレンセンサー異常、ドレンフロートスイッチコネクタ外れ	
5回	P5	ドレンオーバーフロー保護作動	
6回	P6	凍結保護作動 (冷房時) / 過昇保護作動 (暖房時)	
7回	EE	組み合わせ異常 (システム異常)	
8回	P8	配管温度異常	
9回	E4	ワイヤードリモコン-室内ユニット間の通信異常	
10回	—	—	
11回	—	—	
12回	Fb	室内制御系異常 (メモリー異常、その他)	
14回	PL	冷媒回路異常	

【出力パターンB】 室内ユニット以外 (室外ユニット、その他) が検出する異常

ブザー音 回数 運転ランプ回数	点検コード	不具合内容	備考
1回	E9	室内ユニット-室外ユニット間の通信異常	詳細は室外基板のLED表示を確認ください。
2回	UP	過電流遮断	
3回	U3, U4	室外サーミスター系異常	
4回	UF	圧縮機過電流遮断 (ロック) 異常	
5回	U2	吐出温度異常/49C作動/冷媒不足異常	
6回	U1, Ud	高圧圧力異常 (63H作動) / 過昇保護 (過負荷運転保護/送風機異常)	
7回	U5	放熱板温度異常	
8回	U8	室外ファン保護停止	
9回	U6	圧縮機過電流遮断 (過負荷) / パワーモジュール異常	
10回	U7	低吐出スーパ-ヒート異常	
11回	U9, UH	電圧異常/電流センサー異常	
12回	—	—	
13回	—	—	
14回	その他	その他異常 (室外基板LEDを確認ください)	

【出力パターンC】 室内ユニットの別売部品関連の異常

ブザー音 回数 運転ランプ回数	点検コード	不 合 内 容	備 考
1回	PF	ダストボックス外れ検出 または フィルタ位置異常 (フィルタ自動清掃パネル)	
2回	PH	オゾン出力回路異常 (フィルタ自動清掃パネル)	
3回	PJ	パルススクリーン異常 (パルススクリーン)	
9回	EH	パネル通信異常 (フィルタ自動清掃パネル)	

●マルチエアコンの出力内容

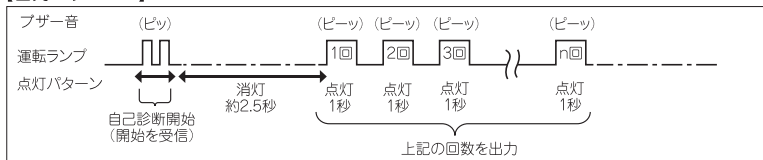
【出力パターンA】 異常ユニット(属性)が室内ユニット/ロスナイ/外気処理ユニットの場合

【出力パターンB】 異常ユニット(属性)が室内ユニット/ロスナイ/外気処理ユニット以外(室外ユニット、その他)の場合

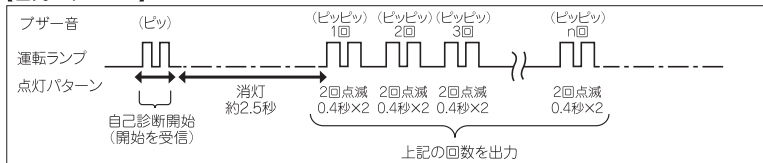
ブザー音 回数 運転ランプ回数	M-NET 点検コード	備 考
1回	1000~1999	ワイヤードリモコン、システムコントローラを併用されていない場合、異常履歴の点検コード詳細は、室外基板のLED表示にて確認することができます。 室外ユニットの異常履歴確認方法は、室外ユニットのサービスハンドブックを参照ください。
2回	2000~2999	
3回	3000~3999	
4回	4000~4999	
5回	5000~5999	
6回	6000~6999	
7回	7000~7999	
8回	0~999	

※受光アダプタ (MAタイプ) を使用されている場合には出力パターンが以下のようになります。

【出力パターンA】



【出力パターンB】



●その他

- ※1. 自己診断開始の受信出力のみで、以後ブザー音なし、運転ランプ消灯のままの場合は、異常履歴はありません。
受光アダプタ (MAタイプ) では、ブザー音/運転ランプ回数 9回が、異常履歴なしとなります。
- ※2. 自己診断開始の受信出力後、ブザー音のみが連続3回出力 “ピーピーピー (0.4秒+0.4秒+0.4秒)” の場合は、冷媒アドレス (M-NETアドレス) の指定が間違っています。

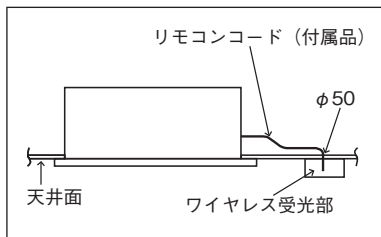


RG79V258H04

ワイヤレス受光部 (A制御用)

● PAR-SA9PA1

使用目的 / 用途



- “ワイヤレス受光部” は、外付けタイプのワイヤレスリモコン受光部です。
- ワイヤレスリモコン (操作部) : PAR-SC1SAが必要となります。
- 本品は壁面、天井面、スイッチボックス等に取付可能です。

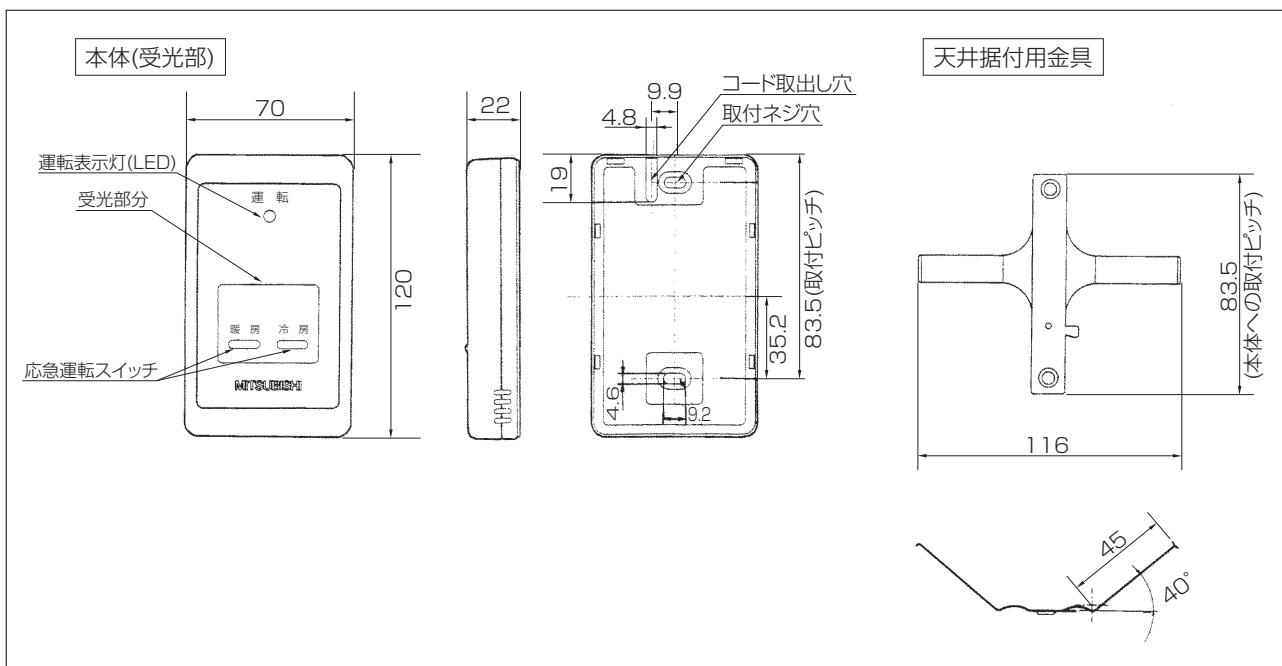
対象ユニット

- A制御機種

仕様

形名	PAR-SA9PA1
運転表示ランプ	運転時：LED（緑色）点灯表示、異常時：LED（緑色）点滅表示
応急運転	冷房・暖房スイッチ（運転／停止）装備
ユニット制御台数	1グループ最大16冷媒系統（但し、1冷媒系統毎に1台以上ワイヤレス受光部を設置してください）
アダプタ配線	コネクタ付9芯コード：5m（付属）の範囲で室内ユニット本体制御基板上的コネクタ（CN90）に接続
受光範囲	受光部正面より45°の範囲で7m以内（条件により異なります）
使用環境条件	温度：0～40℃ 湿度：30～90%（結露なきこと）
外装	ABS樹脂、ホワイต์グレー（マンセル№4.48Y7.92/0.66）
据付方法	天井据付用金具による据付（据付穴φ50） 1個用スイッチボックス（JISC8340）に取付け、または直付け
付属品	コネクタ付コード5m、天井据付用金具、取付用ネジ（M4×30）（4.1×16）各2本

外形図 (単位：mm)



WT06528X01

MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン用

ワイヤレスリモコン受光部

PAR-SA9PA1

据付工事説明書

この説明書は三菱電機パッケージエアコン ワイヤレスリモコン受光部の据付工事について記載しております。
よくお読みのうえ、正しく据付けてください。

1 安全のために必ず守ること

- ・据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

△警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性があるもの
△注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付くもの

- ・お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

△警告	
<p>据付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。</p>	<p>据付工事は、この据付工事説明書に従い確実にこなう。 据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。</p>
<p>据付けは、重量に十分に耐える所に確実にこなう。 強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。</p>	<p>電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本説明書に従い施工する。 電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。</p>
<p>改造、修理は絶対しない。 改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。</p>	<p>配線は所定のリモコンコードを使用して確実に接続し、端子接続部にリモコンコードの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。</p>
<p>お客様自身で移設はしない。 据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。</p>	

△注意	
<p>可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。 万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。</p>	<p>浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。 壁が結露するような場所は避けてください。 感電、故障の原因になることがあります。</p>
<p>特殊環境には、使用しない。 油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。</p>	<p>酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するところへ据付けない。 感電、故障の原因になることがあります。</p>
<p>病院、通信事務所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。 インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤作動や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。</p>	
<p>配線は張力がかからないように配線工事を行なう。 断線したり、発熱、火災の原因になることがあります。</p>	<p>基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。 火災、故障の原因になることがあります。</p>
<p>リモコンコード引き込み口を、パテで確実にシールする。 露、水、ゴキブリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因になることがあります。</p>	<p>濡れた手でボタンを操作しない。 感電、故障の原因になることがあります。</p>
<p>本機を水洗いしない。 感電、故障の原因になることがあります。</p>	<p>ボタンを先のとがった物で押さない。 感電、故障の原因になることがあります。</p>
<p>本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。 変形、故障の原因になることがあります。</p>	<p>AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。 破壊、発火、火災の原因になることがあります。</p>

2 部品確認

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

1. ワイヤレスリモコン受光部 1
2. リモコンコード 5m 1
3. 十字穴付きナベネジ M4 × 30 2
4. 木ネジ 4.1 × 16 2

3 据付方法

1. ワイヤレスリモコン受光部

ワイヤレスリモコン受光部は据付ける位置によって据付方法が異なります。

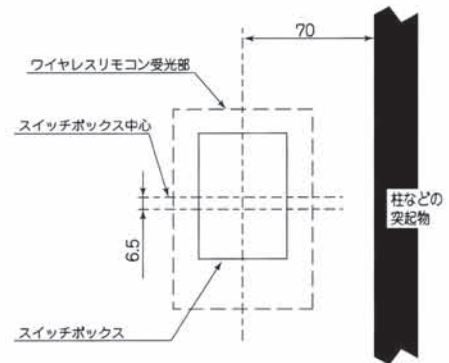
天井に据付ける時は **天井に据付ける場合** を、スイッチボックスまたは壁に据付ける時は **スイッチボックスまたは壁に据付ける場合** をご覧ください。

天井に据付ける場合 , スwitchボックスまたは壁に据付ける場合 共通事項

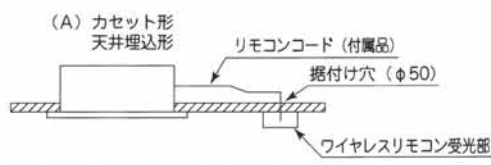
(1) 据付位置を決めてください。

但し下記の事項を必ず守ってください。

- ① ワイヤレスリモコン受光部は付属のリモコンコードで室内ユニットと接続しますが、リモコンコードが5mのため据付位置はリモコンコードが届く範囲で決めてください。
- ② 天井、スイッチボックス、壁のいずれに据付ける場合でも、右図で示すスペースを確保してください。
(間隔が十分でないと、柱などの突起物により据付けられない場合があります)
- ③ ワイヤレスリモコン受光部はスイッチボックスに据付けた時、右図のように下方に 6.5mmずれますのでご注意ください。
- ④ 下記の部品で必要な物は現地にて調達してください。
 - ・ 1個用スイッチボックス (JIS C8340)
 - ・ 薄鋼電線管 25 (JIS C8305)
 - ・ ロックナット、フッシング (JIS C8330)
 - ・ モール (JIS C8425)
- ⑤ 天井に据付ける場合の板厚の条件は 9mm以上で25mm以下の板に限りです。
- ⑥ 天井面または壁面でワイヤレスリモコン操作部の信号が受信可能な位置に据付けてください。
なお、ワイヤレスリモコン操作部の信号の届く範囲の目安はワイヤレスリモコン受光部の正面から45°の範囲で距離は約7mです。

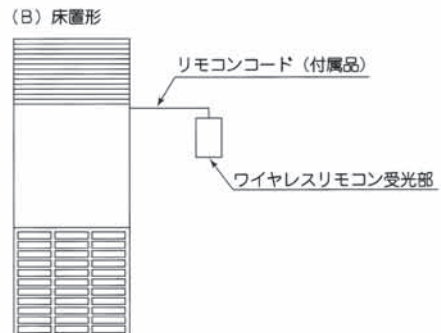


- ⑦ ワイヤレスリモコン受光部を室内ユニットの機種に応じて下記の位置に据付けてください。

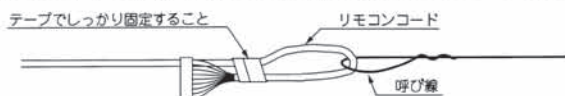


※天井据付けの場合、据付け穴φ50の穴加工が必要となります。

お願い ・ 室内ユニットの機種に応じてリモコンコードを接続させる位置が異なります。
リモコンコードは延長することができませんので据付位置は十分に注意して決めてください。
・ 蛍光灯 (特にインバータタイプ) の近くにワイヤレスリモコン受光部を据付けますと、信号を受信できないことがありますので、ワイヤレスリモコン受光部据付け時、蛍光灯買換え時などには注意してください。



- ⑧ リモコンコードを電線管に通すときは下図のようにリモコンコードと呼び線をしっかりとつなげてください。



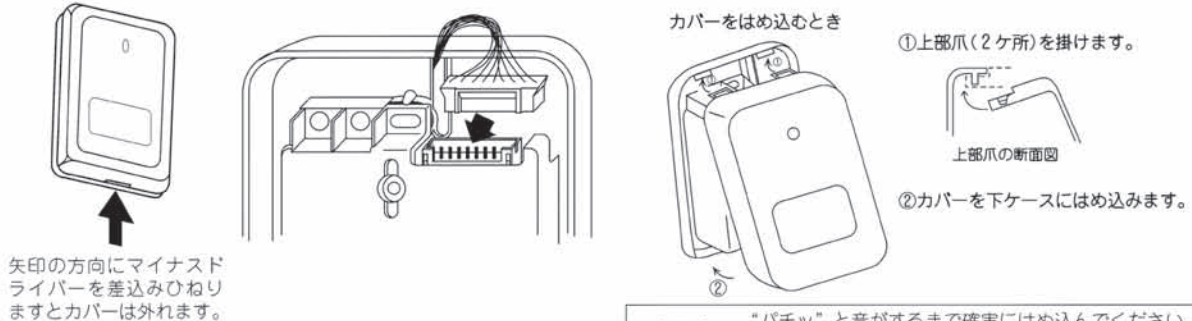
取付説明書

天井に据付ける場合

(2) 天井にワイヤレスリモコン受光部を据付ける場合の据付け穴を開けます。



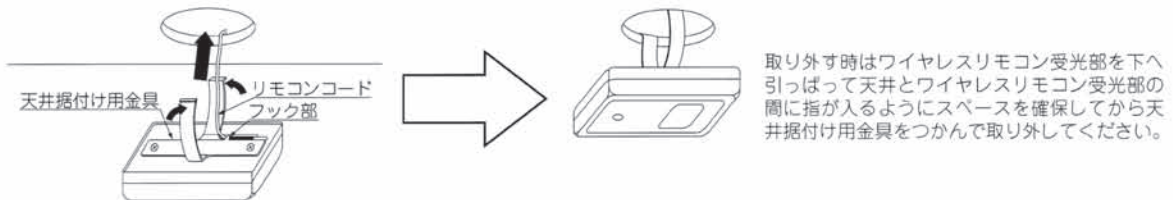
(3) リモコンコードをワイヤレスリモコン受光部のコネクタに接続させます。



△注意 “パチッ”と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にはめ込んでいない場合、落下の恐れがあります。

(4) リモコンコードを室内ユニットへ引回し、室内ユニット制御基板上のコネクタ (C N90) に接続させます。
室内ユニット制御基板の詳細図は (4) ペアナンバースイッチ設定方法 をご覧ください。

(5) ワイヤレスリモコン受光部を天井に据付けます。



- ・リモコンコードはフック部にしっかりと掛けてから天井に挿入してください。
- ・天井へ挿入する手順は天井据付け用金具のパネ部を天井に掛けてからワイヤレスリモコン受光部を下から押してください。

△注意

- ・天井据付け用金具のパネ部を持ったまま天井に挿入しない。手をはさんでケガをする場合があります。
- ・リモコンコード接続後、ワイヤレスリモコン受光部を天井よりぶら下げた状態にしない。コード断線、故障の原因となります。

お願い ・ワイヤレスリモコン受光部を据付ける時、向きを確認してから据付けてください。

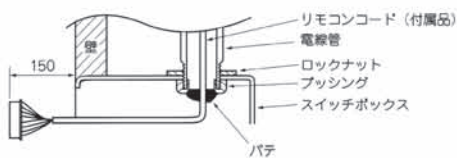
スイッチボックスまたは壁に据付ける場合

(2) リモコンコードを室内ユニットへ引回し、室内ユニット制御基板上のコネクタ (C N90) に接続させます。
室内ユニット制御基板の詳細図は (4) ペアナンバースイッチ設定方法 をご覧ください。

(3) 露、水滴、ゴキブリ、虫等の侵入防止のためリモコンコード引込口をパテで確実にシールしてください。

スイッチボックスを使用する場合

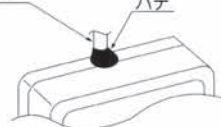
- ・スイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールします。



壁に直接取付ける場合

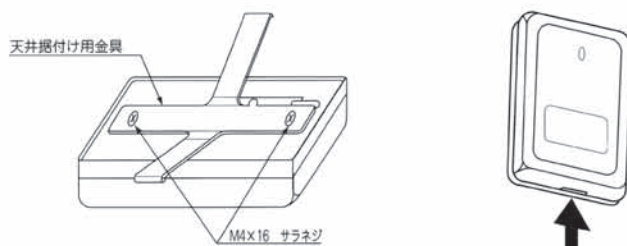
- ・下ケースの切取った部分をパテでシールします。
- ・リモコンコードを壁面で引回す場合はモールを使用して下さい。

モール使用のこと



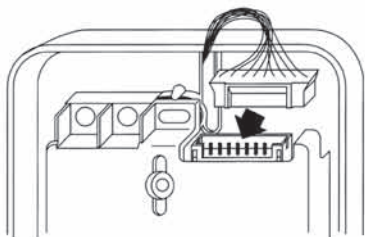
(4) 天井据付け用金具を取り外します。

- ・天井据付け用金具を固定しているM4×16サラネジを取り外してください。
- ・M4×16サラネジは内側からナットで固定していますのでカバーを外しナットが回らない様に固定してから取り外してください。



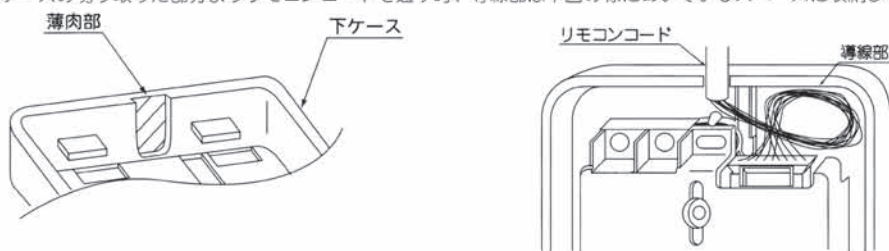
矢印の方向にマイナスドライバーを差込みひねりますとカバーは外れます。

(5) リモコンコードをワイヤレスリモコン受光部のコネクタに接続させます。

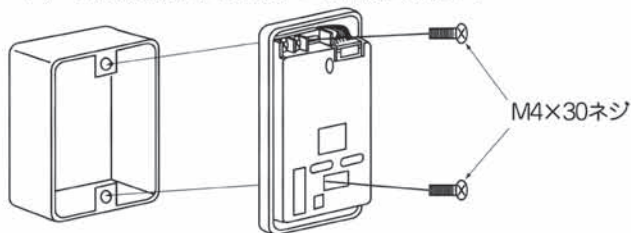


(6) 壁などに直接ワイヤレスリモコン受光部を据付ける場合の配線穴を確保する。

- ・下ケース内側の薄肉部（斜線部）をナイフ、ニッパーなどで切取ってください。
- ・接続したリモコンコードをこの部分より出します。
- ・下ケースの切り取った部分よりリモコンコードを通す時、導線部は下図の様にあいているスペースに収納してください。



(7) ワイヤレスリモコン受光部をスイッチボックスまたは壁に据付けます。
下ケースを先に据付けてからカバーをはめてください。



※スイッチボックスを使わずに直接壁に据付ける場合は、4.1×16木ネジを使用してください。

カバーをはめ込むとき



①上部爪(2ヶ所)を掛けます。



②カバーを下ケースにはめ込みます。

△注意 “パチッ”と音がするまで確実にはめ込んでください。
確実にはめ込んでいない場合、落下の恐れがあります。

4 ペアナンバースイッチ設定方法

変更が必要な場合のみ設定してください。

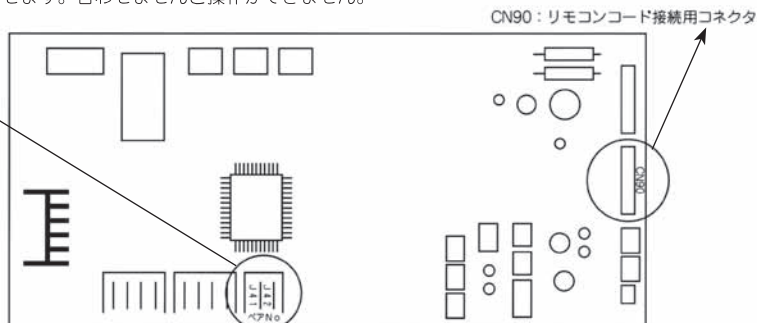
ワイヤレスリモコン操作部と室内ユニットのペアナンバーを合わせます。合わせませんと操作ができません。

(1) 室内ユニットの設定

室内ユニット制御基板のジャンパー線 (J41, J42) を下表に従って切断することにより設定してください。

ペアナンバーの設定は、下表A~Dの4パターンが可能です。

ペアナンバー 設定パターン	リモコン操作部側 ペアナンバー	室内制御基板側 ジャンパー線切断箇所
A	0	切断せず
B	1	J41切断
C	2	J42切断
D	3~9	J41, J42切断

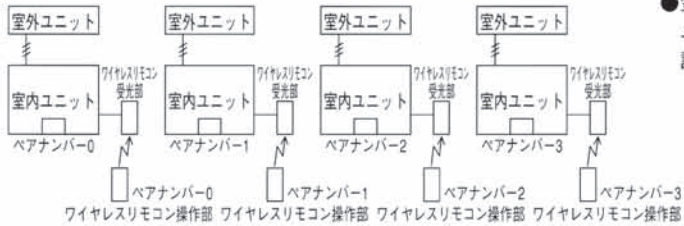
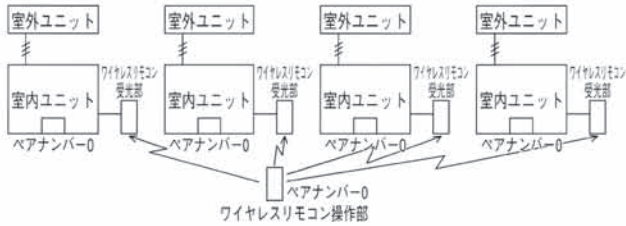
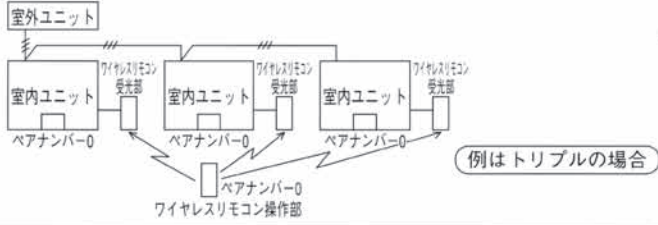
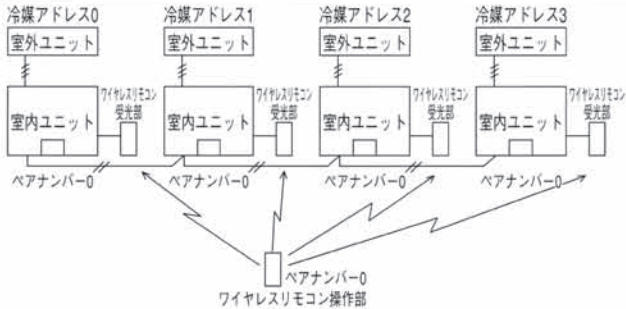


室内ユニット制御基板 (例)

(2) ワイヤレスリモコンの設定

ワイヤレスリモコン操作部の据付工事説明書を参照してください。

● 設定例

<p>単 独</p>	<p>(1) 個別設定 ●各ユニットは固有のワイヤレスリモコンのみ操作できます。</p>  <p>(2) 同一設定 ●各ユニットは同一のワイヤレスリモコンで操作できます。</p>  <p>●室内制御基板とワイヤレスリモコンはユニットごと異なるペアナンバーに設定します。</p> <p>●室内制御基板とワイヤレスリモコンのペアナンバーは全て同一に設定します。</p> <p>●各ユニットはワイヤレスリモコンの受光範囲内に据付けるか、あるいはワイヤレスリモコンの操作者が移動して、ワイヤレスリモコンを操作してください。</p>
<p>同時 ツイン・ トリプル・ フォー</p>	 <p>●どの室内ユニットが受信しても運転します。</p>
<p>グループ 制御</p>	 <p>●親機 (冷媒アドレス0)、子機 (冷媒アドレス1、2、3) のどれが受信しても運転します。</p>

5 試運転方法

ワイヤレスリモコンの据付説明書を参照してください。

6 機能選択

ワイヤレスリモコンの据付説明書を参照してください。

7 自己診断

ワイヤレスリモコンの据付説明書を参照してください。



昇降パネルリモコン

● PAC-SF93RC

使用目的 / 用途



- “昇降パネルリモコン” は、パネルの自動昇降操作をするワイヤレスリモコンです。
- パネルの自動昇降は、ワイヤードリモコンからでもできますが、ワイヤードリモコンの位置からエアコンが見えない場合などに本品をご使用ください。

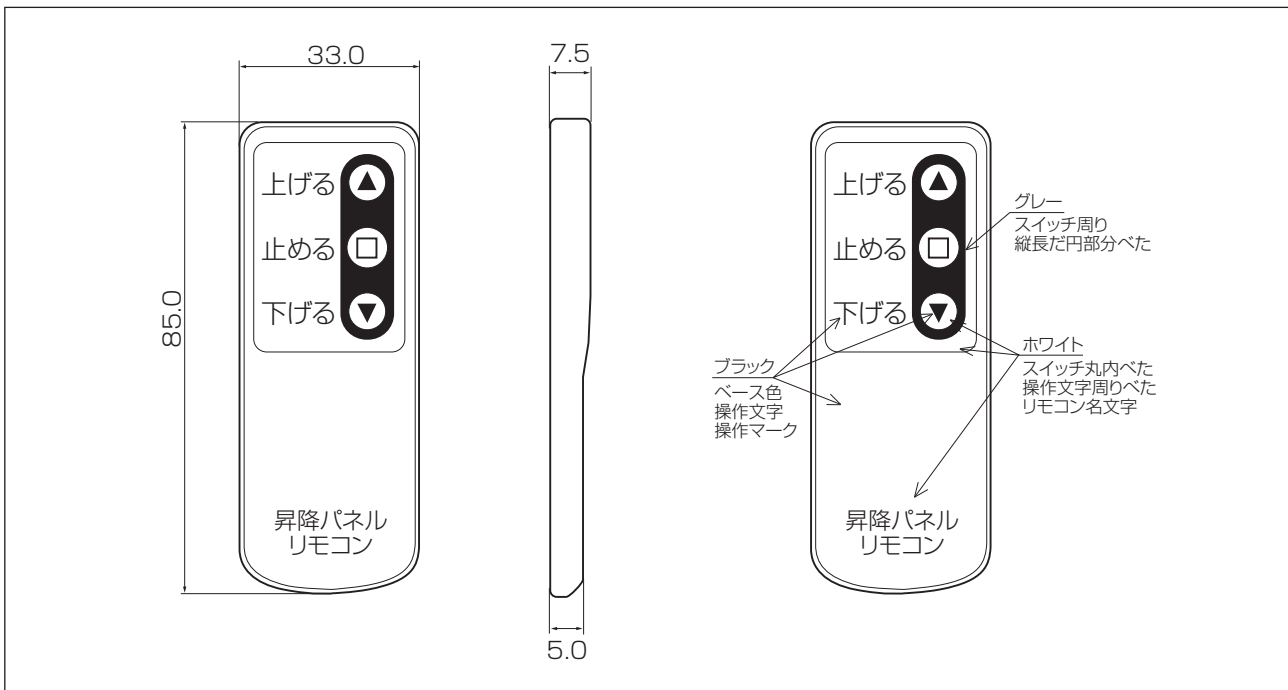
対象ユニット

- PL-(Z)(E)RP40 ~ 160BA7
 - ・ PLP-P160BJWF2 (人感ムーブアイコンタン自動パネル)
 - ・ PLP-P160BJWE7 (ムーブアイコンタン自動パネル)
 - ・ PLP-P160BJWH7 (標準パネルカンタン自動パネル)
- PL-RP40 ~ 56LA7
 - ・ CMP-P45ALWHG2 (自動昇降パネル)
- PL-RP63 ~ 80LA7
 - ・ CMP-P71ALWHG2 (自動昇降パネル)
- PL-RP112 ~ 160LA7
 - ・ CMP-P112ALWHG2 (自動昇降パネル)
- PC-RP40 ~ 160KA(L)7 (PC-RP40 ~ 160KA7 形はワイヤレス受光部が必要です。) 自動昇降キット使用時

仕様

形名	PAC-SF93RC
外装色	ブラック
マンセルNo	N2

外形図 (単位: mm)



MITSUBISHI
三菱電機パッケージエアコン別売部品 昇降パネルリモコン取付説明書 PAC-SF93RC

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

- 警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
- 注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付要領書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

取付けは、この取付要領書に従って確実にこなす。

- 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

取付け（移設）・電気工事をする前に

注意

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。

- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

電源配線工事がある場合は、電流量に合った規格品の電線を使用すること。

- 漏電や発熱・火災の原因になることがあります。

冷媒配管工事がある場合は結露しないように確実にこなす。

- 不完全な断熱施工を行なうとは配管等表面が結露して、露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。

ドレン配管工事がある場合は、据付点検要領書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないよう保温すること。

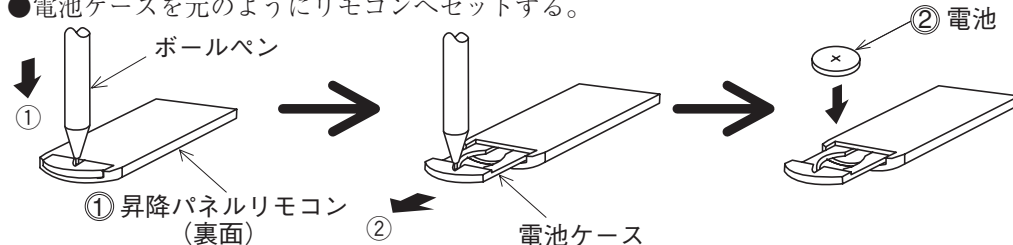
- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になることがあります。

1. **部品の確認** (この箱の中には本説明書と下記部品が入っています。)

品番 品名	① 昇降パネルリモコン	② 電池	③ マジックテープ
個数	1	1	1
形状		 リチウム電池 CR2025 3V	 オス側(白色) メス側(黒色)

2. **電池の入れ方**

- ボールペン等の先端で矢印①のように下へ押しつけながら矢印②の方向にスライドし、電池ケースを外します。
- 電池②は、プラス表示面を上にして電池ケースに入れる。※逆さでは入りません。
- 電池ケースを元のようにリモコンへセットする。



3. **リモコンの取付**

- リモコンを壁等に取り付ける場合は、付属のマジックテープ③のオス側(白色)をリモコンの背面へ貼り、メス側(黒色)を取付場所へ貼り付けする。

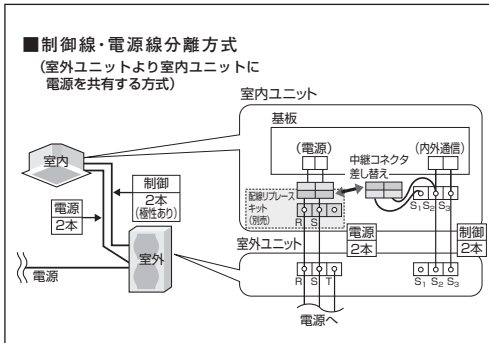
4. **確認**

- このリモコンにて、正常に作動するか確認します。操作方法については化粧パネルの据付工事説明書もしくは取扱説明書に記載してあります。

配線リプレースキット

● PAC-SH52HR

使用目的 / 用途



- “配線リプレースキット”は、室外・室内間を制御線・電源線分離方式（室外ユニットより室内ユニットに電源を供給する方式）や制御線単独方式（内外別受電方式）の配線にも対応する部品です。
- 本品は、室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
- 空調機のリニューアルをする際、既設の配線方式を有効に再利用できます。※線径・線種により制約を受ける場合があります。

注意

- ・ 室外ユニット制御基板のディップスイッチの設定変更が必要です。

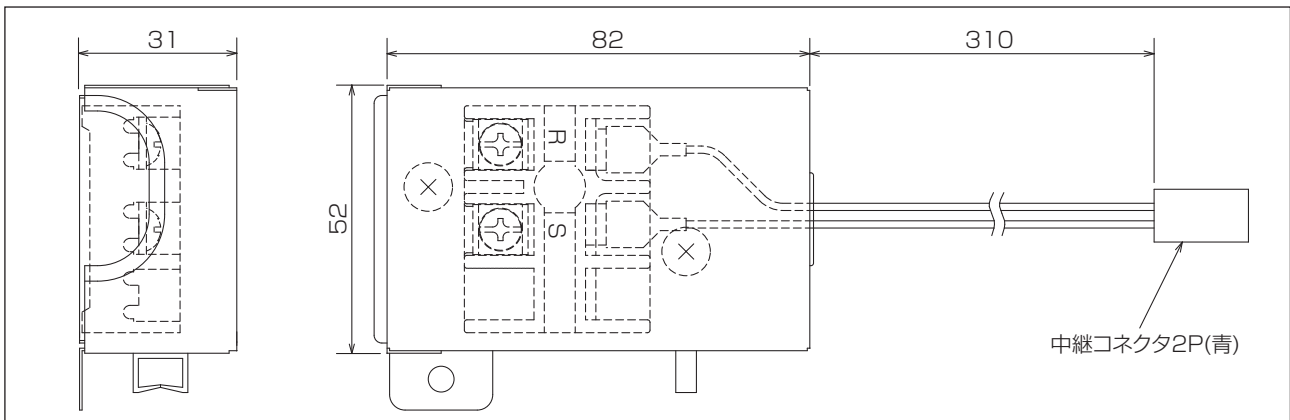
対象ユニット

- PL-ZRP40 ~ 160BA7
- PL-ERP40 ~ 160BA7

仕様

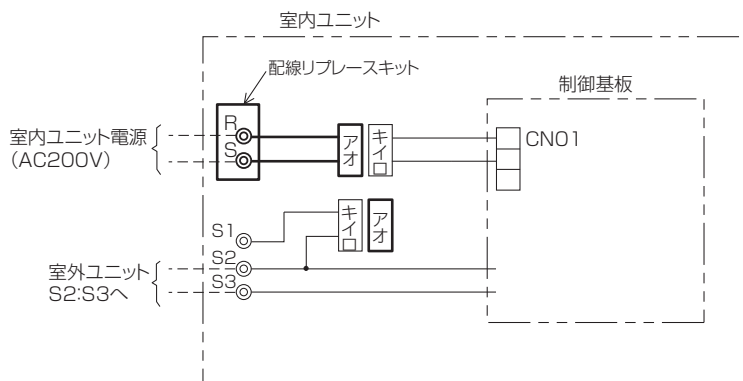
形名	PAC-SH52HR
端子盤定格	5A・250V
端子盤材質	変性メラニン
構成部品	端子盤（リード線結束済）× 1、ネジ× 3、ファスナー（リード線結束用）× 1

外形図 (単位: mm)



電気配線図

配線リプレースキット接続後の配線図(内外別受電方式等とする場合)



- ・ 室内ユニット制御基板のCNO1から出ているキイロのコネクタを外し配線リプレースキットのアオのコネクタを接続してください。
- ・ S1, S2側のキイロのコネクタに配線リプレースキットから外したコネクタを取り付けてください。

安全のために必ず守ること

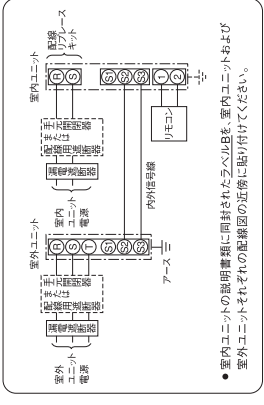
- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みください。確実に守ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取った取扱いをしたときに発生する危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。
- △警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。
- △注意 誤った取扱いをしたときに、障害または燃焼、発火などの障害に結びつくもの。
- 取付け完了後、試運転を行わない場合は、新しくお買いになる方に依頼してください。

1. 概要

この部品は、室内ユニット (M)PL(Z)-BAシリーズにおいて、下記配線パターンのように室内ユニットに電源 (AC200V) を給電する際に使用します。

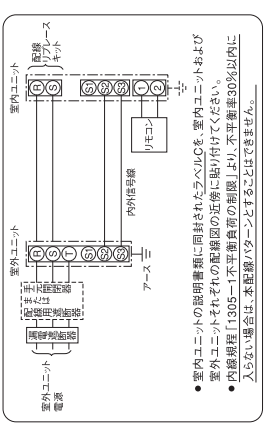
取付けには、室内ユニットの据付工事説明書も併せてご覧ください。

一内外別受電方式



- 室内ユニットの説明書類に同封されたラベルを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれに貼付してください。
- 内線規格「1305-1」(不平衡負荷30%以内)に入らない場合は、本配線パターンとすることはできません。

一室外ユニットより、室内ユニットに電源を供給する方式



- 室内ユニットの説明書類に同封されたラベルを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれに貼付してください。
- 内線規格「1305-1」(不平衡負荷30%以内)に入らない場合は、本配線パターンとすることはできません。

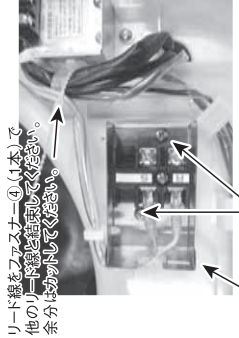
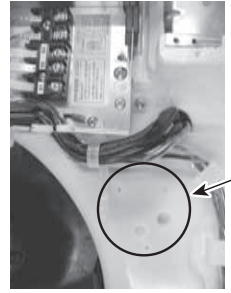
2. 同梱部品

この箱の中には、本取付説明書の他に下記部品が同梱されていますので、ご確認ください。

- ①端子盤(安全取付用).....1個
- ②フタ.....1個
- ③ネジ.....3本
- ④フラスナー(リット線結用).....2本
- ⑤シール.....1枚

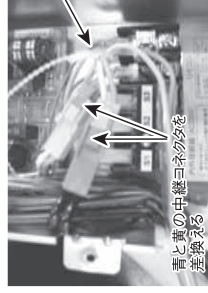
3. 取付方法

- ※電気品カバーなどの取外し方法は、室内ユニット据付工事説明書の電気配線工事の項目を参照願います。
- 2. 端子盤①をネジ③(2本)にて図の向きに取付け、リード線を電気品ボックス内に配線します。

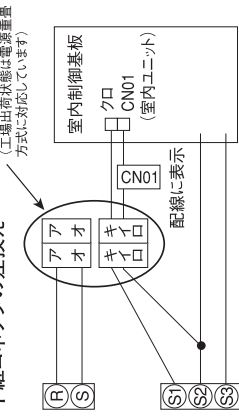


- △警告 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。お客様自身で取付けをされず、部品によっては水漏れや電撃、火災等の原因になることがあります。
- △警告 取付けは、この説明書に従って作業を行なう。取付けに不備があると、原因によっては水漏れや電撃、火災等の原因になることがあります。
- △注意 電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」(内閣府定)に基づき、本取付説明書に基づき施工し、かつ定規の電気「プルーカ」を使用する。電気回路容量不足や施工不備があると、電撃、火災の原因になります。

3. リット線の青と黄の中継コネクタを差換え、フラスナー④にてリット線を結束します。



中継コネクタの差換え



4. 電気配線

必ず室内ユニット据付工事説明書に従って、電気配線工事を施工してください。

5. 室内ユニットの説明書類に同封されているラベルを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれの電気配線図近傍に貼り付けてください。

貼り付けラベルは3種類(ラベルA~ラベルC)付属しています。配線パターンに合わせたラベルを貼り付けてください。内外別受電方式.....ラベルB 室外ユニットより、室内ユニットの電源を供給する方式.....ラベルC

6. 電気品カバーの表側にシール⑤を必ず貼ってください。

7. 室内制御基板のディップスイッチの設定変更

室外ユニット制御基板上のディップスイッチの設定変更が必要です。

室内制御基板 ディップスイッチの設定	室外ユニットが ・MPU (Z) ・(WR) P40~280形 ・MPU (Z) ・(E) RP40~280形 ・PU (Z) ・(Z)(E) RP40~280形 ・MPUH-P224~280形 の場合 ⇒SW8-3をONIに設定する	室外ユニットが ・MPUH-P40~160形 の場合 ⇒SW7-2をONIに設定する (SW7)
-----------------------	---	--

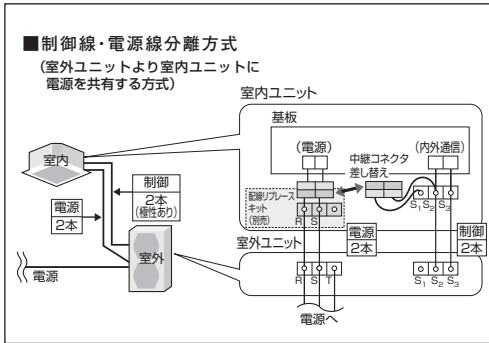
8. 試運転

室内ユニットの据付工事説明書に従って、試運転を行なってください。

配線リプレースキット

● PAC-SG96HR

使用目的 / 用途



- “配線リプレースキット” は、室外・室内間を制御線・電源線分離方式（室外ユニットより室内ユニットに電源を供給する方式）や制御線単独方式（内外別受電方式）の配線にも対応する部品です。
- 本品は、室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
- 空調機のリニューアルをする際、既設の配線方式を有効に再利用できます。※線径・線種により制約を受ける場合があります。

注意

- ・ 室外ユニット制御基板のディップスイッチの設定変更が必要です。

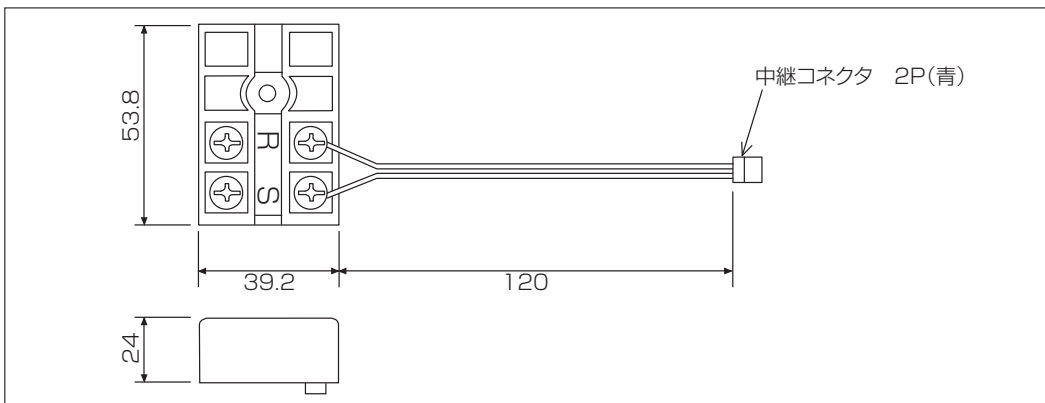
対象ユニット

- PL-RP40 ~ 80JA7
- PM-RP40 ~ 80FA7
- PD-RP40 ~ 160FA7
- PE-RP50 ~ 160CA7
- PC-RP40 ~ 160KA7
- PC-RP224・280BA7/CA7
- PF-RP224・280BA7
- PS-RP50 ~ 160GA7

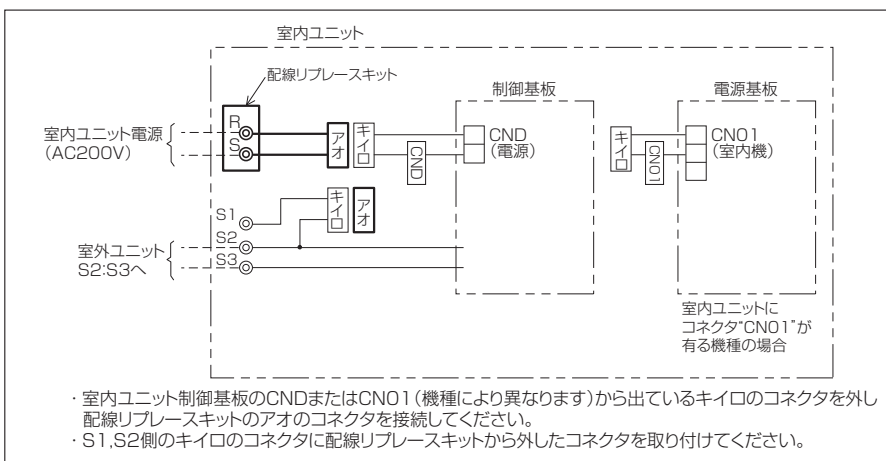
仕様

形名	PAC-SG96HR
端子盤定格	30A・330V
端子盤材質	変性メラミン
構成部品	端子盤（リード線結束済）× 1、ネジ× 1 ファスナー（リード線結束用）× 1

外形図（単位：mm）



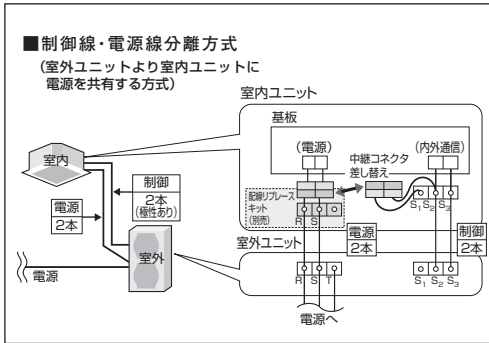
配線図（配線リプレースキット接続後・内外別受電方式等とする場合）



配線リプレースキット

● PAC-SG97HR

使用目的 / 用途



- “配線リプレースキット” は、室外・室内間を制御線・電源線分離方式（室外ユニットより室内ユニットに電源を供給する方式）や制御線単独方式（内外別受電方式）の配線にも対応する部品です。
- 本品は、室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
- 空調機のリニューアルをする際、既設の配線方式を有効に再利用できます。※線径・線種により制約を受ける場合があります。

注意

- ・ 室外ユニット制御基板のディップスイッチの設定変更が必要です。

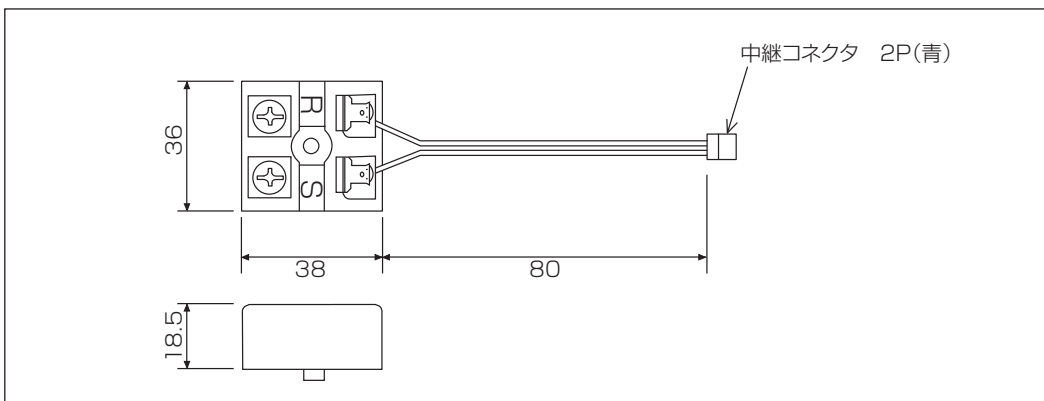
対象ユニット

- PL-RP40 ~ 160LA7
- PE-RP50 ~ 160DA7
- PC-RP80・140HA7

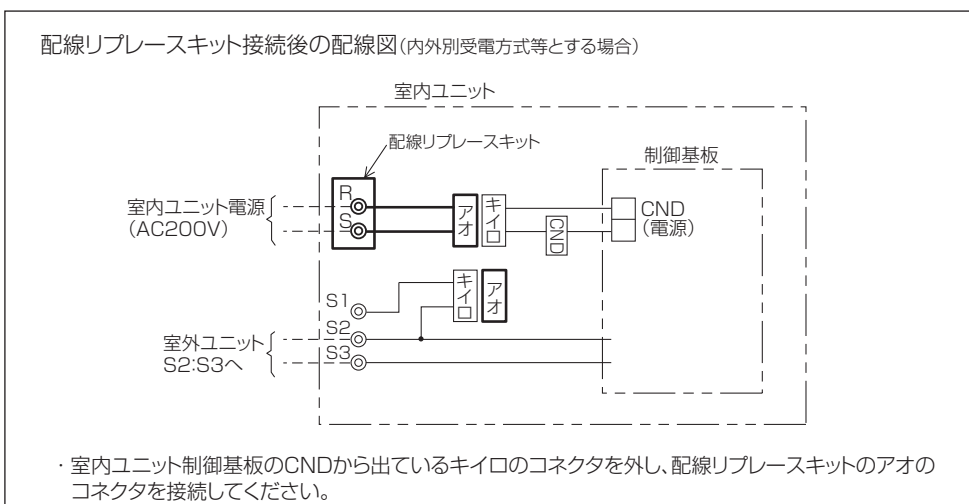
仕様

形名	PAC-SG97HR
端子盤定格	15A・264V
端子盤材質	変性メラミン
構成部品	端子盤（リード線結束済）× 1、ネジ× 1 ファスナー（リード線結束用）× 1

外形図（単位：mm）



配線図（配線リプレースキット接続後・内外別受電方式等とする場合）



(本マニュアル用に変更・修正しています)
RG79V897HQ4

MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン別売部品 配線リプレースキット取付説明書

形名: PAC-SG96HR / (M)P*(Z)-RP・*A(L)シリーズ用
PAC-SG97HR / (M)P*-RP・*Aシリーズ用

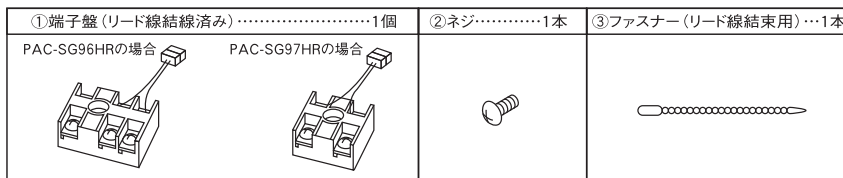
安全のために必ず守ること

<ul style="list-style-type: none"> ●取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。 ●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。 ●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。 	
<p>⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。</p>	
<p>⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。</p>	
<p>●取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認すると共に、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。</p>	
<p>⚠警告 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になることがあります。</p>	<p>⚠警告 充電部に触れる前に、必ず室内ユニット・室外ユニット全ての電源を切ってください。 感電・火災の原因になります。</p>
<p>⚠警告 取付けは、この説明書に従って確実に行なう。 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になることがあります。</p>	<p>⚠注意 電気配線工事がある場合は、電流量に合った規格品の電源を使用すること。 漏電や発熱・火災の原因になることがあります。</p>
<p>⚠警告 電気工事は、電気工士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、本説明書に従って施工し必ず専用回路とし、かつ定格の電圧、ブレーカーを使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。</p>	<p>⚠注意 各配線は、張力が掛からないように配線工事をする。 断線したり、発熱・火災等の原因になります。</p>

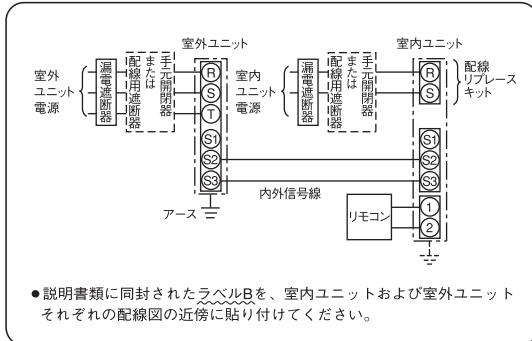
1. 概要

この部品は、配線リプレース対応の室内ユニット（ヒータレス）において、下記配線パターンのように室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
取付けには、室内ユニットの据付工事説明書も併せてご覧ください。

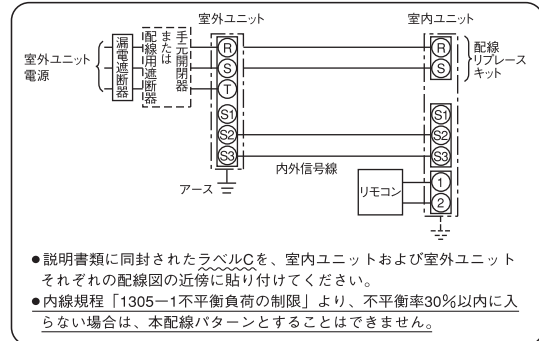
2. 同梱部品 この箱の中には、本取付説明書の他に下記部品が同梱されていますので、ご確認願います。



一内外別受電方式



一室外ユニットより、室内ユニットに電源を供給する方式



3. 取付方法

※電気品カバー等の取外し方法は、各々の室内ユニット据付工事説明書の電気配線工事の項目を参照願います。

■PAC-SG96HR

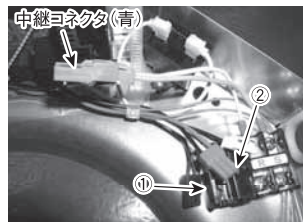
4方向カセット形 (M)PL (Z) -JAタイプの場合
1. 電気品ボックスのカバーを取外します。



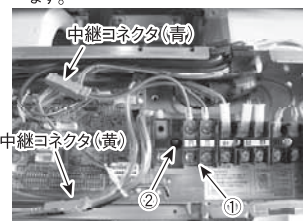
天吊形 (M)PC-KAタイプの場合
1. 電気品ボックスのカバーを取外します。



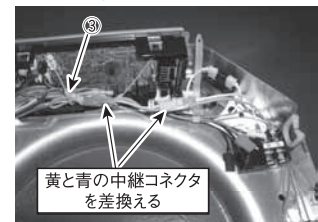
2. 端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



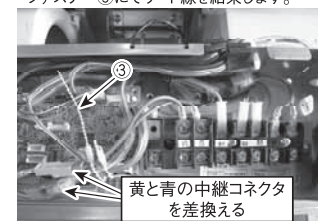
2. 端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3. リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。



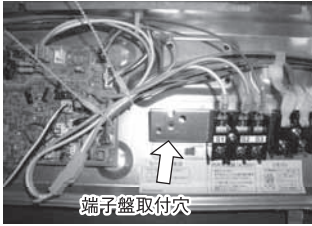
3. リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。



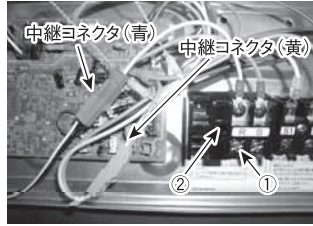
■ PAC-SG96HR

天吊形 (M)PC-GAタイプの場合

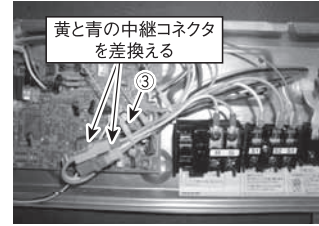
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

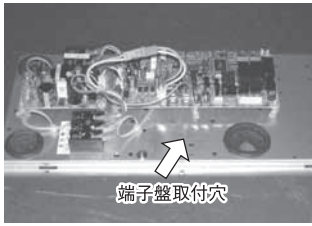


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。

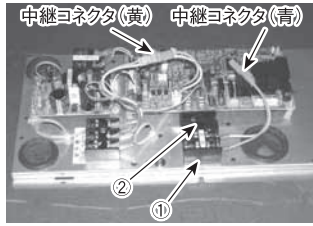


天吊形 (M)PC-BA/CAタイプおよび床置形(M)PF-BAタイプの場合

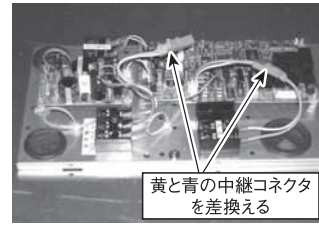
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

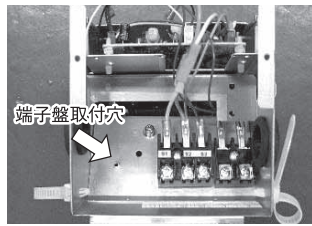


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

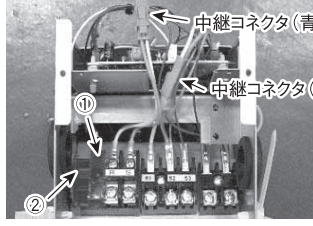


天井ビルトイン形 (M)PD-FAタイプの場合

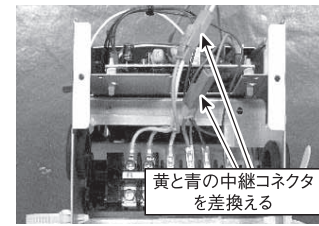
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

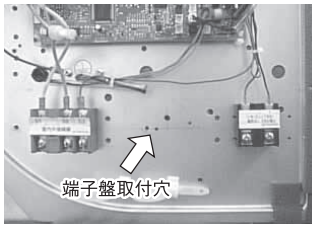


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

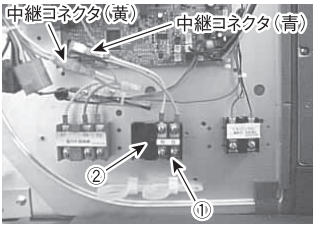


天井埋込形 (M)PE-CAタイプの場合

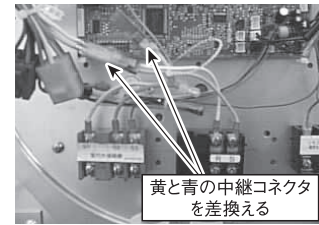
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



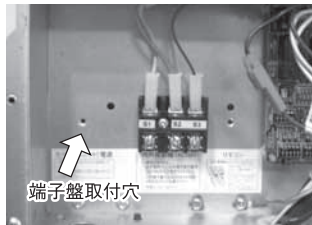
3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。



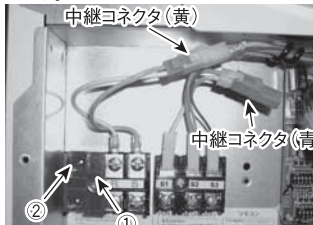
注:(M)PD-FAタイプ、(M)PE-CAタイプ、(M)PC-BA/CAタイプ、(M)PF-BAタイプで、補助電気ヒータと併用する場合は、配線リプレースキットの端子盤から配線を取り外し補助電気ヒータ端子盤の「R」と「S」に取り外した配線を接続してください。

床置形 (M)PS-50~80KAタイプの場合

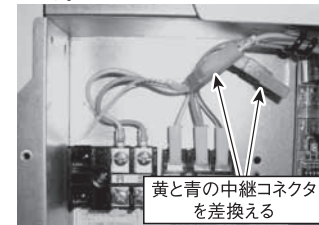
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

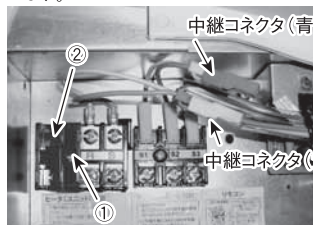


床置形 (M)PS-112~160KAタイプの場合

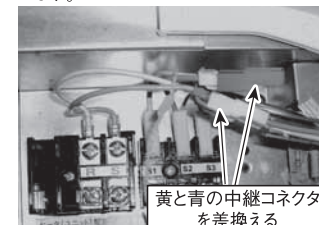
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。



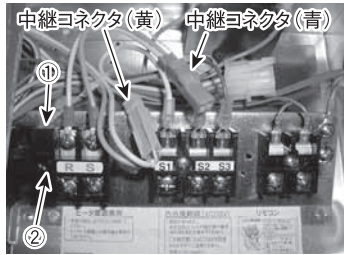
■ PAC-SG96HR

1方向カセット形 (M)PM-EAタイプの場合

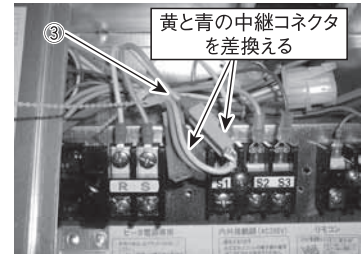
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

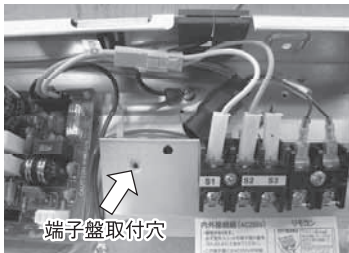


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。

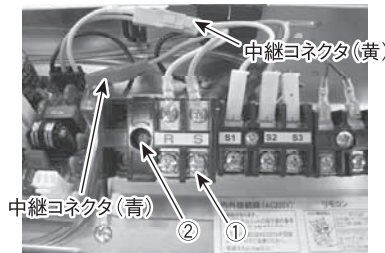


1方向カセット形 (M)PM-FAタイプの場合

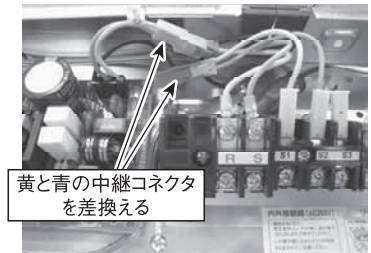
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

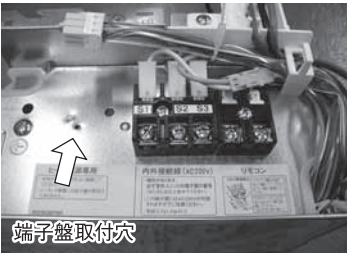


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。



壁掛形 (M)PK(Z)-GAタイプの場合

1.電気品ボックスの端子盤カバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

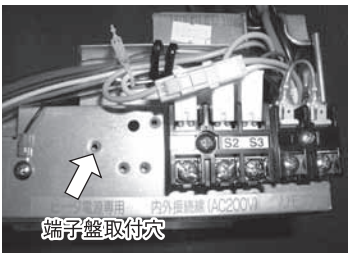


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。

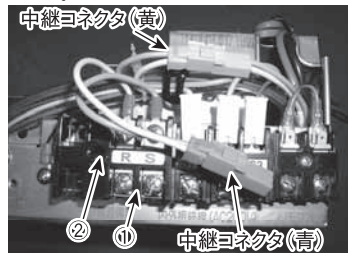


壁掛形 (M)PK-FA(L)タイプの場合

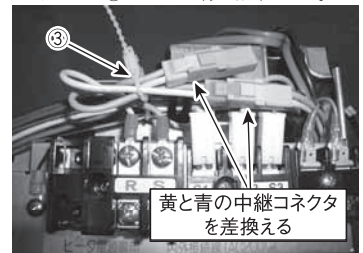
1.電気品ボックスの端子盤カバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

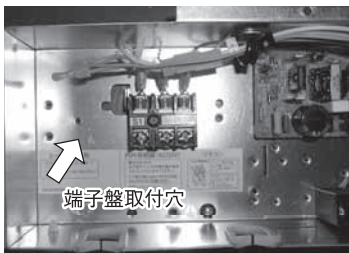


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。

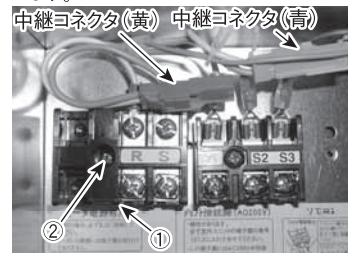


床置形 (M)PS-GAタイプの場合

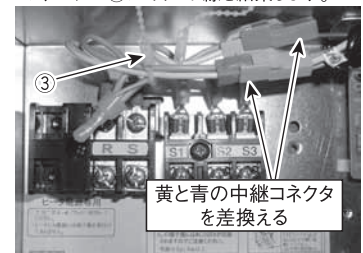
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



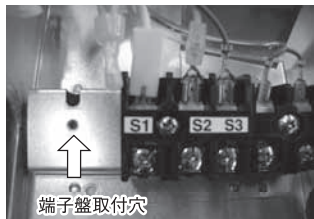
3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。



■ PAC-SG97HR

厨房用天吊形の場合

1. 端子盤ボックスのカバーを取外します。

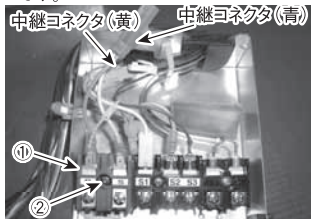


2方向カセット形 (M) PL-RP・LAタイプの場合

1. 電気品ボックスのカバーを取外します。



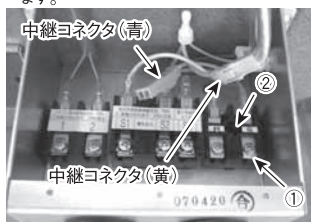
2. 端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3. リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。



2. 端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3. リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。



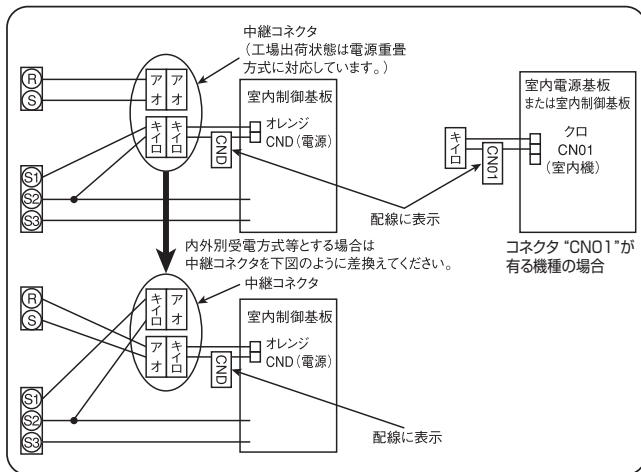
4. 電気配線

必ず各々の室内ユニット据付工事説明書に従って、電気配線工事を施工してください。

5. 室内ユニットの説明書類に同封されているラベルを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれの電気配線図近傍に貼り付けてください。

貼り付けラベルは3種類(ラベルA~ラベルC)付属しています。配線パターンに合わせたラベルを貼り付けてください。
 内外別受電方式 ……ラベルB 室外ユニットより、室内ユニットに電源を供給する方式 ……ラベルC

中継コネクタの差換え



6. 室外制御基板のディップスイッチの設定変更

室外ユニット制御基板上のディップスイッチの設定変更が必要です。

室外制御基板
ディップスイッチの設定
※室外ユニットの据付説明書を確認してください。

SW8-3をONに設定する

ON			3
OFF	1	2	

(SW8)

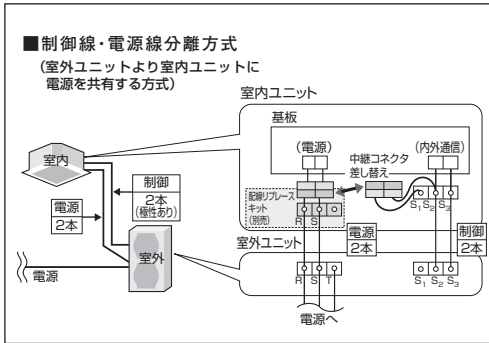
7. 試運転

室内ユニットの据付工事説明書に従って、試運転を行なってください。

配線リプレースキット

● PAC-SJ20HR

使用目的 / 用途



- “配線リプレースキット” は、室外・室内間を制御線・電源線分離方式（室外ユニットより室内ユニットに電源を供給する方式）や制御線単独方式（内外別受電方式）の配線にも対応する部品です。
- 本品は、室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
- 空調機のリニューアルをする際、既設の配線方式を有効に再利用できます。※線径・線種により制約を受ける場合があります。

注意

- ・ 室外ユニット制御基板のディップスイッチの設定変更が必要です。

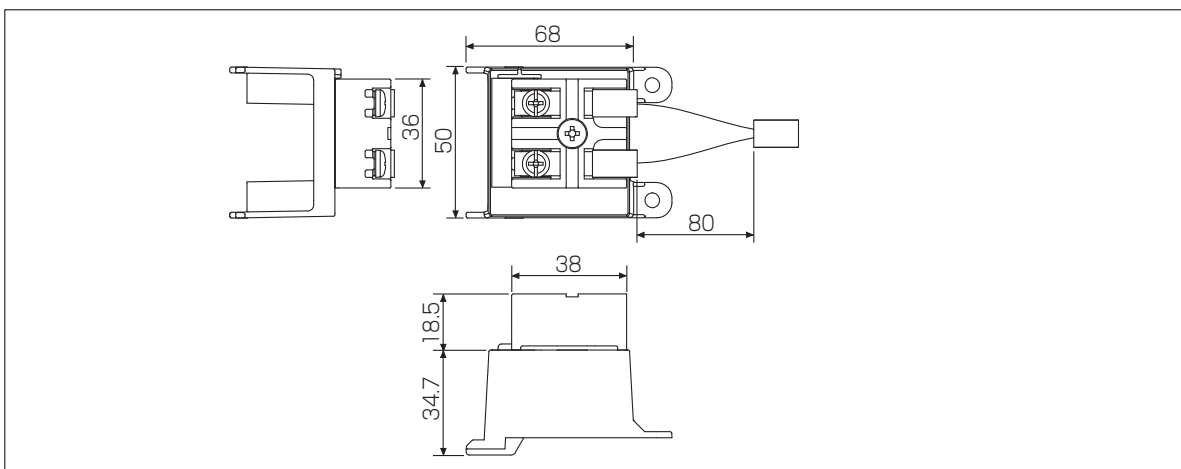
対象ユニット

- PS-RP50 ~ 160KA7

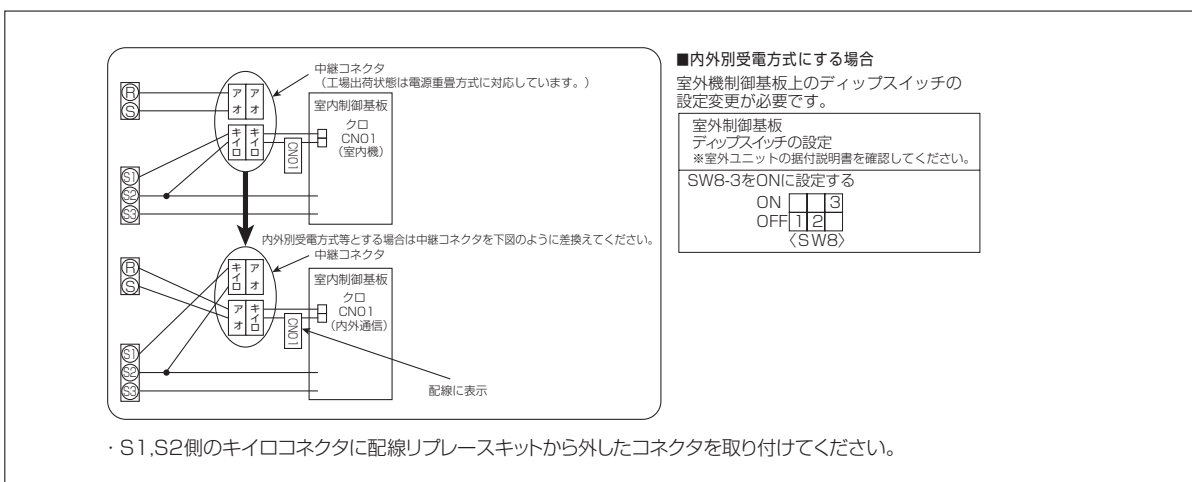
仕様

形名	PAC-SJ20HR
端子盤定格	15A・264V
端子盤材質	変成メラミン
構成部品	端子盤（リード線結束済）× 1、ネジ× 1 ファスナー（リード線結束用）× 1

外形図（単位：mm）



配線図（配線リプレースキット接続後・内外別受電方式等とする場合）





三菱電機パッケージエアコン別売部品 配線リプレースキット取付説明書

形名: PAC-SJ20HR / PS-RP・KAシリーズ用

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

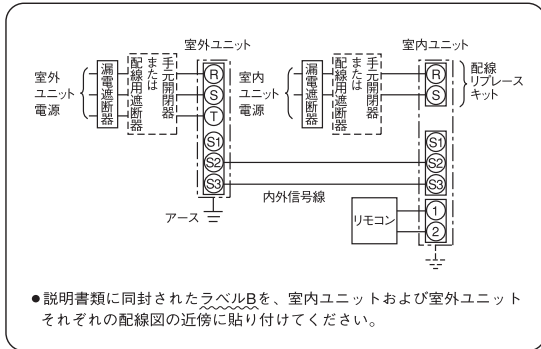
- 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認すると共に、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告	取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。	⚠警告	充電部に触れる前に、必ず室内ユニット・室外ユニット全ての電源を切ってください。 感電・火災の原因になります。
⚠警告	取付けは、この説明書に従って確実に行なう。 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。	⚠注意	電気配線工事がある場合は、電流量に合った規格品の電源を使用すること。 漏電や発熱・火災の原因になることがあります。
⚠警告	電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、本説明書に従って施工し必ず専用回路とし、かつ定格の電圧、ブレーカーを使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。	⚠注意	各配線は、張力が掛からないように配線工事をする。 断線したり発熱・火災等の原因になります。

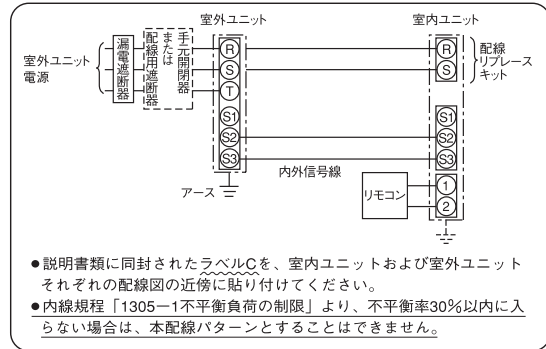
1. 概要

この部品は、配線リプレース対応の室内ユニットにおいて、下記配線パターンのように室内ユニットに電源(AC200V)を給電する際に使用します。取付けには、室内ユニットの据付工事説明書も併せてご覧ください。

一内外別受電方式

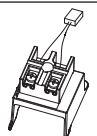



一室外ユニットより、室内ユニットに電源を供給する方式



2. 同梱部品

この箱の中には、本取付説明書の他に下記部品が同梱されていますので、ご確認願います。

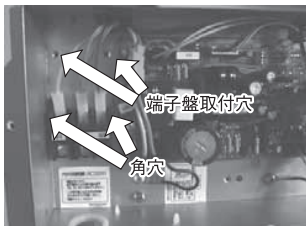
①端子盤(台座部品取付済み).....1個	②ネジ.....2本
	
※端子盤は、台座部品にネジ(4×12)で固定済みです。	

3. 取付方法

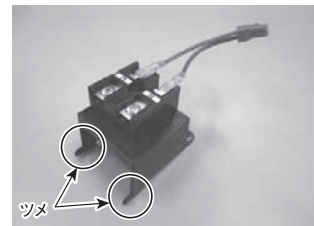
※電気品カバー等の取外し方法は、室内ユニット据付工事説明書の電気配線工事の項目を参照願います。

●PS-RP50~80KAタイプの場合

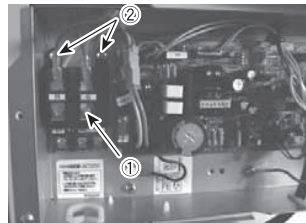
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



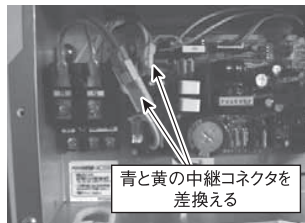
2.端子盤①の台座部品下部のツメを電気品ボックスの角穴に引っ掛けます。



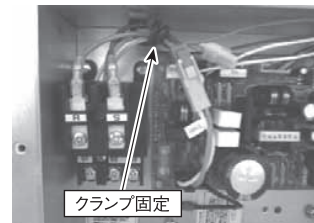
3.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



4.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。



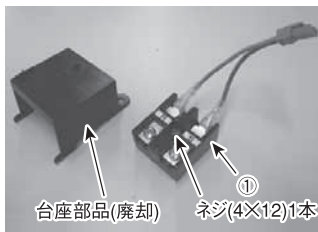
5.リード線をクランプで固定します。



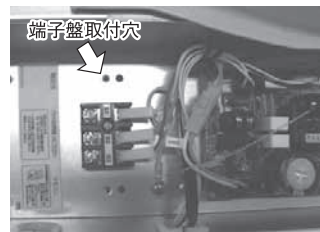
●PS-RP112～160KAタイプの場合

1.端子盤①にネジ(4×12)1本で固定されている台座部品を取外します。

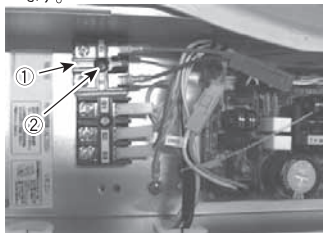
※ネジ(4×12)1本は、端子盤①を電気品ボックスに固定するために、再度使用しますので廃却しないよう注意してください。
 ※台座部品は取外し後、不要となりますので廃却してください。



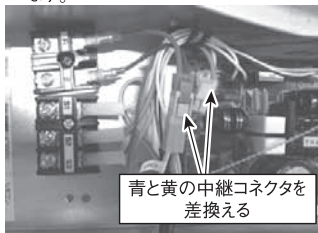
2.電気品ボックスのカバーを取外します。



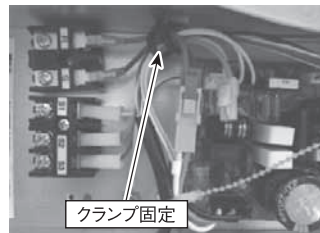
3.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



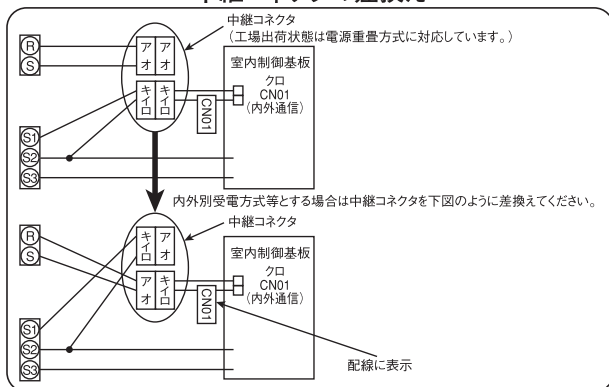
4.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。



5.リード線をクランプで固定します。



中継コネクタの差換え



4. 電気配線

必ず室内ユニット据付工事説明書に従って、電気配線工事を施工してください。

5. ラベルの貼り付け

室内ユニットの説明書類に同封されているラベルを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれの電気配線図近傍に貼り付けてください。貼り付けラベルは3種類(ラベルA～ラベルC)付属しています。配線パターンに合わせたラベルを貼り付けてください。

- ・内外別受電方式 ラベルB
- ・室外ユニットより、室内ユニットに電源を供給する方式 ラベルC

6. 室外制御基板のディップスイッチの設定変更

室外ユニット制御基板上のディップスイッチの設定変更が必要です。

室外制御基板 ディップスイッチの設定							
※室外ユニットの据付説明書を確認してください。							
SW8-3をONに設定する	ON <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td> </td><td> </td><td>3</td></tr><tr><td>OFF</td><td>1</td><td>2</td></tr></table>			3	OFF	1	2
		3					
OFF	1	2					
	〈SW8〉						

7. 試運転

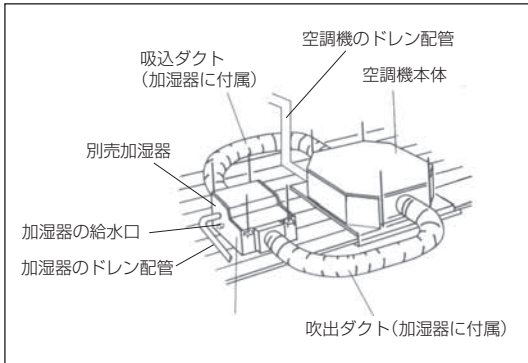
室内ユニットの据付工事説明書に従って、試運転を行なってください。



加湿器 (別吊方式)

● PAC-SF10HU

使用目的 / 用途



- “加湿器” は、冬期に室内の湿度を高め乾燥を防ぐための部品で、別吊タイプです。
- 暖房運転に連動して作動します。
- 必ず加湿器用の自然排水式ドレン管を設けてください。
- 加湿量は空気条件によって変わります。

注意

・別吊式ですので、天井を貼る前に取り付けてください。

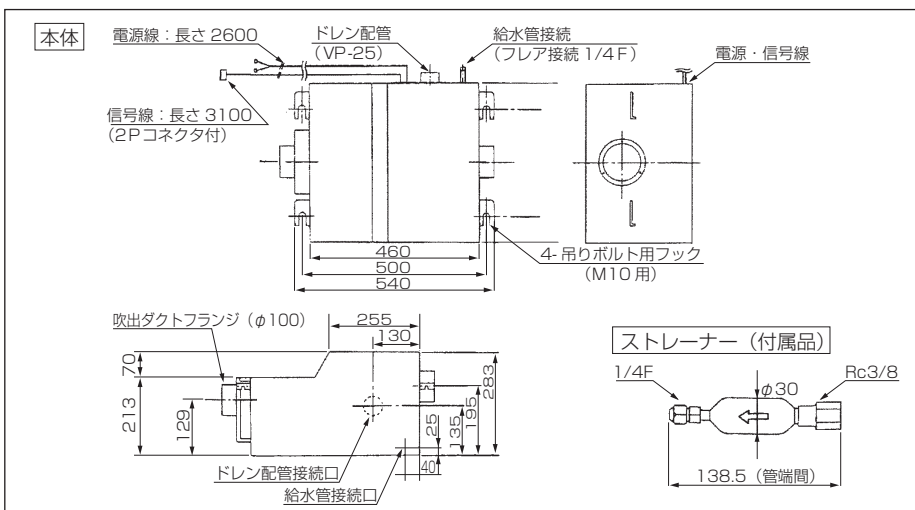
対象ユニット

- PL-(Z)(E)RP40 ~ 160BA7
- PL-RP40 ~ 80JA7

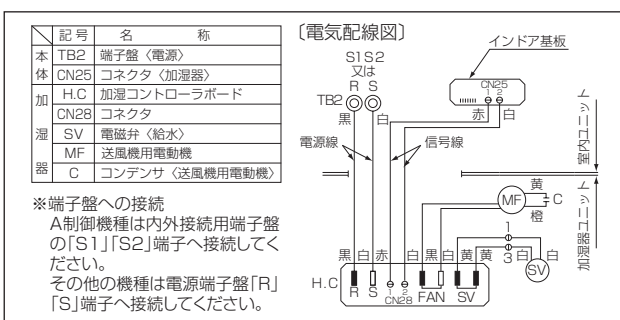
仕様

形名	PAC-SF10HU	加湿エレメント材質	親水性プラスチック多孔質焼結体
定格加湿量	1.0ℓ/h	給水配管径	銅管φ6.35またはφ6.0(本体・ストレーナ間) [現地手配]
定格電源	AC200V 50/60Hz	給水圧力	0.1MPa[減圧弁現地手配]
定格消費電力	32/32W	供給水条件	市水・上水または同等以上のもの 温度5~40℃
運転電流	0.18/0.17A	ドレン配管径	PVC管 VP25[現地手配]
運転力率	89/94%	付属品	断熱材×4個、ダクトフランジφ100×2個、フレキシブルダクトφ100×1.5m×2本、ダクト用バンド×4個、ストレーナ(1.4F・Rc3/8)×1個
送風機風量	1.9m³/min		
質量	12.0kg		

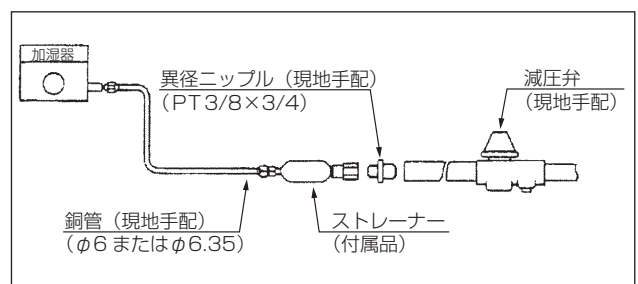
外形図 (単位: mm)



電気配線図



給水配管図



BG79N844H07

MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン別売部品
加湿器取付説明書

PAC-SF10HU

適用機種	カセット1方向吹出しFタイプ
	カセット2方向吹出しEタイプ
	カセット2方向吹出しPタイプ
	カセット4方向吹出しKタイプ
	カセット4方向吹出しJタイプ
	カセット4方向吹出しGタイプ
	カセット4方向吹出しFタイプ
	カセット4方向吹出しAタイプ
	カセット4方向吹出しBタイプ

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

取付けは、この取付説明書に従って確実に行なう。

- 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。

- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

取付け (移設) ・電気工事をする前に

注意

冷媒配管工事がある場合は断熱は結露しないように確実に行なう。

- 不完全な断熱施工を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。

ドレン配管工事がある場合は、取付説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないよう保温すること。

- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になることがあります。

電源配線工事がある場合は、電流量に合った規格品の電線を使用すること。

- 漏電や発熱・火災の原因になることがあります。

製品の運搬・据付けは充分注意して行う。

- 20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

①加湿器本体 1台	②タッピングネジ 4×10 6本	③配管用断熱材 (大) 13×120×250 各1枚 (小) 16×80×220 各1枚	④バンド 2本	⑤ストレーナ 1ヶ	⑥ダクトフランジ 2ヶ	⑦ダクトフランジ用断熱材 灰色 2枚
⑧フレックスダクト 内径φ100,長さ1500 2ヶ	⑨ダクト用バンド 4ヶ	⑩ダクト用断熱材 黒色 黒色 120×460×160 2枚	⑪ダクトフランジ用断熱材 黒色 13×350×78 2枚	⑫本体開口部断熱材 濃灰色 黒色 2枚重ね品 6枚	⑬本体開口部断熱材 黒色 2枚	⑭ストレーナ用断熱材 灰色 18×240×120 1枚

2 取付スペース

図1-1 カセット2方向吹出しEタイプ/Pタイプ配置図(天面側より見る)

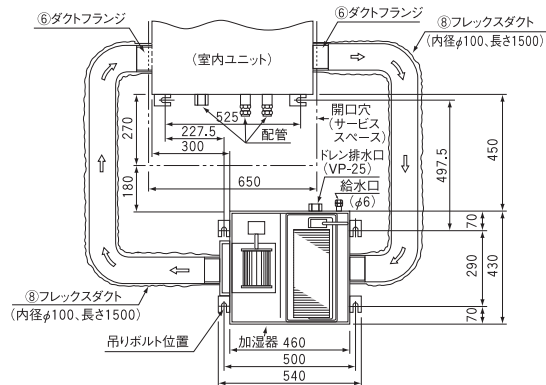
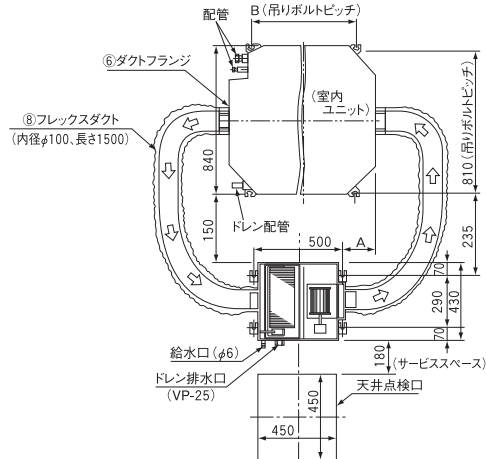


図1-2 カセット4方向吹出しKタイプ/Aタイプ/Bタイプ配置図(天面側より見る)



区分	機種	A	B
Kタイプ	J56~J125形	170	605
	J140・J160形	430	1125
A, Bタイプ	全機種	170	605

図1-3 カセット4方向吹出しJタイプ配置図(天面側より見る)

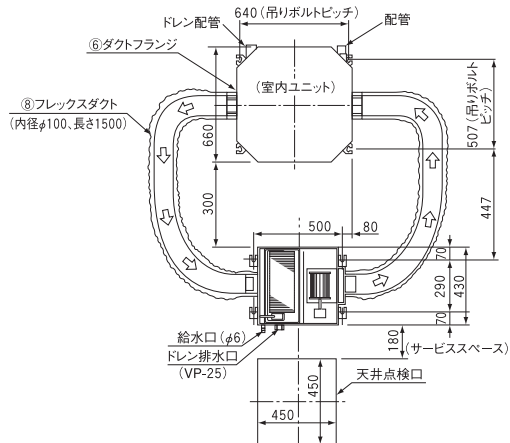
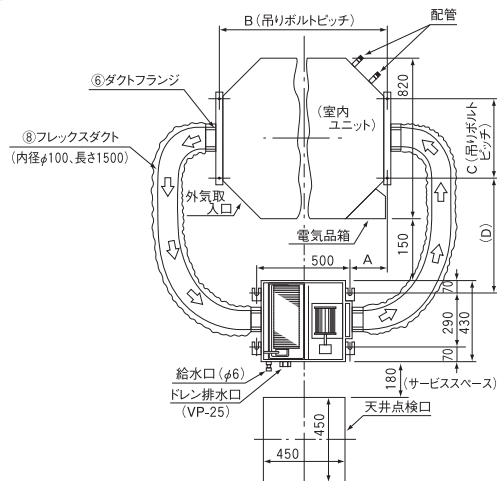


図1-4 カセット4方向吹出しFタイプ/Gタイプ配置図(天面側より見る)



※電気品箱並び吊りボルト足形状は、FタイプとGタイプは異なります。
上図はFタイプのもを示しています。詳細は室内ユニット本体の据付説明書を参照ください。

機種	A	B	C	D
Fタイプ/32~80形、J36~J90形	185	870	420	420
Fタイプ/90~140形、J100~J160形	445	1390	420	420
Gタイプ/35~90形、J36~J100形	140	785	530	365
Gタイプ/100~140形、J112~J160形	400	1305	530	365

図1-5 カセット1方向吹出しFタイプ配置図(天面側より見る)

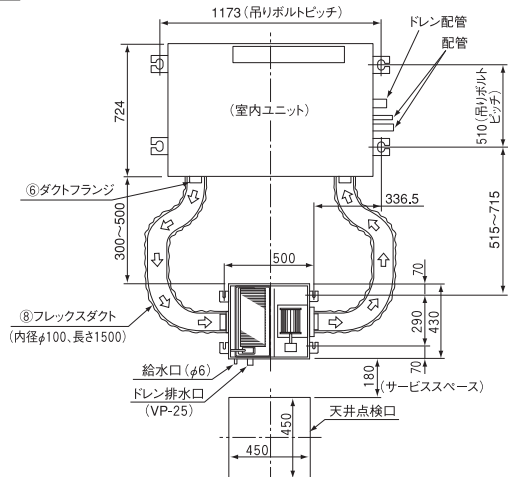
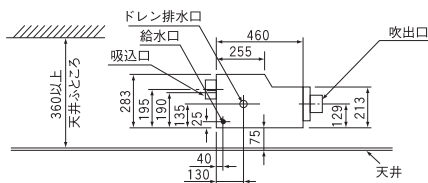


図2



※カセット2方向吹出し機種と4方向/1方向吹出し機種は室内ユニット本体に対して加湿器の取付方向が逆になります。

(図1-1、図1-2、図1-3、図1-4、図1-5 参照)

3 据付前の準備

◆ 現地手配部品

- (1) 止水用バルブ…シーズンオフ、または緊急時等の為に加湿器の配管上流側に止水用バルブを必ず設けてください。
- (2) シスタータンク…給水は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、必ずご使用ください。
- (3) 減圧弁…電磁弁の入口圧力が0.1MPaになる様に減圧弁を必ず設けてください。

◆ 留意事項

据付スペース

- (1) 加湿器の組込みは、天井材を貼る前に必ず行なってください。
- (2) 加湿器の組込みに際し、天井構造の事前検討をお願いします。(天井施工業者様ともご相談ください。)
- (3) 天井点検口を必ず設置してください。

加湿器の取付け

- (1) 本体吊り下げ時は必ず水準器にて水平となるように調整してください。
(両端の高低差が10mm以上の場合、ドレンパンよりオーバーフローします。)
- (2) カセット4方向吹出しA,Bタイプの場合は、室内ユニットの機能設定を行ってください。(12 室内ユニットの機能設定 参照)

給・排水管工事

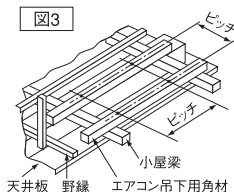
- (1) 供給水質…市水、上水またはこれと同等以上の水を使用してください。
- (2) 供給水温度…5℃~40℃
- (3) 供給水圧力…電磁弁の入口圧力が0.1MPaになる様に減圧弁を必ず設けてください。(現地手配)
- (4) 止水用バルブ(現地手配) およびストレーナ(現地手配)を必ず取付けてください。(8 給水配管工事 参照)
- (5) 加湿器のドレン配管と、室内ユニット本体のドレン配管は必ず別配管としてください。

4 吊りボルトの設置

- 吊りボルトの位置は2項取付スペースを参照します。
- 天井の処理…建物の構造により異なりますので、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

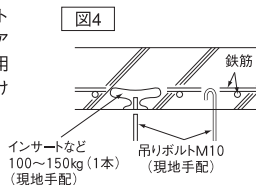
木造の場合

- 小屋梁(平屋建)又は二階梁(二階建)を強度メンバーとします。
- エアコン吊下用角材は梁間が90cm以下の時は6cm角以上180cm以下の時は9cm角以上のじょうぶな角材を用います。

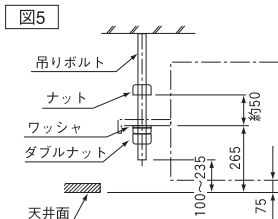


鉄筋の場合

- 右図の方法で吊りボルトを固定するか、またはアングル・角材などを利用して吊りボルトを取付けます。



- 吊りボルトの長さ及びナット位置は、下図のようにします。



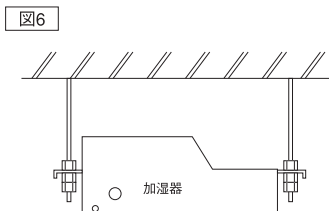
〈現地手配部品〉

- 吊りボルト (M10) …… 4本
- ナット (M10) …… 12個
- ワッシャー (M10) …… 4個

5 加湿器取付

- ダブルナットの上のワッシャーに加湿器を乗せて上側のナットで締め付けます。

※水準器等で加湿器が水平に付いているかを確認します。
(両端で10mm以上の高低差があるとドレンがオーバーフローします。)



6 ダクト取付

- 室内ユニット本体の取付用の穴をあけます。
(カセットにより、ノックアウト穴とカットアウト穴があります。)

カセット2方向吹出しEタイプ/Pタイプ、4方向吹出しFタイプ/Gタイプの場合

- 室内ユニット本体の両側面の断熱材にφ140のミシン目がありますのでφ140の部分をはがします。
([図1-1](#)、[図1-4](#) 参照よりノックアウト穴位置を確認します。)
- はがした部分にφ100のノックアウト穴がありますのでφ100の穴をあけます。

カセット4方向吹出しJタイプ/Kタイプ/Aタイプ/Bタイプの場合

- 室内ユニット本体の両側面にφ100のスリットがついていますので、ニッパー等でスリットを切り落とします。
- φ100の穴に合わせてスチロールをカッター等で切り落としφ100の穴をあけます。
(切り粉は充分取り除いてください。ドレンポンプのつまりの原因となります。また、断熱材はがれ易くなります。)

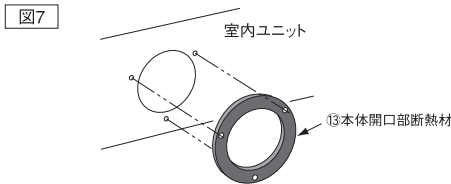
カセット1方向吹出しFタイプの場合

- 室内ユニット本体前面部の断熱材に2箇所φ140のミシン目がありますのでφ140の部分の両方をはがします。
([図1-5](#) 参照よりカットアウト穴位置を確認します。)
- はがした部分にφ100のスリットがついていますので、ニッパー等でスリットを切り落とします。
- φ100の穴に合わせてスチロールをカッター等で切り落としφ100の穴をあけます。
(切り粉は充分取り除いてください。ドレンポンプのつまりの原因となります。また、断熱材はがれ易くなります。)

- 室内ユニット本体の取付用の穴に本体開口部断熱材⑫を貼り付けます。

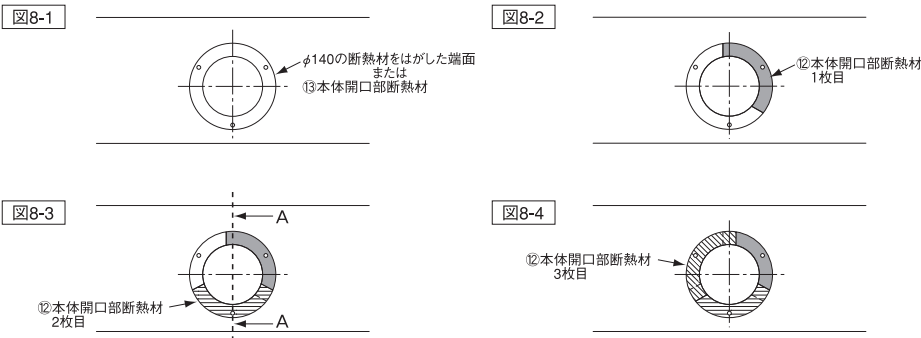
注: カセット4方向吹出しJタイプ/Kタイプ/Aタイプ/Bタイプの場合は、初めに本体開口部断熱材⑬の穴部を室内ユニット側板の穴に合わせて貼り付けます。([図7](#) を参照)

カセット4方向吹出しJタイプ/Kタイプ/Aタイプ/Bタイプの場合



- 本体開口部断熱材⑫をφ140の断熱材をはがした端面と室内ユニット側板の穴または、本体開口部断熱材⑬の端面と穴に合わせ、室内ユニット側板と発泡スチロールを巻き込むように貼り付けます。同様に、2枚目、3枚目も穴に合わせて断熱材が重なるように貼り付けてください。
(貼付け順序は [図8-1](#) ~ [図8-4](#) を参照)

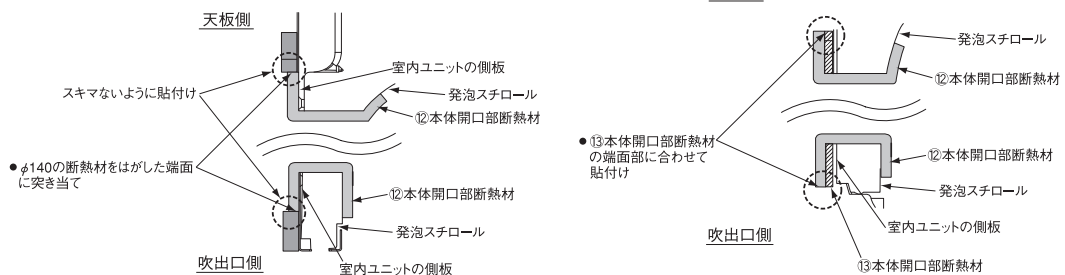
※断熱材は、はがれなきよう、よく押し付けてスキマがないように貼付けしてください。([断面図A-A](#) を参照)



断面図A-A

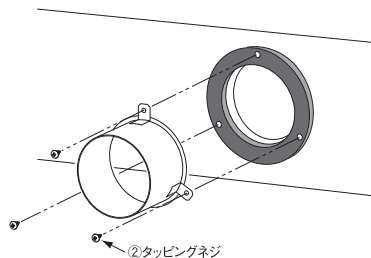
※カセット1方向吹出しFタイプ、
カセット2方向吹出しEタイプ/Pタイプ、
カセット4方向吹出しFタイプ/Gタイプの場合
(図はカセット1方向吹出しFタイプ)

※カセット4方向吹出しJタイプ/Kタイプ/Aタイプ/Bタイプの場合



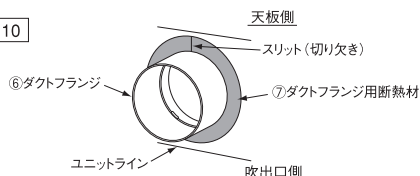
6 ダクト取付 つづき

図9



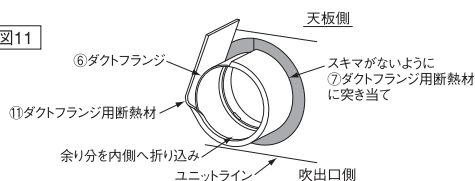
- ダクトフランジ⑥を本体開口部断熱材⑫の穴にタッピングネジ②を使って固定します。(図9を参照)
- ダクトフランジ⑥を固定したタッピングネジ②の上からダクトフランジ用断熱材⑦を天板側にスリット(切り欠き)がくる様に貼付けます。(スキマがないように貼ってください。図10を参照)

図10



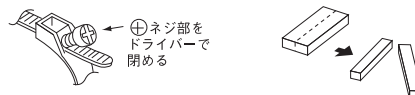
- フランジ部にダクトフランジ用断熱材⑪を天板側に張り合わせ部がくるようにして、ダクトフランジ用断熱材⑦に突き当てながら巻き付け、断熱材の端部の余り分はダクトフランジ内側に折り込むように貼ります。(スキマがないように貼ってください。図11を参照)

図11



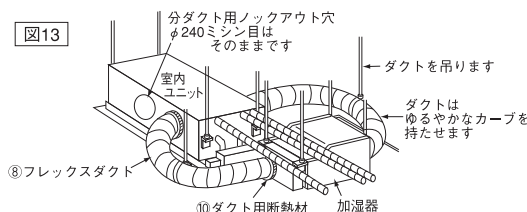
- フレックスダクト⑧を加湿器のダクトフランジと室内ユニット本体に取り付けたダクトフランジ⑥に継ぎ、ダクト用バンド⑨にて締め付けます。(図12を参照)
- ダクト用バンド⑨(4箇所)にダクト用断熱材⑩を巻き付けるように貼ります。(図12、図13を参照)

図12 ダクト用バンド⑨の締め付け方 ダクト用断熱材⑩の切断方法



注：フレックスダクト⑧はゆるやかなカーブを持たせ、また垂れ下らないように上から吊る等の処置を施してください。(図13を参照)

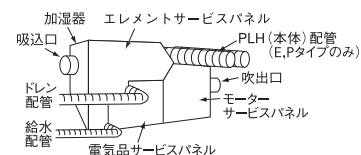
図13



7 配管方向

- 加湿器の給水管・ドレン配管はサービス・メンテナンスを容易にする為に図14のように加湿器を見て左方向に出します。
- カセット2方向吹出し機種の際の配管は加湿器の上方を通します。

図14



8 給水配管工事

- 配管材は現地手配になりますので銅管外径φ6またはφ6.35を用意します。
- 加湿器への接続は1/4 F フレア接続です。
- 加湿器と給水管の接続はダブルスパナで、14~18N・mにて締付けます。
- 付属の配管用断熱材③とバンド④を使って配管接続部の断熱を行ないます。(図15を参照) それ以降につきましては現地手配にて露タレ、冬期の凍結破損等ないよう充分な断熱を行ないます。
- 付属のストレーナ⑤を加湿器と減圧弁(現地手配)との間に必ず設置します。(図16を参照)
- ストレーナ⑤は出口側のみ1/4 F フレア接続となっています。
- ストレーナ出口側と給水管の接続はダブルスパナで、14~18N・mにて締付けます。
- 入口側の接続には現地配管に合った異径ニップルを現地手配にて用意します。
- ストレーナ入口側と異径ニップルの接続はダブルスパナで、10~15N・mにて締付けます。
- ストレーナはサービスできる所へ設置します。
- ストレーナ及び現地の配管部分には、充分な断熱を行ないます。(発泡ポリエチレン比重0.03肉厚9mm以上) 不十分な場合は、露タレ、冬期の凍結破損の要因になります。(図16を参照)

図15

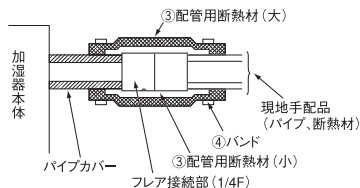
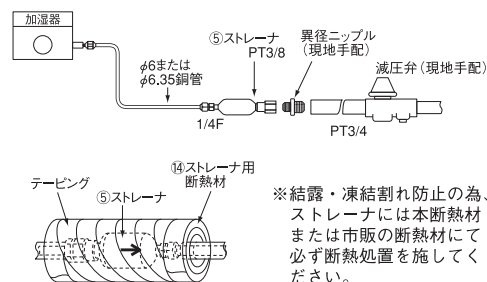


図16



※結露・凍結割れ防止の為、ストレーナには本断熱材または市販の断熱材にて必ず断熱処置を施してください。

9 ドレン配管工事

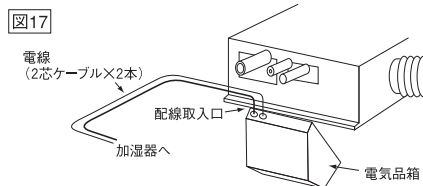
- ドレン配管サイズはVP-25です。
- ドレン配管は下り勾配 (1/100以上) になるようにします。
- ドレン配管はイオウ系ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。
- 配管後、排水が確実に行われていることと、接続部からの水漏れのないことを確認します。
- 屋内を通るドレン配管は、必ず市販の断熱材 (発泡ポリエチレン比重0.03肉厚9mm以上) を巻きます。
- 室内ユニット本体のドレン配管とは別配管とします。
- ドレン配管を上から吊って固定等する場合は、本体より1m以上離れた位置で固定します。
(エレメントサービス時にドレンパンを15mm程、下にさげるための余裕を持たせます。)

10 室内ユニット本体への配線接続準備

- 加湿器に接続されている電源線と信号線を室内ユニット本体に取り入れます。

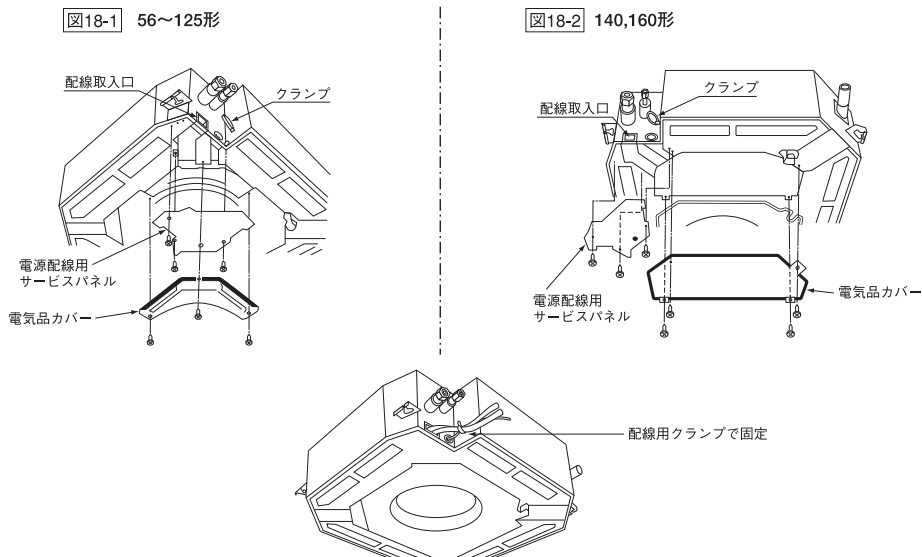
1. カセット2方向吹出しEタイプの場合 [図17]

- (1)電気品箱の吊りヒモを外して下に下げます。
- (2)電気品箱のフタを取外します。
- (3)電気品箱の裏側から電線を通し接続します。
- (4)取外した部品を元通りに取付けします。



注：電気品箱を下に下げないで配線しますとサービス時において電気品箱が下がらないことがあります。作業完了後は再び室内ユニット本体よりヒモを吊っておきます。

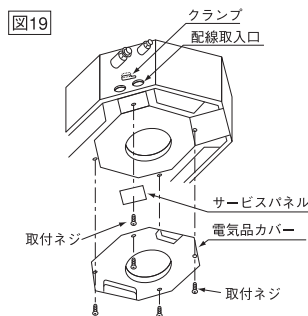
2. カセット4方向吹出しKタイプの場合 [図18-1]～[図18-2]



- (1)電気品カバーを取外します。(56~125形：ネジ3本、140,160形：ネジ4本)〔仮掛け可能〕
- (2)電気配線用サービスパネルを取外します。(ネジ3本)〔仮掛け可能〕
- (3)配線を配線取入口から室内ユニット内に入れます。
※サービス時を考慮して、電気品箱を室内ユニットの下に降ろすための余裕を配線に持たせてください。
- (4)配線を、室内ユニット側面の現地配線用クランプで固定します。
- (5)取外した部品を元通りに取付けします。

3. カセット4方向吹出しJタイプの場合 [図19]

- (1)電気品カバーとサービスパネルを取外します。
- (2)配線を配線取入口から室内ユニット内に入れます。
※サービス時を考慮して、電気品箱を室内ユニットの下に降ろすための余裕を配線に持たせてください。
- (3)配線を、室内ユニット側面の現地配線用クランプで固定します。
- (4)取外した部品を元通りに取付けします。



4. カセット4方向吹出し F タイプの場合 図20-1～図20-3

- (1) 図20-1 のように電気品箱①のふたを取外します。
- (2) 図20-2 のように配線を配線取入口から室内ユニット内に入れます。
- (3) 信号線は 図20-1 のように板金を外し、図20-3 のように電気品箱を引き出して接続します。
- (4) 取外した部品を元通りに取付けます。

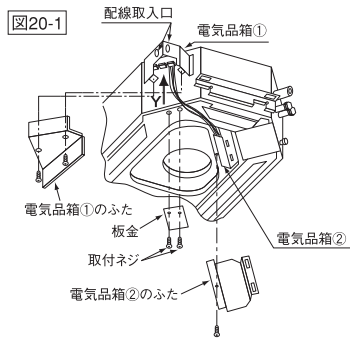


図20-2

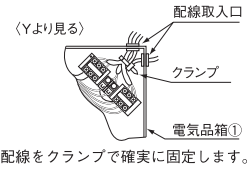
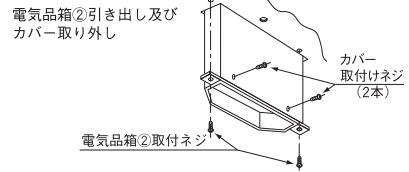


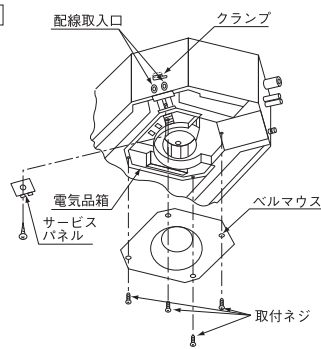
図20-3



5. カセット4方向吹出し G タイプの場合 図21

- (1) サービスパネルとベルマウスを取外します。
- (2) 配線を配線取入口から室内ユニット内に入れます。
※サービス時を考慮して、電気品箱を室内ユニットの下に降ろすための余裕を配線に持たせてください。
- (3) 配線を、室内ユニット側面の現地配線用クランプで固定します。
- (4) 取外した部品を元通りに取付けます。

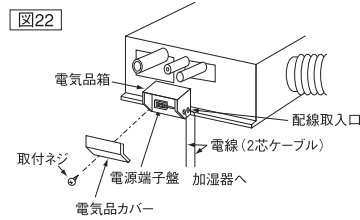
図21



6. カセット2方向吹出し P タイプの場合 図22

- (1) 電気品カバーを取外します。
- (2) 図22 のように電気品箱側面の配線取入口から配線を通します。
- (3) 取外した部品を元通りに取付けます。

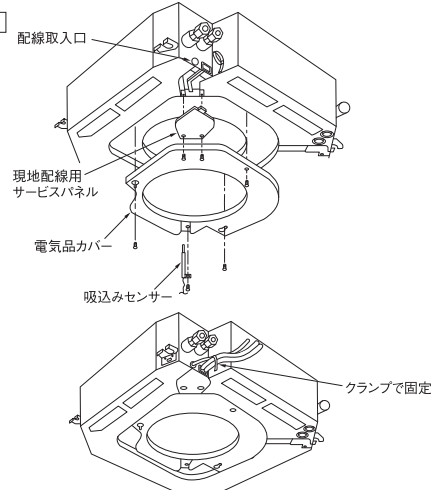
図22



7. カセット4方向吹出し A タイプの場合 図23

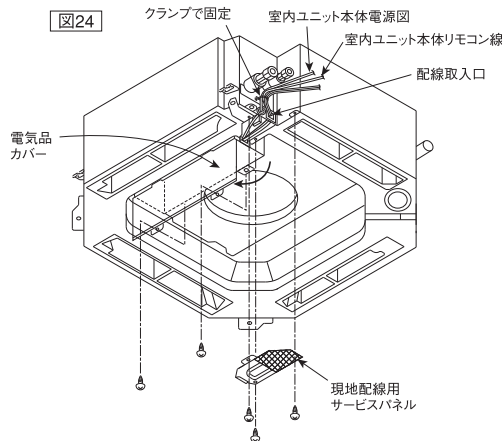
- (1) 現地配線用サービスパネルを取外します。(ネジ2本)
- (2) 吸い込みセンサーを取外します。(ネジ1本)
- (3) 電気品カバーを取外します。(ネジ3本) [仮掛け可能]
- (4) 配線を、配線取入口から室内ユニット内に入れます。
※サービス時を考慮して、電気品箱を室内ユニットの下に降ろすための余裕を配線に持たせてください。
- (5) 配線を、室内ユニット側面および電気品箱内のクランプで固定します。
- (6) 取外した部品を元通りに取付けます。

図23



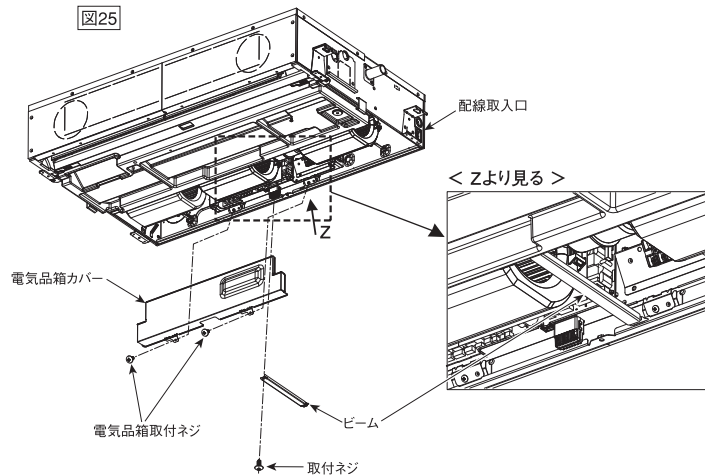
8. カセット4方向吹出し B タイプの場合 図24

- (1) 現地配線用サービスパネルを取外します。(ネジ3本)
- (2) 電気品カバーを取外します。 [仮掛け可能]
- (3) 配線を、配線取入口からユニット内に入れます。
- (4) 配線を室内ユニット側面のクランプで固定します。
- (5) 取外した部品を元通りに取付けます。



9. カセット1方向吹出しFタイプの場合 図25

- (1) ビームを取外します。(ネジ1本)
- (2) 電気品カバーを取外します。(ネジ2本)
- (3) 各配線を室内ユニット内に入れます。
- (4) 各配線を電気品箱右横及び、電気品箱内のケーブルストラップで固定します。
- (5) 取外した部品を元通りに取付けします。



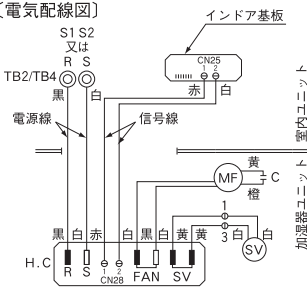
11 室内ユニット本体への配線接続

- 電気配線図に基づいて配線接続をします。〔室内ユニット側のみ〕 図26

記号	名称
TB2/TB4	端子盤(ヒータ(ユニット)電源(内外接続線))
CN25	コネクタ(加湿器)
H.C	加湿コントローラボード
CN28	コネクタ
SV	電磁弁(給水)
MF	送風機用電動機
C	コンデンサ(送風機用電動機)

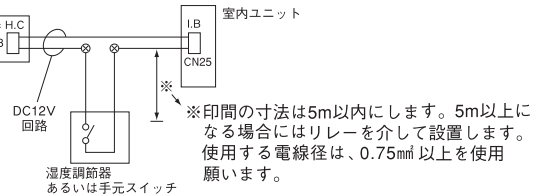
- ※端子盤への接続
- (1) A制御機種は内外接続用端子盤の「S1」「S2」端子へ接続してください。
- ※電源が室内ユニット・室外ユニットで別受電等の場合は、ヒータ(ユニット)電源端子盤「R」「S」へ接続してください。
- (2) その他の機種は電源端子盤「S」端子へ接続してください。

図26 (電気配線図)



- 湿度調節器あるいは手元スイッチを使用する場合の配線変更(現地手配) 図27 においてコネクタCN25とCN28に接続している線間に直列に入れます。

図27



12 室内ユニットの機能設定

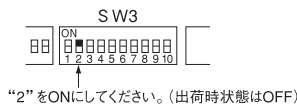
カセット4方向吹出しA、Bタイプに加湿器を取付けた場合、リモコンまたは室内制御基板で室内ユニットの機能設定をしてください。

(1) A制御機種 (AA形/B形) の場合

リモコンからの設定となりますので、設定の手順、操作方法は、リモコンに付属の説明書に従って“加湿器あり”の設定(モード番号:13, 設定番号:02)をしてください。

(2) フリープラン機種 (AM形/BM形) の場合

室内制御基板のディップスイッチを右図のように設定します。



(3) カセット4方向吹出しA、Bタイプ以外の場合

設定変更の必要はありません。

13 再組立

- 作業終了後元通り組立てます。

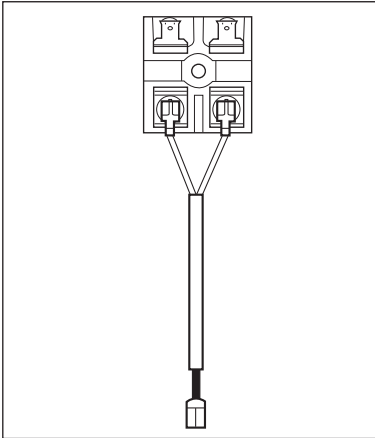
14 試運転

- 室内ユニット側の据付工事説明書に従って試運転(暖房)を行ない、水洩れ等のないことを確認します。

リモコン端子盤キット

● PAC-SH29TC

使用目的 / 用途



●“リモコン端子盤キット”は、リモコン接続用端子盤を有しない室内ユニットにおいて、2リモコン方式の結線、またはグループ制御の結線を行う場合にリモコンの伝送線を接続するための中継端子盤として使用するものです。

注意

- ・1グループに2台までのリモコンとしてください。
- ・グループ制御一括運転の場合、室外ユニットの冷媒アドレス設定が必要となります。

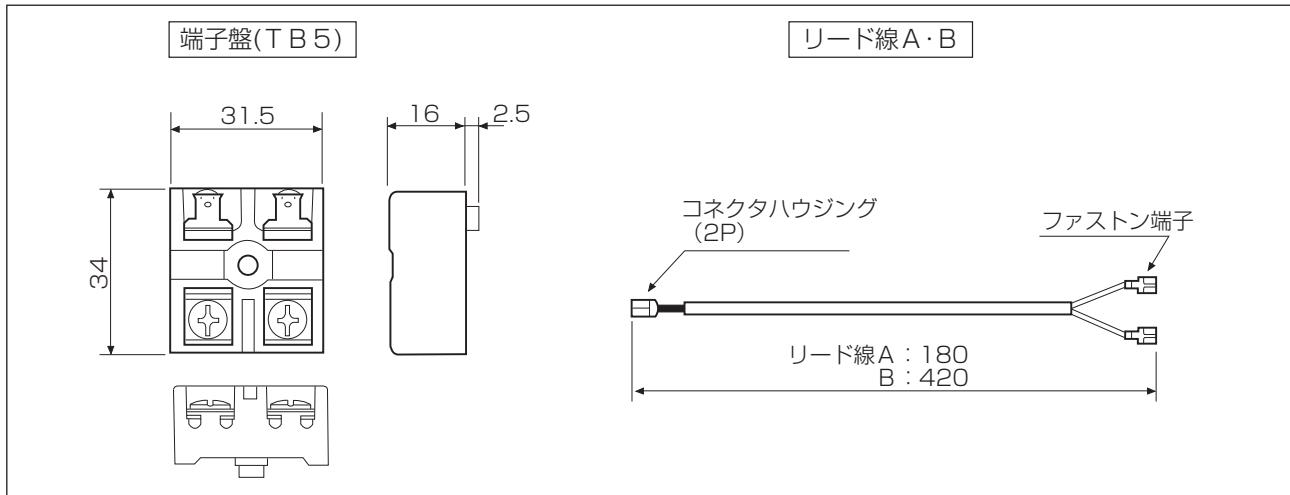
対象ユニット

- PS-RP50 ~ 160KA7
- PS-RP50 ~ 160GA7

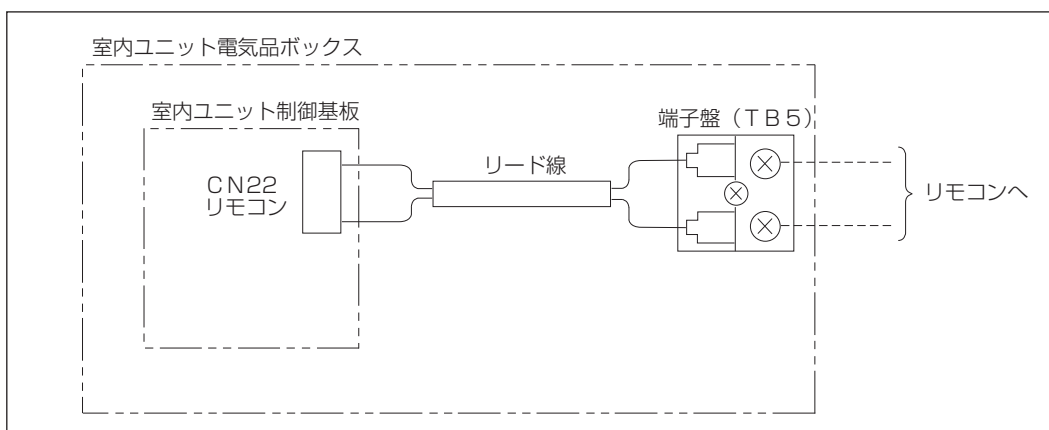
仕様

形名	PAC-SH29TC
端子盤容量	10A / 250V
適用電線	φ 1.6mm 以下
端子盤材質	フェノール樹脂
構成部品	端子盤 (TB5) × 1、取付ネジ × 1、リード線 A × 1、リード線 B × 1

外形図 (組立図) (単位: mm)



電気配線図



mitsubishi

三菱パッケージエアコン別売部品

形名:PAC-SH29TC

リモコン端子盤キット取付説明書

安全のために必ず守ること

- ・取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ・誤って取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取付けをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
注意	誤った取付けをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

・取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認すると共に、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

警告	取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になることがあります。
-----------	---

注意	電気配線工事がある場合は、電流量に合った規格品の電線を使用すること。 漏電や発熱・火災の原因になることがあります。
-----------	--

警告	取付けは、この取付説明書に従って確実にこなう。 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になることがあります。
-----------	---

1.概要

この部品は2リモコン方式の結線または、グループ制御の結線を行なう場合にリモコンの伝送線を接続するための中継端子盤として使用するものです。

2.適用機種

床置形、壁掛形

3.部品の確認

- ①端子盤(TB5)…1個 ②ネジ…1個 ③リード線(A)…1本(壁掛形用180) ④リード線(B)…1本(床置形用420)

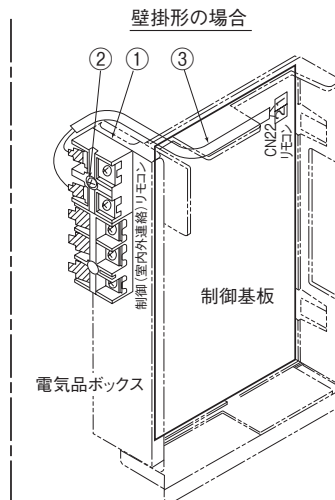
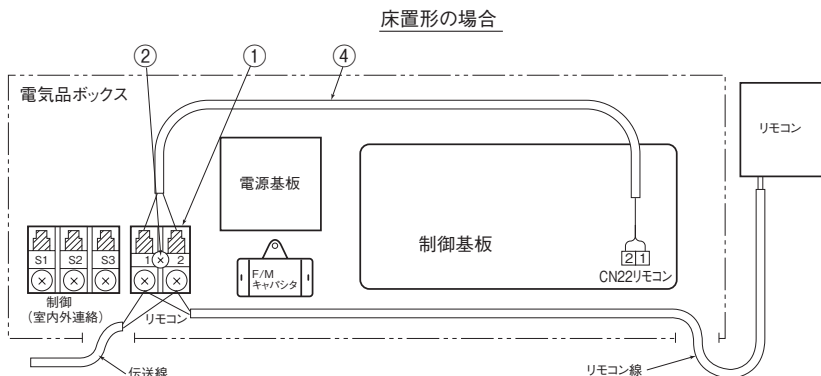
4.取付要領

床置形の場合

- 1). 電気品箱内に端子盤①をネジ②で固定してください。
 - 2). 本体付属のリモコン線を室内基板のコネクター(CN22)より取り外してください。
 - 3). リード線(B)④を端子盤①と室内基板のコネクター(CN22)に接続してください。
 - 4). 先ほど取り外したリモコン線の先端部(コネクター)を切り落して、適宜リード線の被覆を皮ムキしてください。
 - 5). 2リモコンあるいはグループ制御の伝送線と前記リモコン線を端子盤①の下側(ネジ端子)に接続してください。
- 注. 2リモコンあるいはグループ制御の結線方法詳細は、製品本体付属の据付説明書を参照ください。

壁掛形の場合

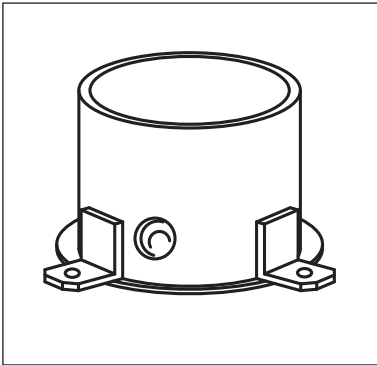
- 1). 端子盤カバー、基板カバーをそれぞれ取り外します。(本体の据付説明書をご覧ください。)
 - 2). 電気品箱に端子盤①をネジ②で固定してください。
 - 3). リード線(A)③を端子盤①と室内基板のコネクター(CN22)に接続してください。
 - 4). 2リモコンあるいはグループ制御の伝送線を端子盤①の下側(ネジ端子)に接続してください。
- 注. 2リモコンあるいはグループ制御の結線方法詳細は、製品本体付属の据付説明書を参照ください。



外気取入ダクトフランジ

● PAC-SH650F

使用目的 / 用途



- “外気取入ダクトフランジ” は、外気取入用の $\phi 100$ ダクトを接続する部品です。
- 新鮮な外気取入れを行うことにより、室内環境のフレッシュアップを実現します。
- 室内ユニット本体に取り付ける場合と、多機能ケースメントに取り付ける場合があります。

注意

- ・多機能ケースメントに取り付ける場合は、外気取入ダクトフランジの凹面を必ずパネル取付面側に向けて取り付けてください。

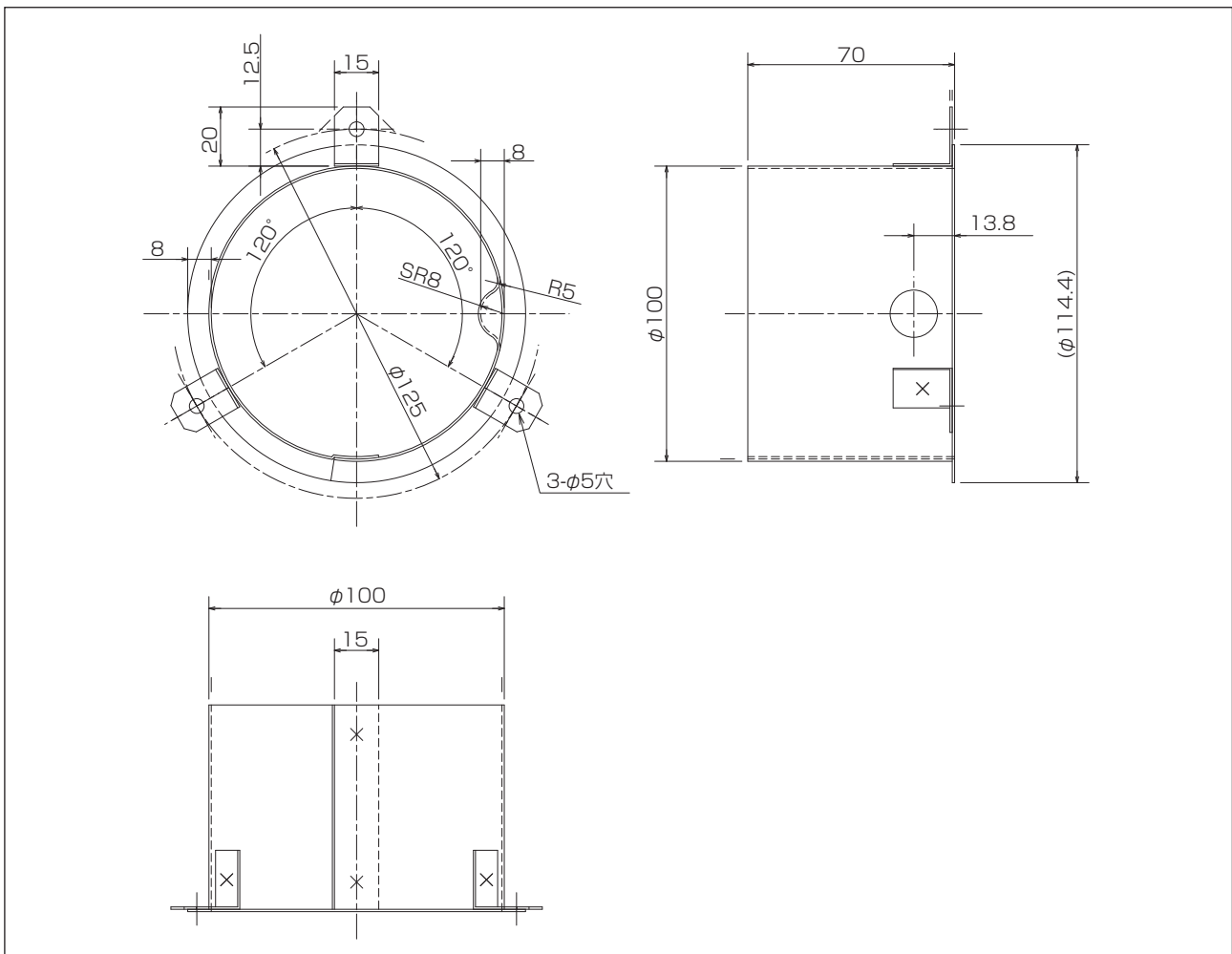
対象ユニット

- PL-(Z)(E)RP40 ~ 160BA7
- PC-RP40 ~ 160KA(L)7

仕様

形名	PAC-SH650F
接続ダクト径	$\phi 100$
材質	溶融亜鉛メッキ鋼板 t0.8
構成部品	ダクトフランジ、断熱材、ネジ

外形図（取付図）（単位：mm）



※取付説明書は〈1〉4方向天井カセット形《ワイドパワーカセット》の《分ダクトフランジ/PAC-SH66BF》を参照してください。